2023年度

シ　ラ　バ　ス

桐生大学短期大学部

アート・デザイン学科

講義コード	40010001
講義名	英会話
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高校で「英文法」、英会話学校で「英会話」の講師として、また実用英語検定面接委員 としての経験を活かし、実践的な英語教授法をもとに学生の英語能力の 向上を計っている。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 野中 博雄	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、英語コミュニケーション力の向上のため、大学生の生活に関連するトピックの英会話表現の習得を図る。英会話表現においては、単語レベルでは発音、アクセントの正確さが重要あり、文レベルではイントネーションやセンテンス・ストレス（文強勢）を正確に付けることが会話での重要な要素となるので、それらの観点からも学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーの１つである「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している」ことを目指し、状況による英会話表現の学習を通して、コミュニケーション力の向上と英語使用者の生活文化の理解を深める。

到達目標

"1. ＣＤやインターネットによる発音・ヒアリング練習に慣れる。
2. インターネットの辞書・翻訳機能を利用できるようにする。
3. Exerciseの解答や課題の作成はワードやエクセルで出来るようにする。
4. 英語を使って日常生活に関するコミュニケーションがストレスなくできるようになる。
5. 発音、アクセント、イントネーション、センテンス・ストレスなどの重要性を理解する。"

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	野中博雄	Orientation 1. 評価方法、授業の進め方等の説明。 2. 課題：英語に対する自己の印象、自己紹介、ある語の連想語などの質問に対する答えを作成する。		予習90分：英語に対する自己の印象、自己紹介、ある語の連想語などの質問に対する答えを作成するための準備。

第2回	野中博雄	Campus Life	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第3回	野中博雄	Weekends	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第4回	野中博雄	Japanese Culture	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第5回	野中博雄	Healthy Living	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第6回	野中博雄	Fashion	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第7回	野中博雄	Lifestyle	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
			Vocabulary, Reading,	

第8回	野中博雄	Celebrations	Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第9回	野中博雄	Travel	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第10回	野中博雄	Food	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第11回	野中博雄	The Environment	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第12回	野中博雄	Business	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第13回	野中博雄	"The Internet and Social Media"	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。 課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
	野中		Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペ	予習90分：教科書該当範囲の単

第14回	博雄	Sports	アで練習する。 課題： 毎回提出する。	語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第15回	野中博雄	Review	Course Reviewing	復習270分：コース全体の既習内容の復習をするので、配布資料を確認し、まとめておくこと。

教科書

Chat and Share! Topic Starters for Today's Students (金星堂)

参考書

副教材: Internet Materials (毎回 英語の歌などの聞き取りをする)

成績評価の方法・基準

単位認定: 60点以上 筆記試験：50%、課題20%、授業参加度30%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題は次週に返却し、共通する間違い等について説明するので、以後間違いの無いようにすること。

履修のポイント

ペアワークでの課題や授業での積極性（授業参加度）が最終評価に影響するので積極的に授業に臨むことが必要。

オフィス・アワー

授業の前後の時間が可能。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C030

講義コード	40020001
講義名	文章と表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

実社会では1000字程度の文章を書く機会は多くあります。この授業では、「しっかりと書ける」ように実践のためのトレーニングを進めていきます。何事も練習してそのノウハウを一度身に付ければ比較的簡単に文章が書けるようになります。短い文章を書くことから始め、小論文と進めていきます。他の人の書いた文章を添削することを通して互いの文章力を向上させる活動もおこないます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自らの考え、意見を伝えたり、反対に他人の意見や考えを聞くことは社会人として求められている能力のひとつである。

到達目標

1)大学の学びの場で求められるさまざまな文章表現の形式を理解し、自ら実践できるようになる。
2)自らの考えや意見を適切な文章で伝えられるようになる。
3)論理的文章を書く手順を身に付け、文章にできるようにする。
4)私信や実用文を書けるようにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第2回	「常体」と「敬体」との文体の特徴を理解し、書き分けられるようにする	文章を作成し、発表しま	復習180分 配布されたプリント等を用いて

		す。	復習すること。
第3回	「くだけた表現」と「ととのった表現」の特徴をつかみ、書き分ける	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第4回	文章の内容を捉えて伝える(1) 箇条書きの文から文章を作成する	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第5回	文章の内容を捉えて伝える(2) 文章を箇条書きの形で要約する	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第6回	ことばや漢字によく見られる誤用に気づく／クリティカル・リーディングを学ぶ	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第7回	紹介文を書く 各段落で述べることと主観表現・客観表現との関係に留意して、原稿用紙に書いてみましょう。	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第8回	紹介文を書く 各段落で述べることと主観表現・客観表現との関係に留意して、原稿用紙に書いてみましょう。自分の書いた文章を自身で評価してみましょう。	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第9回	考えを文章化する道筋を理解し、目的に沿った文章を作成する アイデアを構成し、段落間のつながりを考慮して文章を書く方法を学びます。	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第10回	伝わりやすい文章にするために 指示語や接続詞の役割を理解し、文章表現に役立てます。	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第11回	社会的な課題をテーマとした文章の書き方を学び、課題に対する意見を述べる（1）	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第12回	社会的な課題をテーマとした文章の書き方を学び、課題に対する意見を述べる(2)	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第13回	雑誌や新聞記事を報告し、発表する	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第14回	ディスカッション 共通のテーマをもとに意見交換をおこないます。 ディスカッションの結果をスクリプトにまとめ、発表します。	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。
第15回	私信や実用文を書く	文章を作成し、発表します。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習すること。

教科書
授業時にプリントを配布する。
参考書
銅直信子・坂東実子『大学生のための文章表現＆口頭発表練習帳 （改訂第２版）』国書刊行会、2021年 石黒圭編著『日本語文章チェック事典』東京堂出版、2021年 ノートルダム清心女子大学人間生活学科編『よくわかる 大学生のための研究スキル』大学教育出版、2023年
成績評価の方法・基準
○成績評価の基準 １．文章の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。 ２．分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 ○評価の方法 単位認定60点以上 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 積極的態度（発言、討議、取り組み等） 総合点の30 % 2 課題 総合点の70 %
課題等に対する フィードバックの方法
必要に応じて授業中に適宜学生にフィードバックし、学生の学習が進むようにする。
履修のポイント
課題に対応できるようになるためにもいろいろな本を読んでください。
オフィス・アワー
授業終了後に、教室等にて質問をお受けするか、都合の良い日時を相談し後日対応いたします。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C010

講義コード	40030001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見ること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしないとにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。心理学は、そのような私たちの心のはたらきを明らかにすることを目的としているが、そのはたらきはさまざまである。本講義では、人の心の多様なはたらきについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。なお、人の心のはたらきについての基礎知識を習得し、人に対する理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、多様な人間の特性のうち、心的特性も加味したデザイナーやアーティストとして活躍できるような基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．心理学で使われる専門用語（知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求など）の意味を理解する。
２．心理学における心の考え方・捉え方（理論）について理解する。
３．日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
４．人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	心理	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など）	予習90分：教科書第1章を読む。

第1回	学と環境	心理学の系譜を概観しながら、日常生活から社会の動きまでのトピックスをワークシートを使いながら理解を深める。	復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議について、教科書のワークをしながら知覚の不思議を体験する。 （DVDの視聴あり）	予習90分：教科書pp.20-34を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。日常生活で我々が知らず知らず身に着けている行動の例について考える。 （DVD視聴あり）	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考についてのワークをしながら理解を深める。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	いくつかの心理検査を行い、自分自身についての理解を深めながら、パーソナリティについての理解を深める。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。発達を促進する遺伝的要因と環境要因について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。心理検査等により自分のアイデンティティについての理解を深めながら、青年期の発達課題について理解する。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
			予習90分：教科

第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。 （DVD視聴あり）	書pp.119-135を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp136-148を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応についてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.158-163を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持のために自分のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのクセについて理解する。さらに、回復について取り上げるが、まず正常と異常の違いについて多面的に考える。 （DVD視聴あり）	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	心へのアプローチについて「無意識」「行動」「認知」「成長する力」に焦点を当てて理解する。	予 習90分：14回目の授業資料を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象と心理学確認テスト	社会・集団から知らず知らずのうちに影響を受けることを理解する。特に、コロナ禍における心理学から見た社会現象について考究する。 （DVD視聴あり）	予習90分：教科書pp.172-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
レポートは、返却するので学習の参考にすること。 小テストの答えは、授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習では、主に授業内容の復習として配布資料・ノートのまとめを勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C011

講義コード	40040001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と国民負担率の上昇、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。
憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、私たちの生活を身近な問題からグローバルなテーマまで多角的に理解できるようにする。憲法に関わる社会におけるさまざまな現象を科学的に理解し、そうした学修成果を社会で実践的に活用できるよう学修する。

到達目標

１．憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
２．憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
３．国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。		予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。
	日本国憲法の制定過程につい		予習90分： ハンドアウト第2回およ

第2回	て、第二次大戦後からＧＨＱによる憲法案の提示、国会での審議等について、ＶＴＲに沿って学習する。		び『目で見る憲法』p.viii、p.2～p.4を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第3回および『目で見る憲法』p.5～p.7を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。平和主義に関する裁判についてのVTRを使って学習する。	憲法第9条が争点となった裁判についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第4回および『目で見る憲法』p.8～p.10を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。		予習90分： ハンドアウト第5回および『目で見る憲法』p.23～p.29を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。		予習60分： ハンドアウト第6回および『目で見る憲法』p.30～p.33を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。	表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回および『目で見る憲法』p.34～p.42、p.19～p.20を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習		予習90分： ハンドアウト第8回および『目で見る憲法』p.48～p.50を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記

第8回	し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検討する。 中間確認テスト(45分間)を実施する。		載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第9回	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」と「労働基本権」についてその概要を学習する。		予習90分： ハンドアウト第9回および『目で見る憲法』p.51～p.53を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第10回	労働者に関わる人権と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。		予習120分： ハンドアウト第10回および『目で見る憲法』p.54～p.56を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	国会のさまざまの権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。		予習120分： ハンドアウト第11回および『目で見る憲法』p.57～p.61、p.69～p.84を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。		予習120分： ハンドアウト第12回および『目で見る憲法』p.85～p.92を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習60分： ハンドアウト第13回および『目で見る憲法』p.93～p.103を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見

			直す。
第14回	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分： ハンドアウト第14回および『目で見る憲法』p.104～p.113を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。最終確認テスト(記述式・40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見る憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著（有斐閣）

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［20%］、レポート［30%］、確認テスト［50%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第9回以降の授業時に行う予定である。採点した答案は、第9回以降の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説をWeb上(「Teams」のフォルダー等)にPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。

オフィス・アワー

月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C031

講義コード	40050001
講義名	マーケティング
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 飯島 正義	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では、マーケティング一般の基礎知識を学ぶとともに、サービス業に関係するマーケティングの内容についても学んでいきます。授業は講義形式で行いますが、授業内容の理解を確認するため確認プリント等を実施する予定です。この科目は「商業施設士補」の指定教科（商業一般に関する科目）の一つにもなっており、多様な社会ニーズ、変化に対応できる知識を修得していくことを目標としています。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連では、３．実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している、という項目と関連しています。本講義を通して、社会に関する多様な知識を修得していくことを目指します。

到達目標

１．マーケティングの基礎知識を修得できるようになる。
２．サービス業に関係するマーケティングについても知識を深めることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マーケティングとは何か オリエンテーション（授業内容、進め方、成績評価等） マーケティングとは何かについて学びます。	予習90分：シラバスをよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第2回	マーケティングの成立事情 マーケティングがアメリカで誕生した理由、また日本にどのように入ってきたのかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
	マーケティング戦略（１）環境分析	予習90分：プリント資料をよく読んで

第3回	自社を取り巻く外部環境、自社について分析する内部分析について学びます。	おくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第4回	マーケティング戦略（2）目標設定 自社の実績を踏まえて、どのような目標を立てたらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第5回	マーケティング戦略（3）マーケティング・ミックス 製品・価格・流通・プロモーションの４つのマーケティング戦略をどのように組み合わせるかを学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第6回	マーケティング戦略（4）戦略の見直し マーケティング戦略を実施してみて、それをどのように評価し見直すかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第7回	マーケティング・ミックス（1）製品政策 どのような製品を開発したらよいのか、ブランドの構築・維持にはどのようなことをすべきかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第8回	マーケティング・ミックス（2）価格政策 どのように価格を設定したらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第9回	マーケティング・ミックス（3）流通政策 流通経路の選択、SCM（サプライチェーン・マネジメント）について学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第10回	マーケティング・ミックス（4）プロモーション プロモーション（販売促進）の手法について学びます	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第11回	事例（1） 花王（クイックルワイパーの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第12回	事例（2） ライオン（部屋干しトップの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第13回	事例（3） パイロット（消えるボールペン・フリクションボールの開発）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第14回	事例（4） オリエンタルランド（東京ディズニーランド）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第15回	事例（5） ユニクロとしまむら	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。

教科書

使用しません。プリント資料を配布します。

参考書

必要に応じて紹介します。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記試験60%、平常点（確認プリントの提出、授業への取り組みなど）40%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で実施した確認プリント等については、原則として次週返却します。
履修のポイント
授業資料（プリント）のポイントの整理・まとめを行い、それを着実に積み重ねて下さい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C032

講義コード	40060001
講義名	アートと数学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

数学と美術やデザインとの関係を、数学的な視点から考えていく。そのため、この講義では作図や計算などを行いながら、数学的な知識の理解とそれが美術やデザインにどのように活かされているのかを具体例を通して見ていく。さらに広く現代の数学で話題となっていることも紹介していく。
そのため、数学的な知識の理解と美術やデザインとの関連性の理解を目標に、授業を進める。
また、授業ではグループワークなどを実施し、Moodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業は、アート・デザイン学科のDP「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している」に関連している。数学を通して、我々の生活空間を見直すことで、多面的な見方を身に付け、専門科目での「対象の理解と多様な表現」に結びついていく。

到達目標

・数学的な規則が人間に与える影響、芸術やデザインに与える影響を理解し、説明できる
・自身の作品制作における表現に数学を活かすことができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業の内容、進め方、人間の感性と数学のイメージ		予習60分：シラバスを確認し、今までの経験から数学についてのイメージを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第2回	数学と芸術・デザイン		予習60分：芸術の歴史と数学との関連を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

第3回	幾何学（点・線・円・多角形）とデザイン 課題：幾何学的模様の図形を考える		予習60分：幾何学を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う、課題を考える
第4回	論理的思考とパラドックス、ゲーム理論	グループディスカッション：パラドックスやゲーム理論について	予習60分：日常生活にある論理的な考え方とは何かを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第5回	デザインとデータ分析		予習60分：身の回りにある数値データを見つける 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第6回	黄金比と芸術、自然		予習60分：芸術と黄金比の関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第7回	らせん、黄金比と芸術、自然		予習60分：黄金比と自然との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第8回	日本人と白銀比 課題：黄金比・白銀比を利用したデザインを考える		予習60分：白銀比と芸術・建造物との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第9回	数の概念、四則演算とデザイン	グループワーク：数が持つイメージについて検討し、それを表現する	予習60分：慣例的に使用されている数の組合せなどを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第10回	素数とストリングアート	ストリングアートを描いてみる	予習60分：素数を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第11回	次元と図形表現	グループディスカッション：高次元の世界について	予習60分：我々の住んでいる世界の次元について考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第12回	平面図形の移動、回転、鏡映、拡大・縮小、シンメトリー図形		予習60分：シンメトリーの図形や建造物などを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第13回	タイル張りとエッシャー 課題：エッシャー風繰り返しデザインを作成		予習60分：エッシャーの作品を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第14回	フラクタルとフラクタルアート コッホ曲線、マンデルブロ集合		予習60分：フラクタル図形にどのようなものがあるか調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

第15回	形の捉え方（グラフ理論、2次元閉曲面、ポアンカレ予想）		予習60分：ポアンカレ予想について調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

教科書

「デザインのための数学」牟田淳（オーム社）
その他資料を配布する

参考書

「MATH ART～真理、美、そして方程式」スティーヴン・オーンズ（NEWTON PRESS）、「雪月花の数学」桜井進（祥伝社）、「数学に隠された能力－デザインの数理学」石田恭嗣（数研出版）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中の課題70%とレポート30%による評価、試験は行わない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題を課し、そのフィードバックは、個別に返却もしくは、全体へのコメントという形で行うので、理解に役立ててください。

履修のポイント

苦手意識を持たないで、じっくりと考えることが大切です。評価は課題で行いますので、必ず提出してください。課題について自分で調べ、考えることを習慣にしてください。

オフィス・アワー

金曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C012

講義コード	40070001
講義名	メディアと情報
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

コンピュータやインターネットの発展により、我々の生活は大きく様変わりし始めた。特にコミュニケーション方法や表現方法の進展は、我々人間の感覚にも大きな影響を与え、誰もが持っている「表現したい」という意識を大きく揺さぶり始めている。この講義では、コンピュータグラフィックスなどの情報処理技術、インターネットなどの通信技術の発展によってもたらされた人間の表現能力・コミュニケーション能力の拡大及び我々の生活やビジネスなどについて取り上げる。そして表現手段の基礎として、コンピュータグラフィックスを中心に様々なメディアを扱うための知識を修得し、自分自身の作品制作で選択・利用できるようになることを目標とする。また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」にある。我々の生活空間について、「環境」「コミュニケーション」をICTという側面から検討することで、多面的に理解する力を養い、専門科目での「対象の理解と多様な表現」を行うための基礎力となっている。

到達目標

・CGを始めとして、画像、映像など様々なメディアによるコミュニケーションや表現方法、システムについて理解し、説明できる
・ディジタルメディアが人間の生活に与える影響、芸術やデザインに与える影響を敏感に感じ取り、自身の作品制作における表現に利用できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	コミュニケーション、コミュニケーションデザイン		予習60分：シラバスの確認 復習120分：配布資料の復習とシステムの確認、授業の振り返り
			予習90分：教科

第2回	視覚の現象性と視覚化表現 形と色		書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第3回	タイポグラフィ、ピクトグラムとダイヤグラム		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第4回	知的財産権とは	グループワーク：身の回りのピクトグラムについて討議、発表	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第5回	ハードウェア 課題：PCについて		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第6回	ディジタルの基礎、アナログとディジタル	グループディスカッション：魅力的なコンピュータについて話し合う	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第7回	ソフトウェア、2次元グラフィックス		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第8回	グラフィックスと写真撮影		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第9回	映像制作 制作の流れと表現技術について		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第10回	CG作成、空間・位置の表現、立体の作成		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第11回	コンピュータアニメーション技法と映像表現技術		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第12回	3次元CGとコンピュータアニメーション（レンダリング、シェーディングなど）		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第13回	インターネットとその技術的な基礎		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第14回	Webにおける情報の構造など		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
			予習90分：授業全体の疑問

第15回	授業のまとめと確認のための試験		点整理 復習90分：授業全体を通しての振り返り

教科書

「入門CGデザイン -CG制作の基礎- 改訂新版」（財団法人 画像情報教育振興協会）

参考書

「入門Webデザイン」「入門マルチメディア ITで変わるライフスタイル」「Webデザイン」「ディジタル映像表現」（財団法人 画像情報教育振興協会）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課す振り返り課題など40%、確認のための試験60%。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の授業を振り返りとして、重要ポイントをMoodleの掲示板に記載してもらい、フィードバックは全体へのコメントとしておこなう。
それ以外の課題も個別もしくは全体へのコメントととしておこなうので、参考にしてください。

履修のポイント

コンピュータやインターネットに興味を持ち、積極的に関わっていくことが必要です。なお、この科目は「教職科目」「商業施設士補」の科目であるため、履修には注意をすること。
日々の評価点を積み重ねて評価しますので、公欠を含め、欠席した場合は資料や課題の確認をしてください。

オフィス・アワー

火曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C033

講義コード	40080001
講義名	生活と環境
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

地球環境問題は多岐にわたると同時に、私たちのすぐ身近に存在している。大気や水質の変化、土壌の汚染と劣化、生態系の危機など、日々の新聞にいずれかの環境問題の記事が必ず見られる。この講義では、私たちの生活のなかで生じている環境問題を、大気や水、土壌の汚染、私たちの社会がかかえる廃棄物・エネルギー問題、自然環境の変化など、個々の話題に着目して論じる。同時に、大気汚染、生態系の危機、エネルギー問題などについて、問題点を明確にし、解決策を探る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

今日、世界規模で生じている地球環境問題について興味を持続し、たとえば廃棄物の削減や省エネルギーを意識した活動など、社会に出ても環境問題を考えた生き方ができる人材を育てる。
アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間の生活空間について多面的に理解する能力を養う。

到達目標

今後、ますますクローズアップされてくる地球環境問題について、すこしでも地球環境の現状への興味をかきたて、これから社会に出たあとでも環境に配慮した生活ができるようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	環境問題と公害問題について違いを理解する。過去に起こった大気汚染による公害問題を知る。また、これに関連して、大気汚染についてどんな法律があるのかを見ていく。		復習としてテキスト12頁～14頁、55頁～60頁を見ておく（90分）。19頁2.1の問題を考える（90分）。
第2回	橋爪	廃棄物量の現状や循環型社会を目指す法整備が進められていることを知		予習の時間90分、復

	博幸	る。包装容器の再利用の道を探る。		習の時間90分。
第3回	橋爪博幸	商品等を包むパッケージについて、さまざまな機能、デザイン、素材について学ぶ。	＜アクティブラーニング＞パッケージの再利用、活用事例について考える。	予習の時間90分、復習の時間90分。パッケージの再利用を考え作品を作る。
第4回	橋爪博幸	地球規模で気候変動が生じていることや、CO2が増加している事実をデータで知り、今後予想される災害や海洋の変化などについて知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第5回	橋爪博幸	生態系という概念を理解し、日本列島の自然環境の多様性に触れる。	日本列島に見られる森林生態系について意見を出し合い、森林区分の地図を作成する。	予習の時間90分、復習の時間90分。
第6回	橋爪博幸	中国から日本へ渡ってくるの大気汚染物質について知る。大気汚染の原因となる物質について理解する。	大気汚染物質にはどのようなものがあるか意見を出し合い、まとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。
第7回	橋爪博幸	枯渇性エネルギー、再生可能エネルギーにはどのようなものがあるかを知る。電気やガス、ガソリンといったエネルギー源の消費推移等を知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第8回	橋爪博幸	原子力発電のメリット、デメリットを知る。	原子力の応用方法について各自で考えをまとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。
第9回	橋爪博幸	ＷＷＦが発行するレポートに載る「エコロジカルフットプリントの世界地図」をもとに、これから社会をつくる私たちが、目指すべき人間社会はどのようなものであるかを考える。	エコロジカルフットプリントの世界地図を学生みなで完成させる。	予習として配布プリントの穴埋めをしておく（90分）。。
第10回	橋爪博幸	世界の不平等を理解し、発展途上国といわれる国々でとりかえしのつかない破壊が生じている現状を見ていく。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第11回	橋爪博幸	野生生物保護や廃棄物の越境を防ぐための国際的な取り決めを知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第12回	橋爪博幸	地球上における淡水の割合を知り、淡水や海水がひどく汚染されている現実を知る。水質汚染を防ぐ方法について考える。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第13回	橋爪博幸	世界第４位の湖であったアラル海が消滅の危機にある。人間の事業活動が地球規模で環境破壊を招くことを知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。
第14回	橋爪	江戸時代と現代の暮らしを比較し、持続可能な社会を実現する政策を考	江戸時代の暮らしで見習うべき点を	予習の時間90分、復

	博幸	える。	発表する。	習の時間90分。
第15回	橋爪博幸	現代のモノと情報があふれる人間社会が抱える環境問題をふり返り、人間らしく生きるために必要な事物は何であるかを考える。		これまで15回の講義を振り返り、大気汚染や気候変動など項目ごとにノートにまとめる（180分）。

教科書
鈴木孝弘『新しい環境科学』改訂２版（駿河台出版）
参考書
講義のなかで必要なときに紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。 課題の提出（20%）、期末試験（80%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
提出された課題は、こちらでチェックし、記述レポート等は添削し、補足説明を付して返却する。また細かくチェックできないときはレポート等を授業時間内で返却し、解説し、場合によっては模範解答を掲示、または配布する。
履修のポイント
求められた配布プリントの提出や、レポート課題はかならず提出すること。環境問題に関するニュースや新聞記事等を読み理解しておく。配布プリントは記入漏れがないようにしておく。
オフィス・アワー
水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーとする。９号館３階の第６研究室に来ること。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C013

講義コード	40090001
講義名	健康とスポーツ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は、数種目の運動・スポーツと講義から構成されている。運動・スポーツの基本スキルを身につけ、練習やゲームを通して運動・スポーツの楽しさを味わいながら授業を進めていく。そして、健康の維持・増進を図るためには、他者との関わりの中でコミュニケーションをとりながら、運動・スポーツを継続することの必要性を学ぶ。なお本科目は、健康とスポーツを科学的に理解して、基本スキルの習得と生涯にわたって運動・スポーツに取り組もうとする健康意識を高めることを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を深め、スポーツの科学的な理解や実践を通してその目標達成に必要な能力を養う。そして将来的な展望としては、多職種の人々と連携・協働しながら社会に貢献する基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．自己の体力レベルや健康状態を把握することができる。
２．運動・スポーツの基礎知識、各スポーツ種目の歴史を理解し、基本スキルを習得することができる。
３．自らコミュニケーションをとって活動することができる。
４．生涯にわたって運動・スポーツに取り組もうとする資質を身につけることができる。
５．得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井	オリエンテーション（授業の概要、成績評価、諸注意な		予習90分：シラバスを読む。摂食障害について調べる。

	英夫	ど） 体育概論（ダイエットと健康）		復習90分：配布資料を見直す。
第2回	武井英夫	バドミントン①（バドミントンの歴史、ルールの確認とシングルス）		予習90分：バドミントンの歴史とルールを調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン②（基本スキルの習得とダブルスのゲーム）	ダブルスのゲームではゲーム終了後にペアごとに意見交換し、ゲーム内容の反省点を振り返り、次のゲームに生かす。	予習90分：バドミントンの打ち方、球種（フライト）について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	ソフトバレーボール①（ソフトバレーボールの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習90分：ソフトバレーボールの歴史やルールを調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール②（基本スキルの習得とルール把握、ゲーム）		予習90分：ソフトバレーボールの基本スキルを調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	バレーボール（バレーボールの歴史、フォーメーションの理解、ゲーム）	各チームごとにディスカッションし、チームの特色を出したポジションの決定や作戦を練ってゲームに取り組む。	予習90分：バレーボールの歴史、フォーメーションについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	フットサル①（フットサルの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習90分：フットサルの歴史やルールを調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	フットサル②（基本スキルの習得とゲーム）	互いに意見交換してポジションやフォーメーションを決め、戦術を立ててゲームに取り組む。	予習90分：フットサルの戦術について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英	ドッジボール（ドッジボールの歴史と基		予習90分：ドッジボールの歴史と基本戦術を調べる。 復習90分：本日行った

	夫	本戦術の把握、ゲーム）		運動について確認する。
第10回	武井英夫	ネットボール（ネットボールの歴史とルール把握、ゲーム）		予習90分：ネットボールの歴史、行われている国、ルールについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	バスケットボール（バスケットボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）	チーム内で意見交換し、マン・ツー・マン・ディフェンスとゾーン・ディフェンスのメリットとデメリットを考慮してディフェンス方法を決め、作戦を立ててゲームに取り組む。	予習90分：バスケットボールの歴史、バイオレーションとファウル、ディフェンス方法について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第12回	武井英夫	アルティメット①（フライングディスクの歴史、基本スキルの習得、簡易ゲーム）		予習90分：フライングディスクの歴史と基本スキル、アルティメットのルールについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する
第13回	武井英夫	アルティメット②（アルティメットの歴史、基本戦術、ゲーム）		予習90分：アルティメットの歴史と戦術について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する
第14回	武井英夫	ネオホッケー①（ネオホッケーの歴史、基本スキルの習得、ルール理解、ゲーム）		予習90分：ネオホッケーの歴史とルールについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	ネオホッケー②（トーナメント戦）	チーム内で意見交換し作戦を練ってからゲームに取り組み、プレー中は積極的・協力的に関わる。	予習90分：ネオホッケーの基本スキルについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度20%、課題・レポート20%、授業への参加度60%

課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布のするので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。
オフィス・アワー
講義前後に、適宜受け付けます。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C034

講義コード	40100001
講義名	コンピュータ基礎演習I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅にかわり、現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になった。そこで、この科目では、Word, Power Pointやインターネットの実践的な知識と技能の習得をめざす。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。アプリケーションソフト（Word, PowerPoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。
これにおいて情報処理能力が求められているため、文章作成やプレゼンテーションに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

①アプリケーションソフト（Word, Power Point)の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
②インターネットを利用した情報検索や情報発現を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、インターネットの基礎、メールアカウントの設定、リモート ワーク - コラボレーション ツール | Microsoft Teamsの使い方、情報モラル		予習90分：PCの操作法を再確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。

第2回	Word 2021の画面構成、日本語入力システム、文字の入力、 文書の入力、保存と読み込み		予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第3回	編集機能１		予習90分：教科書3章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	編集機能２		予習90分：教科書3章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	クリップアート、ワードアート、図形描画		予習90分：教科書4章(p.86-111) を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	スマートアート、段組み・ドロップキャップ		予習90分：教科書4章(p.112-121)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	履歴書作成、はがき作成、グラフの挿入		予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	レポートの作成		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	インターネットの概要、情報検索、 情報と社会、情報とセキュリティ		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	WORDとインターネット		予習90分：教科書６章で学習した内容を確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	1回目～10回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認課題（応用課題）		予習90分：1回目～10回目の授業内容を再確認する。
第12回	プレゼンテーションの基本、スライドの作成		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマ をPowerPointを用いて、電子紙芝居を作成する。 Group Work	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：前回に配布された資料を読む。インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマを考える。
第14回	プレゼンテーションの実施 Group Work、(発表会は必修となります。）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第15回	プレゼンテーションの実施 Group Work、(発表会は必修となります。）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

教科書
30時間でマスター Word2021 実教出版 ISBN：978-4407359381 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定：60 点以上 課題 30%, 応用課題 30%, プレゼンテーション （必修）40%で評価する。 *定期試験は実施しない。再試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C014

講義コード	40110001
講義名	コンピュータ基礎演習II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅にかわりました。現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になってきました。ここでは、Excel表計算処理をできるよう、知識と実技問題を通じて学ぶ実習を行う。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。表計算ソフト（Excel)に関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーを向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、表計算ソフトに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

アプリケーションソフト（Excel)の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
①データを入力し、計算機能を使える能力
②表やグラフを作成できる能力
③データ分析ができる能力

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基礎知識		予習90分：教科書1章、2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
			予習90分：教科

第2回	合計と平均の計算（SUM・AVERAGE関数） 最大・最小（MAX・MIN関数）		書3章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第3回	データのカウント（COUNT・COUNTA関数） データの四捨五入・切り上げ・切捨て（ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数）		予習90分：教科書4章(例題8以外）を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	棒グラフ、積上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ		予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	3Dグラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ		予習90分：教科書6章(p.124-136)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	レーダーチャートグラフ、XYグラフ、絵グラフ		予習90分：教科書6章(p.138-144)を読む。 復習91分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	条件の判定（IF関数）とネスト		予習90分：教科書4章、例題８(p.94-96)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	データの並べ替え、検索と置換、抽出		予習90分：教科書7章、(p.146-168)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	条件の書き方、データの集計		予習90分：教科書7章、(p.169-179)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	データベース関数		予習90分：教科書8章、(p.202-210)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	関数		予習90分：教科書8章、(p.180-185)を読む。

	（RANK,LARGE,SMALL,VLOOKUP,HLOOKUP)		復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	①インフォグラフィックとは ② 関心のあるテーマを考えて、オープン・データを用いて、 EXCELでインフォグラフィックを作成。	アクティーブラーニング：「Think」考え・「Search」検索・「Do」作成・実行）	予習90分：インフォグラフィックについてインターネットで調べる。
第13回	Excelを用いて、インフォグラフィックの作成		予習90分：収集したデータを分析し、ストーリーを考える
第14回	1 回目～11 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。		予習90分：教科書3-8章を見直す。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第15回	プレゼンテーション(必修) （作成したインフォグラフィックを紹介・説明する）		予習90分：第13回の授業で学習した内容を再確認する。

教科書

30時間でマスター Excel2021（Windows11対応） 実教出版 ISBN:978-4-407-35940-4
実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 10%, 実技試験 50%, 応用課題 40%で評価する。

*定期試験は実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「コンピュータ基礎演習1」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C035

講義コード	40111001
講義名	データサイエンス
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

世界ではデジタル化・グローバル化が進み、社会・産業が大きく変化してきている。特に様々なものがデータでつながるSociety5.0の社会においては、データサイエンス・AIはデジタル社会の基礎知識として捉えられ、すべての学生が身に付けておくべき素養である。そのため、この授業ではデータサイエンスの基礎的な知識や、活用事例、演習を通して、データサイエンス・AIを日常の生活や仕事等の場で扱うことができる基礎的な素養を身に付け、人間中心のAI社会において、適切に判断、活用できるようになることを目指す。
なお、授業にはMoodleやTeamsを活用して、グループワークなどを行う予定である。また、授業中にExcelやTeamsが使えるようにPCやタブレット、スマートフォンを準備しておいてください。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」であり、数値や図表として表現されているデータの持っている意味を正しく把握し、それが社会でどのように活用されているかを多面的に理解する力を身に付ける。

到達目標

・データサイエンスを学ぶ意義を理解する
・社会でデータサイエンスやAIがどのように活用されているか説明できる
・データを適切に読み解き、判断し、活用できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	データサイエンスの概要・社会で起きている変化や活用されているデータ・データ・AIを扱う上での留意事項		予習90分：教科書の第1章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し

第2回	データ分析の基礎（1） ・データを読む・説明する ・ヒストグラム、代表値	代表値を求める	予習90分：教科書の第2章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第3回	データ分析の基礎（2） ・データを読む・説明する ・散布図と相関、グラフ	相関係数を求める	予習90分：教科書の第2章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第4回	データサイエンスの手法（1） ・データを読む ・データ・AI利活用のための技術と最新動向 ・回帰分析	回帰直線を描き、回帰式を求める	予習90分：教科書の第3章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第5回	データサイエンスの手法（2） ・データを読む ・データ・AI利活用のための技術と最新動向 ・重回帰分析、主成分分析、ベイズ推論		予習90分：教科書の第3章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第6回	データサイエンスの手法と応用事例（1） ・データを読む ・データ・AI利活用のための技術と最新動向 ・マーケティングにおける事例 ・アソシエーション分析、クラスタリング		予習90分：教科書の第5章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第7回	データサイエンスの応用事例（2） ・データ・AIの活用領域や現場と最新動向 ・金融における事例、AI		予習90分：教科書の第5章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第8回	データ分析のまとめと留意事項 ・データを読む・説明する ・データを守る上での留意事項		予習90分：教科書の第4章および配布資料で、データ分析手法について確認 復習90分：授業全体の振り返り

教科書

「データサイエンス入門 第2版」（学術図書出版） 竹村彰通他編

参考書

適宜紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課す課題の内容と取組70%、その他の課題30%。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題については、お互いに評価をしてもらい、その結果について、コメントをします。

履修のポイント

Moodleを活用し、課題を進めたり、お互いに評価したりしますので、積極的に取り組んでください。 また、日々の生活における活用事例などを意識してみることも重要です。 授業中にExcelやTeamsが使えるように準備しておいてください。
オフィス・アワー
火曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CS-R035

講義コード	40120001
講義名	デザイン基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点，線，面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

学生は、構成力とイメージの表現力を習得することができる 。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	エスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導	参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第2回	大日向基	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作

	子			
第3回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第4回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第5回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第6回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第7回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第8回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第9回	大日向基子	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う作品3つを選び投票する。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習45分：造形演習の制作
第10回	大日向基子	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う作品3つを選び投票する。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	大日向基子	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導	参考作品を紹介しながら、色彩の基礎知識、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第12回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作

第13回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第14回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第15回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第16回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第17回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第18回	大日向基子	制作、個別指導、作品提出		復習45分：色彩演習の制作
第19回	大日向基子	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース	参考作品を紹介しながら、構成学や、配色計画、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		復習45分：構成演習の制作
第21回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第22回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第23回	大日向基	制作、個別指導		予習45分：構成演習

	子			の制作
第24回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第25回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第26回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第27回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第28回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第29回	大日向基子	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予習45分：講評会準備
第30回	大日向基子	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う作品3つを選び投票する。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習45分：講評会の振り返り

教科書

使用しない

参考書

ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）造形思考（上・下）（パウル・クレー著 土方定一、菊森英夫、坂崎乙郎訳）点と線から面へ（ヴァシリー・カンディンスキー著・宮島久雄訳）はじめてであうデザインの本（ブルーノ・ムナーリ著 阿部雅世訳）美の構成学（三井秀樹著）配色の計画（ジョセフ・アルバース著・永原康史・和田美樹）配色の教科書（城一夫・色彩文化研究会）美術 表現と技法（代表著作者桑原実）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 造形演習25％ 色彩演習25％ 構成演習50％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想・学生のコメントが書かれた付箋等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
学生は、主体的に制作をおこない、構成力や発想力を高めることができる。
オフィス・アワー
水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C111

講義コード	40120002
講義名	デザイン基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点，線，面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

学生は、構成力とイメージの表現力を習得することができる 。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	エスキース等を含む演習の準備	参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第2回	大日向基	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作

	子			
第3回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第4回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第5回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第6回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第7回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第8回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第9回	大日向基子	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う3作品に投票する。作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	予習45分：講評会準備
第10回	大日向基子	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う3作品に投票する。作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	大日向基子	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導	参考作品を紹介しながら、色彩の基礎知識、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第12回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作

第13回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第14回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第15回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第16回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第17回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第18回	大日向基子	制作、個別指導、作品提出		復習45分：色彩演習の制作
第19回	大日向基子	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、 構成する素材をリサーチ、決定、トレース	参考作品を紹介しながら、構成学や、配色計画、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		復習45分：構成演習の制作
第21回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第22回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第23回	大日向基	制作、個別指導		予習45分：構成演習

	子			の制作
第24回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第25回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第26回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第27回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
第28回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：構成演習の制作
第29回	大日向基子	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う3作品に投票する。作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	予習45分：講評会準備
第30回	大日向基子	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。美しいと思う3作品に投票する。作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習45分：講評会の振り返り

教科書

使用しない

参考書

ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）造形思考（上・下）（パウル・クレー著 土方定一、菊森英夫、坂崎乙郎訳）点と線から面へ（ヴァシリー・カンディンスキー著・宮島久雄訳）はじめてであうデザインの本（ブルーノ・ムナーリ著 阿部雅世訳）美の構成学（三井秀樹著）配色の計画（ジョセフ・アルバース著・永原康史・和田美樹）配色の教科書（城一夫・色彩文化研究会）美術 表現と技法（代表著作者桑原実）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 造形演習25％ 色彩演習25％ 構成演習50％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想・学生のコメントが書かれた付箋等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
学生は、主体的に制作をおこない、構成力や発想力を高めることができる。
オフィス・アワー
水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C111

講義コード	40130001
講義名	絵画基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景画、人物画を描き、絵画の基礎を学習する。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学ぶ。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作する。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠である。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となるところである。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指す。

到達目標

優れたデザイナーやアーティストとなるため、描くことの基礎的な力を身につけ、心を豊かに育てることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写する。		予習45分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写する。	描写した作品をディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第3回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練

	・B3パネルに水張りを行う。		習をする。
第4回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習 45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習 45分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
14	遠近法を理解するための室内風景画制作 B3		復習45分：指導を参考に素描の練

第　回	・　ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		習をする。
第15回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第17回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練

	・アクリル絵具で着色する。		習をする。
第28回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 課題80%、授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前、もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C112

講義コード	40130002
講義名	絵画基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景画、人物画を描き、絵画の基礎を学習する。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学ぶ。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作する。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠である。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となるところである。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指す。

到達目標

優れたデザイナーやアーティストとなるため、描くことの基礎的な力を身につけ、心を豊かに育てることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写する。		予習45分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写する。	描写した作品をディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第3回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練

	・B3パネルに水張りを行う。		習をする。
第4回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習 45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習 45分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
14	遠近法を理解するための室内風景画制作 B3		復習45分：指導を参考に素描の練

第　回	・　ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		習をする。
第15回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第17回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練

	・アクリル絵具で着色する。		習をする。
第28回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 課題80%、授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前、もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C112

講義コード	40140001
講義名	工芸基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして，ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 柳澤 顕	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は，「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である．生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない，素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する．制作過程では，生活空間で使用する箸やカラトリーを題材に，機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり，理想とする造形を想像して，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養なう．作品の考察と教員の講評からは，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解，対象の理解のために，生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている．また，ディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，本講座では，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う．および，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ，変化に対応できる知識・技術の修得のために，本講座では，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す．

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けることができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	寺村サチコ柳澤顕	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる)		上記参照
第3回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ柳澤	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復

	顕			習をおこなう
第8回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （デザイン作成、削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	寺村サチコ柳	研磨		上記参照

	澤顕			
第15回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第19回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分

	柳澤顕			授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第23回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （研磨）		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第27回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
	寺村サチ			

第28回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	寺村サチコ柳澤顕		同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
１．学習態度・授業への参加度 ３０％
２．作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／７０％ ※課題提出が評価対象
上記１および２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする.

履修のポイント

欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする.

※材料費￥1,500程度かかります

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C113

講義コード	40140002
講義名	工芸基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして，ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は，「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である．生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない，素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する．制作過程では，生活空間で使用する箸やカラトリーを題材に，機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり，理想とする造形を想像して，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養なう．作品の考察と教員の講評からは，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解，対象の理解のために，生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている．また，ディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，本講座では，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う．および，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ，変化に対応できる知識・技術の修得のために，本講座では，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す．

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けることができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	寺村サチコ柳澤顕	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる)		上記参照
第3回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ柳澤	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復

	顕			習をおこなう
第8回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ柳澤顕	箸の制作 講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （デザイン作成、削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	寺村サチコ柳	研磨		上記参照

	澤顕			
第15回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第19回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分

	柳澤顕			授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第23回	寺村サチコ柳澤顕	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （研磨）		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第27回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 （塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
	寺村サチ			

第28回	寺村サチコ柳澤顕	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ柳澤顕	カトラリー／プレートの制作 講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	寺村サチコ柳澤顕		同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
１．学習態度・授業への参加度 ３０％
２．作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／７０％ ※課題提出が評価対象
上記１および２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする.

履修のポイント

欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする.

※材料費￥1,500程度かかります

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C113

講義コード	40150001
講義名	立体造形基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。
教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	森村均	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	森村均	"		"
	森	デッサンによる研		予習45分：レクチャー内容の予習

第3回	村均	究		復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	森村均	"		"
第5回	森村均	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	森村均	"		"
第7回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	森村均	"		"
第9回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	森村均	"		"
第11回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	森村均	"		"
第13回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	森村均	"		"
第15回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	森村均	"		"
第17回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
	森			

第18回	村均	"		"
第19回	森村均	抽象作品制作のためのプランニング		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	森村均	"		"
第21回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	森村均	"		"
第23回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	森村均	"		"
第25回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	森村均	"		"
第27回	森村均	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	森村均	"		"
第29回	森村均	講評	各自作品についてプレゼンテーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	森村均	"		"

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70％ 平常点評価30％。

本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
積極的な姿勢で授業に臨んでください。
オフィス・アワー
金曜日 10:50〜11:00 場所：5号館 501教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C114

講義コード	40150002
講義名	立体造形基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	森村均	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	森村均	"		"
				予習45分：レクチャー内容

第3回	森村均	デッサンによる研究		の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	森村均	"		"
第5回	森村均	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	森村均	"		"
第7回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	森村均	"		"
第9回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	森村均	"		"
第11回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	森村均	"		"
第13回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	森村均	"		"
第15回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	森村均	"		"
第17回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第18回	森村均	"		"
第19回	森村均	抽象作品制作のためのプランニング		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	森村均	"	"	
第21回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	森村均	"		"
第23回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	森村均	"		"
第25回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	森村均	"		"
第27回	森村均	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	森村均	"		"
第29回	森村均	講評	各自作品についてプレゼンテーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	森村均	"	"	

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70％ 平常点評価30％。 本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
積極的な姿勢で授業に臨んでください。
オフィス・アワー
金曜日 10:50〜11:00 場所：5号館 501教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C114

講義コード	40160001
講義名	デッサン（小林）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称していうが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思います。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。
教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶデッサンは、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察できる能力を身につける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	〃	〃
第3回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	〃	〃

第5回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	〃	〃
第7回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	〃	〃
第9回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	〃	〃
第11回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	〃	〃
第13回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	〃	〃
第15回	植物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	〃	〃
第17回	植物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	〃	〃
第19回	植物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	〃	〃
第21回	植物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	〃	〃
第23回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	〃	〃
第25回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	〃	〃
第27回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	〃	〃
	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッ

第29回	作品提出、全体講評	キー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	〃	〃

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。 必要に応じて配布する
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業態度３０％、課題完成度７０％で総合的に評価 ※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。
オフィス・アワー
授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C115

講義コード	40160002
講義名	デッサン（佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称していうが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思います。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。
教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、選択した専門分野の知識や技能を修得し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するための、基盤となる技術を得ることを目的とする。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察出来る能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	佐野 広章	《人物クロッキー》 素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	佐野 広章	〃	
第3回	佐野 広章	《自画像》 顔をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料を配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
	佐野		

第4回	広章	〃	
第5回	佐野 広章	《自画像》 顔をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	佐野 広章	〃	
第7回	佐野 広章	《自画像》 顔をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第9回	佐野 広章	《静物デッサン 1》 幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	佐野 広章	〃	
第11回	佐野 広章	《静物デッサン 1》 幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	佐野 広章	〃	
第13回	佐野 広章	《静物デッサン 1》 幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第15回	佐野 広章	《静物デッサン 2》 静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	佐野 広章	〃	
第17回	佐野 広章	《静物デッサン 2》 静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	佐野 広章	〃	
第19回	佐野 広章	《静物デッサン 2》 静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	佐野 広章	〃	
第21回	佐野 広章	《静物デッサン 2》 静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第23回	佐野 広章	《石膏デッサン》 石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習

		●クロッキー帳の用意	復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	佐野 広章	〃	
第25回	佐野 広章	《石膏デッサン》 石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	佐野 広章	〃	
第27回	佐野 広章	《石膏デッサン》 石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	佐野 広章	〃	
第29回	佐野 広章	《石膏デッサン》 石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。

オフィス・アワー

木曜日 12:35〜13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C115

講義コード	40170001
講義名	ＣＧ基礎I（Photoshop）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエーター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエーター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	柏木優希	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Photoshopの基本操作	予習45分：Adobe Webサイト内Photoshopの項目を閲覧する。
第2回	柏木優希	選択範囲の作成	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木優希	画像の移動と変形	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
	柏木		復習45分：学習範囲の教科書を読み

第4回	優希	カラーモードと色調変更	直す。
第5回	柏木優希	ペイント	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木優希	ペイント/レイヤー操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木優希	パスとシェイプ	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	柏木優希	テキスト	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	柏木優希	フィルター	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	柏木優希	画像の入出力	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	柏木優希	応用問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	柏木優希	応用問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	柏木優希	模擬試験問題解説、復習	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

教科書

「Photoshop®クイックマスターCC Windows&Mac」株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C131

講義コード	40170002
講義名	ＣＧ基礎I（Illustrator）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustratorの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエーター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験合格程度の知識と技術の取得を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエーター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	柏木優希	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustratorの基本操作	予習45分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。
第2回	柏木優希	オブジェクトの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木優希	オブジェクトの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
	柏木		復習45分：学習範囲の教科書を読み

第4回	優希	カラー設定の基本操作	直す。
第5回	柏木優希	オブジェクト編集の基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木優希	文字編集の基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木優希	パスの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	柏木優希	オブジェクトの応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	柏木優希	カラー設定の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	柏木優希	レイヤーの応用操作、文字編集の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	柏木優希	文字編集の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	柏木優希	パスの応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	柏木優希	模擬試験問題解説、復習	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

教科書
「Illustrator®クイックマスターCC Windows&Mac」株式会社ウイネット
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C131

講義コード	40180001
講義名	ＣＧ基礎II（Photoshop）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエーター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエーター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	柏木優希	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Photoshopの基本操作	予習45分：Adobe Webサイト内Photoshopの項目を閲覧する。
第2回	柏木優希	選択範囲の作成	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木優希	画像の移動と変形	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
	柏木		復習45分：学習範囲の教科書を読み

第4回	優希	カラーモードと色調変更	直す。
第5回	柏木優希	ペイント	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木優希	ペイント/レイヤー操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木優希	パスとシェイプ	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	柏木優希	テキスト	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	柏木優希	フィルター	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	柏木優希	画像の入出力	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	柏木優希	応用問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	柏木優希	応用問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	柏木優希	模擬試験問題解説、復習	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

教科書

「Photoshop®クイックマスター Windows&Mac」株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C131

講義コード	40180002
講義名	ＣＧ基礎II （Illustrator）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustratorの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエーター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験合格程度の知識と技術の取得を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエーター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustratorの基本操作	予習45分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。
第2回	柏木優希	オブジェクトの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木優希	オブジェクトの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
	柏木		復習45分：学習範囲の教科書を読み

第4回	優希	カラー設定の基本操作	直す。
第5回	柏木優希	オブジェクト編集の基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木優希	文字編集の基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木優希	パスの基本操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	柏木優希	オブジェクトの応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	柏木優希	カラー設定の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	柏木優希	レイヤーの応用操作、文字編集の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	柏木優希	文字編集の応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	柏木優希	パスの応用操作	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	柏木優希	模擬試験問題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	柏木優希	模擬試験問題解説、復習	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

教科書
「Illustrator® クイックマスター Windows&Mac<最新版>」株式会社ウイネット
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。
課題等に対する フィードバックの方法
教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C131

講義コード	40190001
講義名	アート・デザインI（小松原/松村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、絵画・イラストの両分野に共通して応用できる基礎的な知識や技術について学習する。内容としては主にイラストレーションや絵画制作における様々な技法の修得、それぞれの技法に合わせた画材の性質と特性の理解を中心に学ぶ。
本講座の最後には、これまでの基礎的な技法を活用しながら、オリジナリティー溢れた個性的な作品制作を目指し、今後の自身の方向性を探ることも視野にいれる。

授業担当 月曜日：松村、木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
イラストレーションや絵画などの様々な表現に関する知識や技能の習得、また実践的なアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

各種画材について、その性質及び特徴等の理解や、様々な技法の修得、自己表現の探求を本講座の目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小松原洋	初年時教育：絵画・イラストレーション分野を学ぶ上での心構え、姿勢など２年間の取り組み方について講義 オリエンテーション・シラバス説明		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。

	生	課題「Self-portrait」自分自身を見つめた作品の制作 アイデアスケッチの開始 ※クロッキー帳用意		復習45分：指導内容の復習
第2回	小松原洋生	”		
第3回	松村誠一	「Self-portrait」 講師によるアイデアスケッチのチェック イラストレーションボードへ下描き開始		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第4回	松村誠一	”		
第5回	松村誠一	「Self-portrait」 下書き終了後、着色開始 画材、技法は自由。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第6回	松村誠一	”		
第7回	小松原洋生	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第8回	小松原洋生	”		
第9回	松村誠一	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第10回	松村誠一	”		
第11回	小松原洋生	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第12回	小松原洋	”	”	

	生			
第13回	小松原洋生	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第14回	小松原洋生	”		
第15回	松村誠一	「Self-portrait」完成 プレゼンテーション、講評（アクティブラーニング） 作品の提出 ●次回からの制作についての説明	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第16回	松村誠一	”		
第17回	小松原洋生	「鉛筆によるモノクローム作品」 アイデアスケッチの開始 ※クロッキー帳用意		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第18回	小松原洋生	”		
第19回	松村誠一	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第20回	松村誠一	”		
第21回	小松原洋生	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第22回	小松原洋生	”		
第23回	松村誠一	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習

第24回	松村誠一	”		
第25回	小松原洋生	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第26回	小松原洋生	”		
第27回	松村誠一	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第28回	松村誠一	”		
第29回	小松原洋生	「鉛筆によるモノクローム作品」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第30回	小松原洋生	”		
第31回	松村誠一	「鉛筆によるモノクローム作品」完成 プレゼンテーション、講評（アクティブラーニング） 作品の提出 ●次回からの制作についての説明	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第32回	松村誠一	”		
第33回	小松原洋生	「透明水彩技法」についての解説（プリント配布） 技法練習 静物画の下書き		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第34回	小松原洋生	”		

第35回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作 ６号キャンバスに静物画制作		予習　分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第36回	松村誠一	”	”	
第37回	小松原洋生	「透明水彩技法」 静物画の下書きから着彩へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第38回	小松原洋生	”		
第39回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第40回	松村誠一	”		
第41回	小松原洋生	「透明水彩技法」 静物画制作、完成、講評		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第42回	小松原洋生	”		
第43回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第44回	松村誠一	”		
第45回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」 アイデアスケッチの制作 ※クロッキー帳用		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
46	小松	”		

第　回	原洋生			
第47回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第48回	松村誠一	”		
第49回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作 アイデアスケッチから下書き制作へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第50回	小松原洋生	”		
第51回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第52回	松村誠一	”		
第53回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作 着色		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第54回	小松原洋生	”		
第55回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第56回	松村誠一	”		
第57回	松村誠一	「油彩基礎技法」 静物画制作、仕上げ 講評 作品の提出		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第58回	松村	”		

	誠一			
第59回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作、完成 プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評 作品の提出	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	小松原洋生	”	”	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

作品制作に必要な画材、エスキース等は、事前に準備し授業に臨む事。
作品が一定水準に達していないときは再提出とする場合がある。授業態度等についても重視する。

オフィス・アワー

松村：月曜日 12:30〜13:20 場所：1号館１F 111研究室
小松原：木曜日 12:30〜13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190002
講義名	アート・デザインI（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業はマンガやコミックイラストレーションに関する基礎的な知識や技術について学習する。マンガ、イラストレーション表現における基本的なテクニックを始め、この分野に求められる表現力や描写力を養うと共に技法研究も行う。出版社への持ち込みや投稿に使用できるオリジナルストーリーマンガ作品の制作、デザイン、アニメーション会社への就職を手助けするCGイラスト制作技術の修得を教育目標として、今後のアート・デザインII・III等へ展開するための第一歩の授業となる。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、マンガ・CGイラストに関する基礎知識や技術を身につけるとともに、描画力・ストーリー制作の表現、CGイラストレーション技術について学んでいく。アート・デザインII以降の応用的な授業に対応するための準備段階として学習目的を設定している。

到達目標

以下に到達目標を記す
◯ 基礎技法の修得
◯ 様々な描画表現の理解
◯ キャラクターデザインについての理解
◯ ストーリー制作の基礎

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 自己紹介四コマ漫画で使いたいアイデアを準備する
第2回	下描き		復習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第3回	制作作業		予習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第4回	講評会		復習：90分 講評会の振り返り
第5回	課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 模写の題材を考える
第6回	アイデアスケッチ		復習：90分 模写による技法表現制作
第7回	下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第8回	下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第9回	下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第10回	下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第11回	主線入れ		予習：90分 模写による技法表現制作
第12回	主線入れ		復習：90分 模写による技法表現制作
第13回	ベタ塗り、トーンワーク		予習：90分 模写による技法表現制作
第14回	ベタ塗り、トーンワーク		復習：90分 模写による技法表現制作
第15回	制作作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第16回	アクティブ・ラーニング：講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う		復習：90分 講評会の振り返り
第17回	遠近法①		予習：90分 遠近法①のリサーチ
第18回	遠近法①		復習：90分 遠近法①の振り返り
第19回	人体のバランス・男女の描き分け①		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①のリサーチ
第20回	人体のバランス・男女の描き分け①		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①の振り返り
第21回	遠近法②		予習：90分 遠近法②のリサーチ
第22回	遠近法②		復習：90分 遠近法②の振り返り
第23回	人体のバランス・男女の描き分		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け

	け②		②のリサーチ
第24回	人体のバランス・男女の描き分け②		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②の振り返り
第25回	遠近法③		予習：90分 遠近法③のリサーチ
第26回	遠近法③		復習：90分 遠近法③の振り返り
第27回	漫画における基本技法①		予習：90分 漫画における基本技法①のリサーチ
第28回	漫画における基本技法①		復習：90分 漫画における基本技法①の振り返り
第29回	動きの表現①		予習：90分 動きの表現①のリサーチ
第30回	動きの表現①		復習：90分 動きの表現①の振り返り
第31回	漫画における基本技法②		予習：90分 漫画における基本技法②のリサーチ
第32回	漫画における基本技法②		復習：90分 漫画における基本技法②の振り返り
第33回	動きの表現②		予習：90分 動きの表現②のリサーチ
第34回	動きの表現②		復習：90分 動きの表現②の振り返り
第35回	漫画における基本技法③		予習：90分 漫画における基本技法③のリサーチ
第36回	漫画における基本技法③		復習：90分 漫画における基本技法③の振り返り
第37回	課題内容説明、ネーム作成		予習：90分 ５ページマンガ制作準備
第38回	ネーム作成		復習：90分 ５ページマンガ制作
第39回	ネーム作成		予習：90分 ５ページマンガ制作
第40回	ネーム作成		復習：90分 ５ページマンガ制作
第41回	ネーム作成		予習：90分 ５ページマンガ制作
第42回	ネーム作成		復習：90分 ５ページマンガ制作
第43回	ネーム作成		予習：90分 ５ページマンガ制作
第44回	ネーム作成		復習：90分 ５ページマンガ制作

第45回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第46回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第47回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第48回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第49回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第50回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第51回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第52回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第53回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第54回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第55回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第56回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第57回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第58回	制作作業		復習：90分 ５ページマンガ制作
第59回	制作作業		予習：90分 ５ページマンガ制作
第60回	講評会	講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題提出80％ 授業参加度20％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。 「予習内容」アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる。 「復習内容」目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める。
オフィス・アワー
月曜日 10:50-11:00 １号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 １号館103教室（吉沢）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R110

講義コード	40190003
講義名	アート・デザインI（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教 員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの基礎となる知識と技術を作品の制作を通して学んでいく。更には、優れた作品を創り出す為のコンセプトの開発テクニック、発想・アイデアや表現計画、そして実際の印刷入稿などの全体像を学んでいく。また実際のDTPソフトの操作方法を学びながら、制作プロセスや制作の為の基本的テクニックを実際の作品制作を通して習得していく。
デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取ってもらいたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエーターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解する。
◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を深める。
◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に表現する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予

第1回	初年次教育：グラフィックデザインを学習する上での心構えや姿勢など２年間の取り組みついてレクチャー グラフィックデザインの全体像など概要説明– 1 プレゼンテーションテクニックについて、他		習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 女性ファッション雑誌カバーデザインの概要説明 ビジュアル画像案データの配布 サムネイル制作について ●Macの基本操作説明 見出しタイトル案を考えておく		
第3回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 グラフィックデザインの概要説明-2 サムネイル制作からカンプへ 構成要素の作成 テキストデータの作成と保存 画像のトリミング 画像補正・台紙制作トンボ（CMYK)の作成 ●CMYKについての説明		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”		
第5回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 ●ペンツールでタイトルロゴを作る▶ペンツール練習 塗りと線 カラーの設定 台紙でのマージンとガイドの設定 ●デザインロジックについてのレクチャー		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”		
第7回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 ●構成要素の配置・レイアウト ビジュアル・文字データ・ロゴタイプ・パターンなどの主な構成要素を中心に台紙に配置してレイアウトする▶文字データの加工 配置～リンクなどの説明		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”		
			予習45分：

第9回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 カンプ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第10回	”		
第11回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 カンプ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第12回	”		
第13回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 画像データ、文字データを盛り込みレイアウトデータの制作 制作の継続・全体レイアウトへ		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第14回	”		
第15回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 データの保存・プリントの仕方 MACによるレイアウトデータの制作・レイアウトの完成した人からプリントへ 次回提出物／サムネイル、コメントのポイント、レイアウト完成プリントの3種		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第16回	”		
第17回	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 雑誌カバーデザインプリント作品及び作品データ、他提出物の提出 講評・プレゼンテーションなど。	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予 習45分：プレゼンテーションの準備復 習45分：講評内容について検証
第18回	”	”	
			予

第19回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 課題概要説明 ベジェ曲線演習（photoshopでの下絵の取り込み～Illustratorペンツールによる制作演習）動物園にどんな設備やサービスが必要か、そして色々な動物をモチーフに、誰でも理解できるピクトグラム（絵文字）をデザインする→アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”		
第21回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	”		
第23回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”		
第25回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 手描きアイデアスケッチの中から12点を選び、イラストレーター・ペンツールを使いデータ化する アイデアスケッチ→スキャニング→ペンツールでトレース		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”		
第27回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツール（ベジェ曲線）を使い制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”		

第29回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツールを使い制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	”		
第31回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツールを使い制作 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、計12点のデザインを提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	”		
第33回	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、計12点のデザインとコンセプトシート、及び作品データを提出 ●次回課題の概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第34回	”	”	
第35回	「広告ツールデザイン」 ●新課題・テーマパークの交通広告（電車中吊りポスター）について概要説明 広告表現の発想法、コンセプトの導き出し方等についてのレクチャー、発想からサムネイルへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	”		
第37回	「広告ツールデザイン」 発想からサムネイルへ 企画書、サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第38回	”		
第39回	「広告ツールデザイン」 サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作→MACによるカンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	”		
第41回	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第42回	”		
第43回	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第44回	”		
第45回	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回	”		
第47回	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続・作品が完成した人からプリント出力 プレゼンテーションの為の発表原稿作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内

			容の復習
第48回	”		
第49回	「広告ツールデザイン」 講評会の実施。作品・コンセプトシート・作品データの提出 講評・プレゼンテーションなど ●グリーティングカードデザインの概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第50回	”	”	
第51回	「グリーティングカードデザイン」 グリーティングカードデザインの概要説明 バースデーカード、暑中見舞い、クリスマスカードなど2種類以上のグリーティングカードを制作 テーマに沿ってデザインを考えアイデアスケッチへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	”		
第53回	「グリーティングカードデザイン」 サムネイルデザインを決定 ビジュアルなど各構成要素の制作へ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	”		
第55回	「グリーティングカードデザイン」 ビジュアルなど各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	”		
第57回	「グリーティングカードデザイン」 ビジュアルなど各構成要素の制作 規定の仕様にて仕上げ→プリントへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レク

			チャー内容の復習
第58回	”		
第59回	「グリーティングカードデザイン」 仕上げ・規定の仕様にて仕上げ後、作品プリント・コンセプトシート及び作品データの提出・講評・プレゼンテーションなど。	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：講評内容について検証
第60回	”	”	

教科書

使用しない

参考書

使用しない
必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行状況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。
デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持つことから始まります。街の中のサインボードやポスター、店舗に置かれたパンフレットや折込チラシ、スーパーやコンビニの新商品のパッケージ。それらの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見ること、そして、その良さを感じ取る訓練を日々の日常の中からすることが大切です。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：
小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室
三関：木曜日 10:50～11:00 場所：1号館３F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190004
講義名	アート・デザインI（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく帽子、鞄など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。
さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法に関する知識を取得し、スカート、レッグウエアを制作する。

染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	担			

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	寺村サチコ	初年時教育		予習 25分 身近にあるファッションアイテムにどんなものがあるか調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第2回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー		予習 25分 繊維素材について調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第3回	石井智子	基礎縫い１（玉止め、玉結び、並縫い、ぐし縫い、本返し、半返し）		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第4回	石井智子	同上		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第5回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー(色、素材、絞り染め、浸染等)		予習 45分 道具の確認、準備を行う。 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	基礎縫い２（たてまつり、流しまつり、奥まつり、星止め）		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー(絞り染め、浸染、型染、捺染等)		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
	寺村			

第10回	サチコ	同上		上記参照
第11回	石井智子	基礎縫い復習、スカートの素材のリサーチおよびレクチャー		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー(型染、オパール加工、各種プリント)		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	製図基礎・採寸		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	ファッションアイテムの染色、プレゼンテーション	作品について学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義

				したセクションの復習を行う
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	レッグウエアの制作		予習 45分 レッグウエアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	レッグウエアの制作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第26回	寺村サチコ	同上		上記参照
第27回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サ	レッグウエアの制作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する

	チコ			復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	レッグウエアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	レッグウエアの製作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	レッグウエアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	レッグウエアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	レッグウエアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
第47回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	レッグウエアの制作講評会、作品撮影	作品について学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石			予習 45分 材料の準備

第51回	井智子	スカートの製作		を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー（草木染め）		予習 45分 どのような草木染めがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	スカートの制作		予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー（草木染め）		予習 45分 どのような草木染めがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	寺村サチコ	同上		上記参照
第59回	石井智子	バッグ・ブラウスのデザインおよび部分縫いのレクチャー		予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第60回	石井智子	同上		上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥

服地の基礎がわかるテキスタイル事典

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／1.平常点（取組みの姿勢）３０％ 2.作品点／７０％
上記1および2の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）
石井：木 9：20-12：30 （105教室）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190005
講義名	アート・デザインI（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川，新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事．教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から，基礎となることを伝達する授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は，インテリア・空間デザイン領域での学びの導入として，学び方を知る「初年次教育」と，設計製図，透視図，模型，スケッチソフト，計測方法，構造や設備などの専門の概要について学ぶ．課題では，ディスプレイ空間と住まいの空間を題材に，人間の主観に関わるデザインに取り組む．
学びのプロセスは，まず，デザインを表示するための設計製図や透視図の基礎技術を習得し，その技術を活用して，商業的空間を対象としたディスプレイデザインに取り組む．客観性ある表示と「イメージ」の表現、思考方法について体験的に学ぶ．次に実在する空間「マイルーム」を対象に，実測方法と制作のプロセスにおいて見えてくる構造や仕上げ，設備の概要などについて学ぶ．状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義などの機会をもうけている．
なお本講座は，インテリア・空間デザインに関わる「基礎知識と基礎技術」を身につけることを教育目標としている。また本講座は商業施設士補資格の指定教科である．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，基礎的な製図のルールの理解，透視図法の習得，建築空間に関わる基礎的な知識の習得を目指す．また、ディプロマポリシー；多様な社会のニーズと変化に対応できる実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するために，本講座では，インテリア・空間デザインの知識と技術の基礎を身につけることを目指す．

到達目標

1. 基礎的な製図のルールの理解
2. 透視図の理解
3. 建築空間に関わる基礎的な知識の習得
4. 人間の主観に関わるデザインの理解

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	及川澄人	初年次教育：インテリア・空間デザイン領域での学ぶ姿勢や学び方について解説 授業内容についてのガイダンス 空間デザインの領域と業務についての概要	＜アクティブラーニング＞ 「日常生活における空間を対象としたデザイン」をテーマに意見交換	予習：45分 ショップやイベント会場などの周辺のインテリア・空間デザインの事例を見学しておく 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	及川澄人	製図用具についての解説 線の練習		
第3回	新井絹世	線の練習		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	線の練習		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	文字の練習		
第7回	新井絹世	三面図の練習 相関体		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹世	同上		
第9回	及川澄人	立体の把握 模型		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄人	同上		
				予習：45分

第11回	新井絹世	アイソメ図の理解		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	ディスプレイの計画デザイニング		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	及川澄人	同上		
第15回	新井絹世	ディスプレイの計画デザイニング		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄人	ディスプレイの計画デザイニング・図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上		
第19回	新井絹世	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は

				コンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄人	同上		
第27回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	新井	同上		

	絹世			
第33回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	新井絹世	同上		
第37回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	同上		
第39回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
				予習：45分

第43回	新井絹世	模型の制作		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹世	同上		
第45回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	
第51回	新井絹世	インテリア計画 実測実習	＜アクティブラーニング＞ サンプルとなる空間を設定し，グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する．	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上	＜アクティブラーニング＞ サンプルとなる空間を設定し，グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する．	
第53回	及川澄	インテリア計画 人間工学の理解		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	人			制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	及川澄人	同上		
第55回	新井絹世	インテリア計画 木造建築の構造の理解と図面の作成		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	インテリア計画 木造建築の構造の理解と図面の作成		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世及川澄人	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合（上）（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する

フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催して，学生全員がプレゼンテーションし，アクティブラーニング形式でフィードバックする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする．
履修のポイント
欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする
オフィス・アワー
及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131） 新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、教室等
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R110

講義コード	40200001
講義名	アート・デザインII（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では絵画やイラストレーションを作品制作を通して追求して行く。この二つの分野は方向性に違いはあっても、一つの画面に対して作業を行い、表現していく点では共通しており、それぞれに吸収し合える面も多い。技法を研究し、自分の表現したい世界観を具現化するために必要な基礎技術や画材等の知識についても学習していく。絵画とイラストレーションのそれぞれの分野における表現方法の追求と修得を目標とし、各自が表現したいオリジナル作品の制作も行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、対象の理解をもとにした表現をするための知識や技能、および選択した専門分野の様々な表現方法を修得する。

到達目標

○無彩色の細密表現と構成力の習得
○マチエール技法の凹凸による質感表現の習得
○トリックアート制作による視覚表現の習得
○オリジナル作品制作による自己表現の習得
○講評会によるプレゼンテーション能力の基礎を習得する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	松村誠一	マチエール研究による作品制作（画材説明、アイデアスケッチ）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資

				料の確認
第2回	松村誠一	〃		
第3回	佐野広章	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	松村誠一	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	松村誠一	〃		
第7回	佐野広章	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	松村誠一	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	松村誠一	〃		
第11回	佐野広章	マチエール研究による作品制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野	〃		

	広章			
第13回	松村誠一	トリックアート制作（前提講義、アイデアスケッチ）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	松村誠一	〃		
第15回	佐野広章	CGイラスト制作（前提講義、アイデアスケッチ）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第17回	松村誠一	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	松村誠一	〃		
第19回	佐野広章	CGイラスト制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃		
第21回	松村誠一	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	松村誠一	〃		
				予習45分：次回実習

第23回	佐野広章	CGイラスト制作		内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	〃		
第25回	松村誠一	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	松村誠一	〃		
第27回	佐野広章	CGイラスト制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第29回	松村誠一	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	松村誠一	〃		
第31回	佐野広章	CGイラスト制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	佐野広章	〃		
第33回	松村誠一	トリックアート制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資

				料の確認
第34回	松村誠一	〃		
第35回	佐野広章	CGイラスト制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第37回	松村誠一	進級制作（前提講義、アイデアスケッチ）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	松村誠一	〃		
第39回	佐野広章	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	佐野広章	〃		
第41回	松村誠一	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	松村誠一	〃		
第43回	佐野広章	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	佐野	〃		

	広章			
第45回	松村誠一	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	松村誠一	〃		
第47回	佐野広章	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	佐野広章	〃		
第49回	松村誠一	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	松村誠一	〃		
第51回	佐野広章	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	佐野広章	〃		
第53回	松村誠一	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	松村誠一	〃		
				予習45分：次回実習

第55回	佐野広章	進級制作		内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	佐野広章	〃		
第57回	松村誠一	進級制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	松村誠一	〃		
第59回	佐野広章	進級制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
授業態度３０%、課題完成度７０%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

アイデア考案、情報収集を授業準備時に行い自身の考えをまとめる。目標到達に向け、主体的な学習を授業時に行い技能習得に努める。

オフィス・アワー

月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）、１号館1F:111研究室（松村）
木曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）、１号館2F:121研究室（佐野）

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R130

講義コード	40200002
講義名	アート・デザインII（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIを受けて、更に専門的に学んでいく。基礎技法の更なる修得及びマンガ制作の核とも言えるネーム作業のノウハウについて学び、プロットの立て方、ストーリー展開、ページ割り、コマ割りについて等様々なスキルを身につけていくこと、またはＣＧイラスト制作のための基本的な技術を学び習得することを教育目標とする。
共通テーマによる制作を通して個人の感性の違いについても理解を深める。
※シラバスの内容・実施順については状況により変更する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・ＣＧイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下を到達目標とする。
・基礎技法修得。
・キャラクターやストーリーについての理解。
・ネーム作業のノウハウの理解。
・与えられたテーマによるストーリー作品のクオリティーアップ。
・ＣＧイラストの基礎技法習得。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	テーマによる１ページイラス		予習：90分 テーマによ

第1回	ト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		る１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト準備
第2回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第3回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第4回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第5回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第6回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第7回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第8回	テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 テーマによる１ページイラスト・マンガ またはテーマによるＣＧイラスト振り返り
第9回	テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚準備
第10回	テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第11回	テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作

第12回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第13回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第14回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第15回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第16回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第17回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第18回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第19回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第20回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第21回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第22回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制

			作
第23回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第24回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第25回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第26回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第27回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚		予習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚制作
第28回	テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 テーマによる５ページマンガまたはテーマによるカラーＣＧイラスト５枚振り返り
第29回	オリジナル１２ページマンガ／プロットまたはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚準備
第30回	オリジナル１２ページマンガ／プロットまたはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第31回	オリジナル１２ページマンガ／プロットまたはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第32回	オリジナル１２ページマンガ／プロットまたはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
33	オリジナル１２ページマンガ／ネーム		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作

第　回	またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第34回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第35回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第36回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第37回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第38回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第39回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第40回	オリジナル１２ページマンガ／ネーム またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第41回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第42回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第43回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
			90

第44回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：　分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第45回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第46回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第47回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第48回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第49回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第50回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第51回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第52回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第53回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第54回	オリジナル１２ページマンガ／ペン入れ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイ

	枚		ラスト６枚制作
第55回	オリジナル１２ページマンガ／仕上げ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第56回	オリジナル１２ページマンガ／仕上げ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第57回	オリジナル１２ページマンガ／仕上げ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第58回	オリジナル１２ページマンガ／仕上げ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第59回	オリジナル１２ページマンガ／仕上げ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第60回	オリジナル１２ページマンガ またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 課題提出80％ 授業参加度20％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。
必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 10:50-11:00 １号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 １号館103教室（吉沢）

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R130

講義コード	40200003
講義名	アート・デザインII（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教 員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインII(G)では、アート・デザインI(G)に続き、更に実践的技術と専門的知識を身につけるべく授業展開を図る。特に各ジャンル別のプレゼンテーションテクニック、DTP入稿の為の知識と技術を養い、実際のデザインの現場をシュミレーションすることで、プロへの意識を感じ取り、更にはグラフィックデザイナーとしての領域での実践力を身につける。
デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取らせたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエーターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を更に深める。
◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に美しく表現できるようになる。更に応用力を身につける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	ｾｰﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ(SP)デザイン パッケージデザイン[1] 広告とセールスプロモーション及びパッケージデザインに関するレクチャー。 パッケージデザインの概要説明 スナック菓子の新パッケージデザインを考える。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し
第2回	〃		
第3回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[2] 発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	〃		
第5回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[3] サムネイルから構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	〃		
第7回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[4] 構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	〃		
第9回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[5] MACによるカンプ制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レク

			チャー内容の復習
第10回	〃		
第11回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[6] MACによるカンプ制作の継続。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第12回	〃		
第13回	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[7] 仕上げ・デザインを厚紙にプリント出力し、パッケージを立体に仕上げる。 ●パッケージデザインをした新製品のポスター等制作プロセスの概要説明。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第14回	〃		
第15回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[1] 先に制作したパッケージをもとに、新発売のポスター及びアイキャッチャーとしてのスイングPOPを考え、デザインする。ポスターでのパッケージの表現方法、POP配置等を含めサムネイルを考える。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第16回	〃		
第17回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[2] サムネイルからビジュアルなど各構成要素の制作。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第18回	〃		
第19回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[3] サムネイルからビジュアルなど各構成要素の制作。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：

			レク チャー内 容の復習
第20回	〃		
第21回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[4] カンプ制作。		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第22回	〃		
第23回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[5] カンプ制作。		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第24回	〃		
第25回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[6] カンプ制作。		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第26回	〃		
第27回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[7] カンプ制作の継続・仕上げ ポスター＋POPのプリント。		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第28回	〃		
第29回	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ)・プレゼンテーション・講評	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生	予 習45分： プレゼン テーショ ンの準備 復

	●次の新課題 化粧品雑誌広告についての概要説明	同士のディスカッションなども実施する場合もある。	習45分：講評内容について検証
第30回	〃		
第31回	化粧品の雑誌広告デザイン[1] 市販されている化粧品の中からテーマを決め、雑誌見開きページのデザインをする。 発想～サムネイル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	〃		
第33回	化粧品の雑誌広告デザイン[2] 発想～サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第34回	〃		
第35回	化粧品の雑誌広告デザイン[3] 発想～サムネイル制作（担当講師に確認後）～カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	〃		
第37回	化粧品の雑誌広告デザイン[4] 制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第38回	〃		
	化粧品の雑誌広告デザイン[5]		予習45分：レクチャー内容の予習

第39回	制作の継続。		復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	〃		
第41回	化粧品の雑誌広告デザイン[6] 制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第42回	〃		
第43回	化粧品の雑誌広告デザイン[7] 作品提出（プリント+作品データ）・講評 ●次の新課題 公共広告についての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第44回	〃	〃	
第45回	公共広告デザイン[1] 中吊りワイド広告をデザインする。●広告レクチャー ●交通広告の特長について 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンプ制作へ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回			
第47回	公共広告デザイン[2] 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第48回	〃		
	公共広告デザイン[3]		予習45分：レク

第49回	サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		チャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第50回	〃		
第51回	公共広告デザイン[4] MACによるカンプ制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	〃		
第53回	公共広告デザイン[5] カンプ制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	〃		
第55回	公共広告デザイン[6] 制作の継続 構成要素の制作からレイアウトデザインへ。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	〃		
第57回	公共広告デザイン[7] 制作の継続 レイアウトデザインの仕上げ～プリント。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第58回	〃		
			予習45分：

第59回	公共広告デザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ)・プレゼンテーション・講評 学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	プレゼンテーションの準備復習45分：講評内容について検証
第60回	〃	〃	

教科書

使用しない

参考書

使用しない
必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行業況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。
※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。
デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持ってください。それらメディアの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練を。また、ポートフォリオ（作品集）のため、これまでの課題作品のブラッシュアップと作品制作を始めてください。ポートフォリオのクオリティが就活を有利に導く重要な条件となります。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：
小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室
三関：木曜日 10:50～11:00 場所：1号館３F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40200004
講義名	アート・デザインII（石井智/村松）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 石井 智子	指定なし
教 員	村松 恵	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく帽子、鞄など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。
さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法、トレンドカラーに関する知識を取得し、ブラウス、ヘッドピース、バッグなどを制作する。
染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

原則として月曜→寺村、木曜→石井、で行うが、内容に応じて変更する場合もあります。
※本授業は作品の提出及びまとめたノート等により成績評価を行い、定期試験は実施いたしません。

本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得し、ファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	石井智子	ブラウスの制作		上記参照予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第2回	石井智子	同上		上記参照
第3回	寺村サチコ	ファッションと色彩１（トレンドカラー）		予習 45分 カラーチップを準備しておく 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第4回	寺村サチコ	同上		上記参照
第5回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第6回	石井智子	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ	ファッションと色彩２（ドローイング）	ドローイングを行ったものを学生同士で見せ合い意見交換を行う	予習 45分 ドローイングについて調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第9回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

第10回	石井智子	同上		上記参照
第11回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第12回	寺村サチコ	同上		上記参照
第13回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第14回	石井智子	同上		上記参照
第15回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	寺村サチコ	同上		上記参照
第17回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第18回	石井智子	同上		上記参照
第19回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第20回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石			予習 45分 材料の準

第21回	井智子	ブラウスの制作		備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第22回	石井智子	同上		上記参照
第23回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	寺村サチコ	同上		上記参照
第25回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第26回	石井智子	同上		上記参照
第27回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第28回	寺村サチコ	同上		上記参照
第29回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第30回	石井智子	同上		上記参照
第31回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
32	寺村			

第　回	サチコ	同上		上記参照
第33回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	石井智子	同上		上記参照
第35回	寺村サチコ	「動き」を意識したテキスタイルアイテムの制作 講評会、作品撮影	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第36回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第37回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	石井智子	同上		上記参照
第39回	寺村サチコ	織技法のレクチャー（平織、綾織、朱子織）		予習 45分 どのような織技法があるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	寺村サチコ	同上		上記参照
第41回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第42回	石井智子	同上		上記参照
				45

第43回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習　　分 どのようなヘッドピースがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	寺村サチコ	同上		上記参照
第45回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	石井智子	同上		上記参照
第47回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	寺村サチコ	同上		上記参照
第49回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	石井智子	同上		上記参照
第51回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	寺村サチコ	同上		上記参照
第53回	石井	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行

	智子			の確認と次回授業の準備を行う
第54回	石井智子	同上		上記参照
第55回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第56回	寺村サチコ	同上		上記参照
第57回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	石井智子	同上		上記参照
第59回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピース 講評会、作品撮影	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第60回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥
服地の基本がわかるテキスタイル事典

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／1.平常点（取組みの姿勢）３０％ 2.作品点／７０％
上記1および2の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室） 石井：木 9：20-16：30（105教室）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R130

講義コード	40200005
講義名	アート・デザインII（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川，新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事．教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から，基礎となることを伝達する授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの領域では，パーソナルなインテリア空間から社会を包括する都市空間まで，人々が関わる様々な空間を対象としている．本講座では，まず表示技術としての「CADソフト」を習得してデザイン課題に取り組む技術を習得する．デザイン課題の前半では「住まい」を題材に「思いをかたちにする力（主観的なイメージを客観化させる力）」，後半では「店舗」を題材に「かたちで第三者を共感させる力（共感性あるデザインを創出する力）」を養う．課題の対象を「自分」から「第三者」，面積も大きくなり，販売という目的の増加など，徐々に与件が増していく課題設定で段階的な学びを得る．両課題では，与件に基づいて企画，計画，デザインをおこない，プレゼンテーションボードとしてにまとめ，いわゆる社会での業務フローに沿ったプロセスを体験する．また，本領域に関わる安全や法規，経営にも触れ，実践的な空間デザインに向けた応用力を養っていく．
本講座の教育目標は「共感性ある空間デザインを創出する力を身につけ，実践的な空間デザインに向けた応用力を育むこと」である．なお，状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義の機会をもうける．本講座は商業施設士補資格の指定教科となっている．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，調査からキーワードを抽出したイメージ表現と，機能や要求を考慮した共感性あるデザインに取り組む．また，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように，本講座では「共感性ある空間デザインを創出する力」を身につけることを目指す．

到達目標

1．CADソフト（SketchUp）の習得
2．調査からキーワードを抽出したイメージ表現力の習得
3．機能や要求を考慮した共感性あるデザイン力の習得
4．経営的な感覚の習得

授業計画

	担			予習・復習と

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な時間
第1回	及川澄人	CADの概念	＜アクティブラーニング＞ CAD使用の意義をテーマに意見交換する	予習：20分 CAD使用の意義について調べておくこと 復習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	及川澄人	基本操作の習得		予習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第3回	新井絹世	基本操作の習得		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	同上		
第7回	新井絹世	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹世	同上		

第9回	及川澄人	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄人	同上		
第11回	新井絹世	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	作図課題 展開図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	及川澄人	同上		
第15回	新井絹世	作図課題 展開図の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄人	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる

				（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 思いをかたちにするデザインをテーマに意見交換する	
第19回	新井絹世	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川澄人	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	インテリアエレメントの理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄人	同上		

第27回	新井絹世	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	パースペクティブドローイングの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	新井絹世	同上		
第33回	及川澄人	パースペクティブドローイングの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹世	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし，教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる

				（制作はコンペ等も含む）
第36回	新井絹世	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションし，教員の講評と学生同士が意見交換する	
第37回	及川澄人	空間によるコミュニケーションの理解II ＜アクティブラーニング＞ ショップデザインの題材となることをテーマに意見交換する		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	ブランド研究／立地等環境の調査		
第39回	新井絹世	機能とゾーニング及び動線計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	RC構造／S造と設備の理解 図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
第43回	新井絹世	RC構造／S造と設備の理解 図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹世	同上		

第45回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上		
第51回	新井絹世	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上		
第53回	及川澄人	完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる

				（制作はコンペ等も含む）
第54回	及川澄人	同上		
第55回	新井絹世	完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世及川澄人	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する
フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする．

履修のポイント

欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする

オフィス・アワー

及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131）
新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、教室等

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40210001
講義名	アート・デザインIII（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

イラストレーション・絵画I、IIで習得した多様な表現と知識、技術を更に追求する。各テーマごとに独自の表現ができるように、技法にも配慮して授業を進める。それと同時に、用いられた表現が一人よがりにならないようにチェックして、第三者の評価を受けるに値する作品レベルを意識していく。そして、後期の卒業制作につながるような授業展開を行う。各自が持っている表現に対する欲求を、的確な形で表現できるようになる事を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的な理解し、実践的なイラストレーターやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目指す。その行程として、的確な技術に裏打ちされた表現方法の習得と完成度の高い作品制作をする。

到達目標

○出版・広告業界で求められるイラスト技術の習得
○平面絵画技法による立体・空間表現の習得
○版画技法で描く表現の習得
○口頭説明による明瞭なプレゼンテーション能力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現（前提講義、エスキース）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第2回	松村誠一	〃		
第3回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（前提講義、エスキース）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	松村誠一	〃		
第7回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（ＣＧによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	松村誠一	〃		
第11回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（ＣＧによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広章	〃		
第13回	松村誠	ストーリーをテーマとした		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容と

	一	平面表現		ポイント・配布資料の確認
第14回	松村誠一	〃		
第15回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（ＣＧによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃		
第17回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	松村誠一	〃		
第19回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（ＣＧによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃		
第21回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	松村誠一	〃		
第23回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（ＣＧによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	〃		
	松村	ストーリーを		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集

第25回	誠一	テーマとした平面表現		復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	松村誠一	〃		
第27回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃		
第29回	松村誠一	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	松村誠一	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換をする。（アクティブラーニング）	
第31回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	佐野広章	〃		
第33回	松村誠一	アッサンブラージュ作品制作（前提講義、エスキース）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	松村誠一	〃		
第35回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	佐野広章	〃		
	松			予習45分：次回実習内

第37回	村誠一	アッサンブラージュ作品制作		容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	松村誠一	〃		
第39回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	佐野広章	〃		
第41回	松村誠一	アッサンブラージュ作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	松村誠一	〃		
第43回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	佐野広章	〃		
第45回	松村誠一	アッサンブラージュ作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	松村誠一	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換をする。（アクティブラーニング）	
第47回	佐野広章	ＣＧとペイントの複合表現（手描きによる背景作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換をする。（アクティブラーニング）	

第49回	松村誠一	シルクスクリーン実習（前提講義、エスキース）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	松村誠一	〃		
第51回	佐野広章	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	佐野広章	〃		
第53回	松村誠一	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	松村誠一	〃		
第55回	佐野広章	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	佐野広章	〃		
第57回	松村誠一	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	松村誠一	〃		
第59回	佐野広章	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	佐野広	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する。（アクティブラーニング）	

	章			

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６0点以上
授業態度３０%、課題完成度７０%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、美術館やギャラリー、図書館で現地調査を行い、イラストレーションと絵画表現の知識を広げる。

オフィス・アワー

月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）、１号館1F:111研究室（松村）
木曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）、１号館2F:121研究室（佐野）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40210002
講義名	アート・デザインIII（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIIを受けて、更に専門的に学んでいくことを教育目標としている。短編作品の構成・画面効果等について学習しながら、またＣＧイラスト制作技術を修得しながら、オリジナル作品の制作を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・ＣＧイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下に到達目標を記す。
・基礎技法修得の確認。
・様々な描法の確認。
・ネーム作業のノウハウの修得。
・様々なＣＧイラスト技術の修得。
・オリジナルストーリー作品、オリジナルＣＧイラストのクオリティーアップ。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	テーマによる５ページマンガ／プロット またはテーマによるＣＧ		予習：90分 テーマによる５ページマンガ

	イラスト		またはテーマによるＣＧイラスト準備
第2回	テーマによる５ページマンガ／プロット またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第3回	テーマによる５ページマンガ／ネーム またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第4回	テーマによる５ページマンガ／ネーム またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第5回	テーマによる５ページマンガ／ネーム またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第6回	テーマによる５ページマンガ／ネーム またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第7回	テーマによる５ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第8回	テーマによる５ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第9回	テーマによる５ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第10回	テーマによる５ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第11回	テーマによる５ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
	テーマによる５ページマ		復習：90分 テーマ

第12回	ンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		による５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第13回	テーマによる５ページマンガ／ペン入れ・トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第14回	テーマによる５ページマンガ／ペン入れ・トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第15回	テーマによる５ページマンガ／ペン入れ・トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第16回	テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 テーマによる５ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト振り返り
第17回	オリジナル２４ページマンガ／発想・プロット またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト準備
第18回	オリジナル２４ページマンガ／発想・プロット またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第19回	オリジナル２４ページマンガ／発想・プロット またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第20回	オリジナル２４ページマンガ／発想・プロット またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第21回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第22回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧ		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによる

	イラスト		ＣＧイラスト制作
第23回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第24回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第25回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第26回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第27回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第28回	オリジナル２４ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第29回	オリジナル２４ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第30回	オリジナル２４ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第31回	オリジナル２４ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第32回	オリジナル２４ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
	オリジナル２４ページマ		予習：90分 オリジナル２４ページマン

第33回	ンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧ イラスト		ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第34回	オリジナル２４ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧ イラスト		復習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第35回	オリジナル２４ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧ イラスト		予習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第36回	オリジナル２４ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるＣＧ イラスト		復習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第37回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		予習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第38回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		復習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第39回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		予習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第40回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		復習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第41回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		予習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第42回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		復習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作
第43回	オリジナル２４ページマ ンガ／下描き またはテーマによるＣＧ イラスト		予習：90分 オリジ ナル２４ページマン ガ またはテーマによる ＣＧイラスト制作

第44回	オリジナル２４ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第45回	オリジナル２４ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第46回	オリジナル２４ページマンガ／下描き またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第47回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第48回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第49回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第50回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第51回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第52回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第53回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第54回	オリジナル２４ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるＣＧ		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによる

	イラスト		ＣＧイラスト制作
第55回	オリジナル２４ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第56回	オリジナル２４ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第57回	オリジナル２４ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第58回	オリジナル２４ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第59回	オリジナル２４ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるＣＧイラスト		予習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト制作
第60回	オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 オリジナル２４ページマンガ またはテーマによるＣＧイラスト振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 課題提出80％ 授業参加度20％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。
必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 14:50-15:00 １号館103教室（門倉） 木曜日14:50-15:00 １号館103教室（吉沢）

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R150

講義コード	40210003
講義名	アート・デザインIII（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教 員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIII(G)では、グラフィックデザインの今日における重要性にスポットを当てながら、視覚を媒体として情報を伝えるグラフィックデザインの可能性、視覚表現のコミュニケーションという視点をもとに、サインやロゴ、印刷メディア含む映像メディアなどの幅広いスタンスでの理解を深めるとともに、時代が必要とするグラフィックデザインの領域、特に広告メディアにとっての大きな要素であるコンセプトの発想や各構成要素の表現などについても幅広く学んでいく。
マーケティング戦略的スタンス～広告表現コンセプト～キャッチフレーズ・ビジュアルなど表現アイデアの幅広い視点からの発想法を身につけ、制作の為の一連のプロセスを理解し、自分のものとして実践できること、またグラフィックデザイン業界に向けてのスキルと理解をより深めることで、デザインの現場がより現実的な視野となり、グラフィックデザイン業界に進む学生にとって、その自信と力を育成する。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
◆業界グラフィックデザインの現場で難易度が高く、かつ大切な要素を授業テーマとした。理解することで現場での大きな自信に繋げる。
◆DTPソフトの操作テクニックを更に習得していくことで、グラフィックデザインの表現領域を広め、スキルを深める。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Branding Design[1] Branding Design新課題について概要説明 各自テーマ（モチーフとなる企業や店舗）の決定→シンボルマーク・ロゴタイプのデザインを考える→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ。Basic Designの基本要素へ		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し。
第2回	〃		
第3回	Branding Design[2] Branding Designの基本レクチャー シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ→Basic Design基本要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	〃		
第5回	Branding Design[3] ベーシックデザイン（シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマーク）の制作 オリジナル及びフォントからのアレンジ等数点起こす→担当講師への確認→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークの決定		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	〃		
第7回	Branding Design[4] ブランドマークの決定→コーポレートカラーの設定（DICCOLOR＋CMYK+RGB）→ベーシックデザインの完成→アプリケーションの制作へ Mock Upの使い方等の指導		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	〃		
			予習45分：

第9回	Branding Design[5] アプリケーションの制作内容は必要と思われるものを自由にチョイス ※なお、アプリケーションの一つとして、営業案内用A4両面三つ折りパンフレット（巻き三つ折り）を制作します。		レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第10回	〃		
第11回	Branding Design[6] アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第12回	〃		
第13回	Branding Design[7] アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第14回	〃		
第15回	Branding Design[8] アプリケーションの制作		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第16回	〃		
第17回	Branding Design[9] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作 アプリケーションとしてプレゼンボードに加える。三つ折りパンフレット台紙制作		予 習45分：レク チャー内容の予習復 習45分：レク チャー内容の復習
第18回	〃		
			予

第19回	Branding Design[10] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内 用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	〃		
第21回	Branding Design[11] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内 用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	〃		
第23回	Branding Design[12] アプリケーションの制作・仕上げ		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	〃		
第25回	Branding Design[13] アプリケーションの制作・仕上げ→A2版変形サイズへのレイアウトデザイン（プレゼンボードの作成）		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	〃		
第27回	Branding Design[14] 作品提出（プリント+作品データ)・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題 新聞広告デザインについての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備復習45分：講評内容について検証
第28回	〃	”	

第29回	新聞広告デザイン[1] ●新聞広告レクチャー新聞全10段・清涼飲料カラー広告デザインの概要説明 発想～サムネイル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	〃		
第31回	新聞広告デザイン[2] 発想～サムネイル制作（担当講師に確認後）～カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う 各構成要素の制作（ビジュアルの制作及びコピーライティング）		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	〃		
第33回	新聞広告デザイン[3] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第34回	〃		
第35回	新聞広告デザイン[4] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	〃		
第37回	新聞広告デザイン[5] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第38回	〃		
第39回	新聞広告デザイン[6] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	〃		
第41回	新聞広告デザイン[7] 全体レイアウト・仕上げ・プリント		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第42回	〃		
第43回	新聞広告デザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ)）・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題 ブックデザインについての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第44回	〃	”	
第45回	Book Design[1] ●新課題 エディトリアルデザイン（ブックデザイン）についての概要説明 各自自由に本のテーマを決める。サイズの見本となる本を用意する。発想～サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素についてアイデアを考える		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回	〃		
第47回	Book Design[2] サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素についてアイデアを考える		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内

			容の復習
第48回	〃		
第49回	Book Design[3] 制作の継続 展開台紙（折りトンボ等）制作オペレーション・レクチャー→カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第50回	〃		
第51回	Book Design[4] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	〃		
第53回	Book Design[5] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	〃		
第55回	Book Design[6] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	〃		
第57回	Book Design[7] 制作の継続・レイアウト仕上げ、及びカバー+帯をプリントしたものを実際に本に巻く。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レク

			チャー内容の復習
第58回	〃		
第59回	Book Design[8] 作品提出（プリント+作品データ)・プレゼンテーション・講評・学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	〃	”	

教科書

使用しない

参考書

使用しない
必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

実際のデザイン制作現場での応用的扱い方の習得も含めて授業を展開。幅広い視点での発想法や発想したデザインを、自在に制作できるよう指導していきます。その為にも、デザイン、DTP関連の資料にも積極的に目を通し、作品制作の方法論と実戦感覚を養う努力をすること。
デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常から積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練をしていきましょう。また、積極的にポートフォリオ（作品集）の制作を進め、早い時期から担当講師に相談し、助言を受けながらクオリティの高いポートフォリオ完成させましょう。ポートフォリオはデザイン業界では就活には欠かせない条件です。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：
小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号間2F124研究室
三関：木曜日 14:50～15:00 場所：1号館3F104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40210004
講義名	アート・デザインIII（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIIIでは、ワンピースの制作、デジタルテキスタイルによる制作、織技法によるアイテム制作によりアート・デザインI、IIで習得した基礎技術および繊維素材や染織加工について、さらに知識を深める。一枚の布がもつ可能性や体と布との関係性をさらに追及し、ファッションとしての表現やファッションに関する現場でのトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※原則は、月曜→寺村 木曜→石井で行いますが内容に応じて変更する場合もあります
本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生がアート・デザインI、IIをふまえ、被服や繊維加工、染織の技法を応用した表現ができるようになる。
また、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法をわかりやすく明確に第三者に伝えることができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャについて		予習：４５分 身近なテクスチャーについてリサーチしておく 復習：４５分作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第2回	寺村サチコ	同上		上記参照
第3回	石井智子	ワンピースのデザイン		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第4回	石井智子	同上		上記参照
第5回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（染織技法のレクチャー）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	ワンピース4分の一作図		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（デザイン）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第10回	寺村サチコ	同上		上記参照
第11回	石井智子	ワンピース実物作図		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（デザイン）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	ワンピースの制作 （仮縫い）		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（布の制作）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	ワンピースの制作 （試着 補正）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（布の制作）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井	ワンピースの制作		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進

	智子	（裁断 芯貼り）		行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（布の制作）		予習：４５分 織技法についてのリサーチ 復習：４５分作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第26回		同上		上記参照
第27回	石井智子	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（縫製、仕上げ）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャと染織技法を用いたファッションアイテムの制作（仕上げ、講評会）	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：４５分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：４５分 講評会で気づいたことのフィードバック
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作を

	子			すすめる
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによるウエア制作（デザイン）		予習：４５分 文様についてのリサーチ 復習：４５分作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによるウエア制作（デザイン）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによるウエア制作（デザイン）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
第47回	石井	ワンピースの制作		予習：４５分 制作をすすめる

	智子	（本縫い）		復習：４５分 制作をすすめる
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによるウエア制作（裁断、縫製）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
第51回	石井智子	ワンピースの制作 （本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 （縫製）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	ワンピースの制作 （仕上げ）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによるウエア制作（仕上げ、講評会）	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：４５分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：４５分 講評会で気づいたことのフィードバック
第58回	寺村サチ	同上		上記参照

	コ			
第59回	石井智子	ワンピース制作 仕上げ		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第60回	石井智子	同上		上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション体系 服飾造形講座①～⑥
服地の基本がわかるテキスタイル事典

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／実技課題（取り組みの内容５０％、完成度３０％）・提出期限２０％
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内での各作業に関して個別にフィードバック 講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する

履修のポイント

実技ですので,特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）
石井：木 9：20-12：30（105教室）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40210005
講義名	アート・デザインIII（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川，新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事．教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から，基礎となることを伝達する授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの業務では，施主や社会の要求に対して，産業の分野をクロスオーバーして「魅力的な環境」を提案することが求められる．「空間」は通常，建築やグラフィック，その他さまざまなデザイン分野が関連し合って成り立っており，空間をデザインする場合は他分野に関わる知識やそれらの監理能力なども要求される．
本講座では，アート・デザインIとIIおよびその他の授業で学んだ知識や技術をベースに，空間デザインの実践的な応用力を養う．デザインの対象は，公と私および商業的要素が混在する空間とし，学生各々が教員と協議のうえ，取り組む題材を設定する．題材に対する与件は教員が想定するが，学生は調査で発見したテーマや相応しいイメージを具現化して空間をデザインする．また，その空間を対象に建築や施工，監理についても知る．成果物は，空間と主要アイテムのデザインをまとめ，プレゼンテーションボードを制作する．尚，対象とする施設の都合を考慮し，日程は協議しなければならないが，施設の現地調査（見学）とプレゼンテーション，外部講師を招いた特別授業をおこなう場合がある．
本講座は，与件を整理する力，調査を通じでキーワードを抽出する力，空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力を習得し，インテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることが，当該講座の目標となる．本講座は商業施設士補資格の指定教科である．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために，環境や生活空間を考慮した与件の整理と，環境や生活空間の調査を通じたデザインのためのキーワードの抽出に取り組む．また，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように，本講座ではインテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることを目指す．

到達目標

1. 与件を整理し順序付けできる力の習得
2. 調査を通じでキーワードを抽出する力の習得
3. 空間とそれに関わるアイテムを企画・デザインする力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	及川澄人	商業施設の機能とデザインについて	＜アクティブラーニング＞ 商業施設の考え方について意見交換をおこなう	予習：20分 商業施設の事例研究をする 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	及川澄人	机上調査		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第3回	新井絹世	現地調査（予定）		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	デザイニング・イメージの醸成		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	同上		
第7回	新井絹世	デザイニング・空間計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹	同上		

	世			
第9回	及川澄人	デザイニング・空間計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄人	同上		
第11回	新井絹世	図面制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	図面制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	及川澄人	同上		
第15回	新井絹世	図面制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄	図面制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	人			制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上		
第19回	新井絹世	図面制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川澄人	インテリアコーディネート		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	インテリアコーディネート		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄	同上		

	人			
第27回	新井絹世	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	新井絹世	同上		
第33回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	世			制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	新井絹世	同上		
第37回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	同上		
第39回	新井絹世	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
第43回	新井絹世	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹	同上		

	世			
第45回	及川澄人	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上		
第51回	新井絹世	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上		
第53回	及川澄	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	人			制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	及川澄人	同上		
第55回	新井絹世	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世及川澄人	講評会，現地にて（予定）	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評．教員と学生同士が意見交換する．	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 作品評価100% 定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする，講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする.
履修のポイント
欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする.
オフィス・アワー
及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131） 新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、教室等
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R150

講義コード	40220001
講義名	スペースデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の社会でﾞのﾃﾞｻﾞｲﾝ活動と大学でﾞの研究教育活動を背景とした授業.共感性をもったﾃﾞｻﾞｲﾝ,表現力を養う授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

生活の場には,毎日の寝食や仕事がﾞおこなわれる日常的な空間と、まつりやセレモニーなとﾞがﾞ
生みだﾞす非日常的な空間がﾞ存在する.まつりなﾄﾞの非日常空間は,地域や風土に根ざﾞした独特の
「しつらえ」によって場がﾞつくられ,その意味や人々の感情なﾄﾞを共有させる装置となっている
場合がﾞ多い.舞台芸術でﾞは,物語のテーマや登場人物の心の動きなﾄﾞがﾞ,演技,造形,照明や音
響なﾄﾞによって空間表現され,観客に共感させている.また,見本市なﾄﾞにおける企業ﾌﾞｰｽでﾞ
は,企業の姿勢や製品のイメージﾞなﾄﾞがﾞ舞台芸術のこﾞとく空間表現され,介在する人々に対して
その理念や感覚、情報の共有を求める.
本講座でﾞは,空間をひとつの表現媒体(メﾃﾞｨｱ)として捉え,特定の題材について,第三者
とイメージﾞを共有するためのスﾍﾟｰステﾞｻﾞｲﾝをおこない,五感を通しﾞた「共感性」の創出につ
いて探求し,制作をおこなう.制作はスケールモデﾞルでﾞのシミュレートまでﾞを計画しており,施
工や監理の基礎的なことにも触れる.
本講座は,人間の五感を考慮して共感性をもった表現がﾞでﾞきる能力を習得し,抽象的な題材や
理念なﾄﾞを解釈して造形テーマに置換でﾞきること,およびﾞテーマにもとづﾞいた造形表現がﾞでﾞきる
ようになることを,目標としている.
本講座は,遠隔授業となる場合がﾞある.商業施設士補資格の指定教科となっている.

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座でﾞは,アート・デﾞｻﾞｲﾝ学科のﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ;「環境」や「コミュニケーショ
ン」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解,対象の理解のために,人間の五感について探り共感性を創出することに取り組む.また,ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ;表現するため

の
知識や技能,およびﾞ選択した専門分野の知識や技能を修得のために,本講座でﾞは,共感性を創出する能力,抽象的な題材や理念などﾞを解釈して造形テーマに置換でﾞきる力の習得を目指す.およ
びﾞ,ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ;実践的なﾃﾞｻﾞｲﾅｰやｱｰﾃｨｽﾄとして活躍でﾞきるように,本講座
でﾞは,テーマにもとづﾞいた造形表現がﾞでﾞきるようになることを目指す.

到達目標

本講座の到達目標は、
1.人間の五感について探り共感性を創出でﾞきる力の習得
2.抽象的な題材や理念などﾞを解釈して造形テーマに置換でﾞきる力の習得
3.テーマにもとづﾞいた造形表現がﾞでﾞきる力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	及川澄人	日常空間と非日常空間について	<アクティブﾞラーニングﾞ> 非日常生活の空間 ﾃﾞｻﾞｲﾝをテーマに意見交換する	予習:20分 エンタテーメントの事例研究を する 復習:25分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第2回	及川澄人	題材の読み取りと表現の手法 演出空間の計画(イメージﾞの醸成)、エスキス		予習:20分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:25分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第3回	及川澄人	空間の二次元化(空間のイメージﾞ)		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第4回	及川澄人	同上		
第5回	及川澄人	エスキス	<アクティブﾞラーニングﾞ> 教員と学生同士がﾞ意見交換する	予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第6回	及川澄人	同上	<アクティブﾞラーニングﾞ> 教員と学生同士がﾞ意見交換する	
第7回	及川澄人	制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)

第8回	及川澄人	同上		
第9回	及川澄人	制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第10回	及川澄人	講評会	<アクティﾌﾞ ラーニングﾞ > 学生各々がﾞ ﾌﾟ レゼﾞ ンテーションし,教員の講評と学生 同士がﾞ 意見交換する	
第11回	及川澄人	非日常空間の計画(題材設定とイメージﾞ の構築)		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第12回	及川澄人	テーマ設定 役割分担(造形、照明映像、その他)		
第13回	及川澄人	非日常空間の ﾃﾞ ｻﾞ イン エスキス	<アクティﾌﾞ ラーニングﾞ > 教員と学生同士がﾞ 意見交換する	予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第14回	及川澄人	同上	<アクティﾌﾞ ラーニングﾞ > 教員と学生同士がﾞ 意見交換する	
第15回	及川澄人	非日常空間の ﾃﾞ ｻﾞ イン イメージﾞ 図の作成		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第16回	及川澄人	同上		
第17回	及川澄人	非日常空間の制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
	及川			

第18回	澄人	同上		
第19回	及川澄人	非日常空間の制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第20回	及川澄人	同上		
第21回	及川澄人	非日常空間の制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第22回	及川澄人	同上		
第23回	及川澄人	非日常空間の制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第24回	及川澄人	同上		
第25回	及川澄人	非日常空間の制作		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第26回	及川澄人	同上		
第27回	及川澄人	非日常空間の制作 セッティングﾞ 、解体	<アクティブﾞ ラーニングﾞ > 教員と学生同士かﾞ 意見交換する	予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第28回	及川澄人	講評会	<アクティブﾞ ラーニングﾞ > 学生各々かﾞ ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝし,教員の講評と学生	

			同士ｶﾞ意見交換する	
第29回	及川澄人	制作ノート、報告書のまとめ、総括		予習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む) 復習:45分 制作をすすめる(制作はコンﾍﾟ 等も含む)
第30回	及川澄人	同上		

教科書
使用しない
参考書
「スﾍﾟｰｽﾃﾞｻﾞｲﾝ論 小石新八監修」「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲﾃﾞｻﾞｲﾝ 魚成祥一郎監修」
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 作品評価100% 定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
課題ｺﾞとに授業内でﾞ講評会を開催し,学生全員がﾞﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝする.講評会をおこなわない場合は授業内でﾞ学生ｺﾞとにﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする.
履修のポイント
欠席しないこと.やむを得ずﾞ欠席する場合は次の授業までﾞにその日の作業を進めておくこと.
オフィス・アワー
月曜日,16:30-18:10,及川研究室(1号館131)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C259

講義コード	40230001
講義名	プロダクトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材の商品開発や内装設計業務の経験に基づき、プロダクトデザインの担うべき社会的役割の解説、「ものづくり」のプロセス解説と制作指導を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

課題作品の制作演習を通じて、デザインワークにおける情報収集や活用、コンセプトに基づく造形、素材の特性や加工についての理解を深め、ものづくりの基礎的な「知識」や「技能」を学びます。
デザインするという行為は、ある目的を果たすために生産（プロダクト）される目に見える具体的な「もの」、あるいは目には見えない仕組みや意識や思考などの「こと」の形成に対して向けられる活動であるということを理解すること。

卒業認定・学位授与の方針との関連

演習課題を通して、プロダクトデザインの担うべき社会的役割を理解すること。
社会における生活環境の改善と、生活文化の発展に貢献するための、目的に応じた多様な分析の手法や着眼点、造形へのアプローチのプロセス、素材の知識や加工の技術を修得すること。

到達目標

「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」におけるプロダクトデザインの意義を多面的に理解して「ものづくり」に取り組むことができること。
対象に向かい合い、社会の要望や課題の解決に向けて「もの」や「こと」を形成していくための基礎的な造形、素材、加工に関する「知識」や「技能」を修得することを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	峰			予習としてシラバス確認と通

第1回	岸康之	「ものづくりとプロダクトデザイン」		読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第2回	峰岸康之	「紙を用いた造形演習」	基礎的な造形演習と、着想構成のためのプラクティスを行う。	同上
第3回	峰岸康之	課題１；－① 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 構想		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第4回	峰岸康之	「素材の特性と加工 １ 」 木質系のインテリア素材と加工技術についての理解を深める。		同上
第5回	峰岸康之	課題１；－② 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 制作		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第6回	峰岸康之	「ものづくりと人間工学／つかい易い形」 人体寸法と使い易さに配慮したものづくりについて理解を深める。	自身の身体を計測することにより、人体寸法への理解を深める。	同上
第7回	峰岸康之	課題１；－③ 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 制作		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第8回	峰岸康之	「つくるプロセスと品質管理」 ものづくりのプロセスと品質管理について理解する。	提出作品の着想、計画、作成において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	同上
				予習とし

第9回	峰岸康之	課題２；ー① 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 調査		て シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第10回	峰岸康之	「デザイン・レビュー １」 情報の調査収集、デザインリサーチの実践	自身の課題選定のために、多様な情報源に対して、調査活動を行う。	同上
第11回	峰岸康之	課題２；ー② 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 分析		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第12回	峰岸康之	「デザイン・レビュー ２」 情報の分類と分析 イメージスタイル セグメンテーション ライフステージ セグメンテーション グレードイメージ セグメンテーション		同上
第13回	峰岸康之	課題２；ー③ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 構想・企画・設計	調査事項から多様な着眼点を見出すためのブレーンストーミングを行う。	予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第14回	峰岸康之	「デザイン・レビュー ２」 ターゲット、コンセプトを絞り込みコンセプトを設定する。		同上
第15回	峰岸康之	課題２；ー④ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 構想・企画・設計		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分

第16回	峰岸康之	「素材の特性と加工 2 」 金属系、樹脂系のインテリア素材と加工技術		同上
第17回	峰岸康之	課題２；－⑤ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第18回	峰岸康之	「光と色彩・空間照明の計画 1 」 光と色彩、照明手法の基礎		同上
第19回	峰岸康之	課題２；－⑥ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第20回	峰岸康之	「光と色彩・空間照明の計画 2 」 光の空間演出、建築化照明		同上
第21回	峰岸康之	課題２；－⑦ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作	提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第22回	峰岸康之	「空間をデザインする 1 」 住環境空間の設備、内装、造作家具計画		同上
第23回	峰岸康之	課題２；－⑧ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作	提出作品の出来栄え、講評に基づく反省をレポート形式にまとめる。	予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研

				究45分
第24回	峰岸康之	「空間をデザインする 2 」 商環境施設空間の設備、内装、造作家具計画 展示計画と什器デザイン		同上
第25回	峰岸康之	課題３；－① 『材質感の探求による空間選出造形』		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第26回	峰岸康之	「多様化社会と人間／ユニバーサルデザイン」		同上
第27回	峰岸康之	課題３；－② 『材質感の探求による空間選出造形』	選定素材に対して多様な着眼点を見出すためのブレーンストーミングを行う。	予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第28回	峰岸康之	「問題解決のデザイン／環境共生のデザイン」		同上
第29回	峰岸康之	課題３；－③ 『材質感の探求による空間選出造形』	提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として 配布資料確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第30回	峰岸康之	講評／まとめ 「『もの』や『こと』のあるべき姿を考える」	提出作品の出来栄え、講評に基づく反省をレポート形式にまとめる。	同上

教科書

独自の資料を作成配布し、参考文献、情報等は随時紹介していきます。

参考書

インテリアの計画と設計 第二版 ： 小原二郎・加藤力・安藤正雄 編 （彰国社刊）
デザインの輪郭 ： 深澤直人 （ＴＯＴＯ出版）

成績評価の方法・基準
課題作品の提出／課題１（３５%）、課題２（４５%）課題３（２０%）より評価、 単位認定 ６０点以上 とします。
課題等に対する フィードバックの方法
提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や造形に対する取り組みを、作品制作とプレゼンテーションという形で研鑽していきます。 課題の着眼において手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、素材の選定や造形への展開方法など、制作の過程で示唆していきます。又、関連する知識や技術についての情報提示により専門的な理解を深め、研究や制作への、造形的な課題解決力を修得向上できるようフィードバックを行っていきます。
履修のポイント
作品の構想や制作を通して、身の周りの生活環境に問題意識を持ち自らの興味・関心を広げ、積極的に関連事項を調べ、探求していきましょう。 生活空間における造形による解決策や改善提案を探ることを心がけ、社会に貢献できるデザインの思考とプロセスを修得していきましょう。
オフィス・アワー
非常勤） 後期 ： 水曜日 デザイン棟１号館 １３１ 及川研究室 ＊個別に質問や相談事項がある場合は、授業前又は後に申し出てください。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C235

講義コード	40240001
講義名	ビジュアルデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザイン、パッケージデザインの実務経験をもとに実技指導を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの専門知識と実践技術を学び、発想→サムネイル→カンプ制作→プレゼンテーション→入稿までの過程と技術を身につける。イラストレーション、絵画、マンガ、コミックイラストなどの実践で学んだ、個性的な発想力・構成力をグラフィックデザインの分野に応用し、ビジネスベースを基軸とした新しいビジュアル表現に挑戦する。また、制作者である個人をアピールする為に必要な販促ツールの作成技術も習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、ターゲット層の研究・リサーチを行い、グラフィックデザインにおけるビジュアルの有効な役割を学び、戦略に合わせたデザインを実践する。

到達目標

○グラフィックデザインの役割と発想・制作プロセスを理解する
○写真の画像加工を主とした、グラフィックデザインにおけるビジュアルの役割を理解する
○戦略に合わせたデザインワークの見識を深める
○Mac・DTPの操作技術を習得し、具体的な表現と応用力を身につける

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐野広章	授業概要説明 ●課題１《グリーティングカード》 サムネイル作成		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイン

				ト・配布資料の確認
第2回	佐野広章	〃		
第3回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	佐野広章	仕上げ、完成		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第6回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第7回	佐野広章	●課題２《パッケージデザイン》 CDジャケット、ゲームパッケージ、食品パッケージから一つを選択しデザインする。 情報収集、サムネイル作成		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	佐野広章	〃		
第11回	佐野	制作作業、ロゴデザイン		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習

	広章			内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広章	〃		
第13回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	佐野広章	〃		
第15回	佐野広章	仕上げ、完成		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第16回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第17回	佐野広章	●課題３《アーティストブック》 各自が作成したイラストや絵画を再構成し、本の形状にまとめた芸術作品をデザインの手法で作成する。 サムネイル作成、８ページの構成		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	佐野広章	〃		
第19回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃		
	佐			予習45分：次回実習内容に関連

第21回	野広章	制作作業		する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	佐野広章	〃		
第23回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	〃		
第25回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	佐野広章	〃		
第27回	佐野広章	印刷用紙の選定・印刷・製本		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃		
第29回	佐野広章	仕上げ、完成		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第30回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、社会におけるデザインの役割を理解し実践例を情報収集する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35〜13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C371

講義コード	40250001
講義名	ＷＥＢデザインI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、HTMLやCSSの基礎知識についての講義を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

WEBサイトの作成の作成知識の基礎であるHTML5のマークアップ及び、CSSによるレイアウト指定を学び、Web標準に対応したスキルを基礎から学習する。その過程においてWEB制作に用いるアプリケーションの使用方法を実際に用いながら身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

1）WEBページのソースコードの正しい書き方を身につける。
2）レイアウト後世の主たるCSSによるレイアウトの正しい記述方法を習得する。
3）アクセシビリティやユーザビリティを配慮した質の高いWEBページ作成能力を習得する。
4）「Webクリエイター能力検定試験 スタンダード」資格取得程度の能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	ブラウザ、ドメイン、コーディング、画像など、Web制作の基本項目の解説。	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第2回	柏木優希	ブラウザの開発者ツールの使い方。テキストエディタの使い方学習。	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木優希	Webサイトの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第4回	柏木優希	Webサイトの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。

第5回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	柏木優希	HTMLの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第16回	柏木優希	CSSの基本	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第17回	柏木優希	フルスクリーンWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第18回	柏木優希	フルスクリーンWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第19回	柏木優希	フルスクリーンWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第20回	柏木優希	フルスクリーンWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第21回	柏木優希	2カラムWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第22回	柏木優希	2カラムWebサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第23回	柏木優希	タイル型Webサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第24回	柏木優希	タイル型Webサイトの制作	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第25回	柏木優希	外部メディアの活用	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第26回	柏木優希	HTML/CSSの基礎知識・補填（Webクリエイター能力検定試験対策）	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第27回	柏木優希	Webクリエイター能力検定試験サンプル問題	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第28回	柏木優希	Webクリエイター能力検定試験サンプル問題 解説	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第29回	柏木	HTML/CSSの基礎知識・補填（Webクリエイ	復習45分：配布資料、学習範

	優希	ター能力検定試験対策）	囲の教科書を読み直す。
第30回	柏木 優希	HTML/CSSの基礎知識・補填（Webクリエイター能力検定試験対策）	復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。

教科書

「１冊ですべて身に付くHTML＆CSSとWebデザイン入門講座」SBクリエイティブ株式会社

参考書

「Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 スタンダード 公式テキスト」FOM出版
「Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応版 スタンダード 問題集」株式会社サーティファイ

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。

課題等に対する
フィードバックの方法

教科書をもとに授業内で学んだことの復習や、次回授業へ向けての予習を行うこと。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C256

講義コード	40260001
講義名	ＷＥＢデザインII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、WEBサイトを作成するに当たっての様々な技能を、実践を交えながら講義する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

近年のWebサイト利用者の割合はスマートフォンユーザーがPCユーザーを凌駕してきている。
そのような状況で企業のWebサイトも今やスマートフォンサイトは必須となってきている。
後期授業では、前期に学習した基礎を元に、より実践的にスマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンシブサイト構築のテクニックと知識を取得する。またJavaScript を使用した動的コンテンツの基礎知識を学び、現場での即戦力となれるような技術力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる応用知識・応用技術修得を目指すものとする。

到達目標

1、スマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンシブサイト作成が出来るようになる。
2、インタラクティブな機能を備えたJavaScript を駆使した見栄えのするWebサイト作成が出来るようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	Webサイトの基本・復習 第一授業課題について解説		復習45分：配布資料を読み直す。
第2回	柏木優	ワイヤーフレームについて		”

	希			
第3回	柏木優希	デザインカンプについて		復習45分：配布資料を読み直す。
第4回	柏木優希	”		”
第5回	柏木優希	アニメーション（ホバーアクション）について		復習45分：配布資料を読み直す。
第6回	柏木優希	”		”
第7回	柏木優希	第一授業課題制作		復習45分：配布資料を読み直す。
第8回	柏木優希	”		”
第9回	柏木優希	第一授業課題制作		復習45分：配布資料を読み直す。
第10回	柏木優希	”		”
第11回	柏木優希	授業課題プレゼン		復習45分：配布資料を読み直す。
第12回	柏木優希	”		”
第13回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料を読み直す。
第14回	柏木優希	”		”
第15回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料を読み直す。

第16回	柏木優希	”	完成したデザイン案を元にプレゼンテーション(アクティブラーニング)を行う。	”
第17回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料を読み直す。
第18回	柏木優希	”		”
第19回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料を読み直す。
第20回	柏木優希	”		”
第21回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料を読み直す。
第22回	柏木優希	”		”
第23回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第24回	柏木優希	”		”
第25回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。
第26回	柏木優希	”		”
第27回	柏木優希	今までの授業で取得した全ての内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。
第28回	柏木優希	”		”
	柏	今までの授業で取得した全て		

第29回	木優希	の内容を元に卒業制作展用にWebサイトのデザインを行う。		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。
第30回	柏木優希	”	”	”

教科書
使用しない
参考書
「１冊ですべて身に付くHTML＆CSSとWebデザイン入門講座」SBクリエイティブ株式会社 「ほんの一手間で劇的に変わるHTML＆CSSとWebデザイン実践講座」SBクリエイティブ株式会社
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題 80%、授業への参加度 20%を総合して評価。
課題等に対する フィードバックの方法
作品作成に必要な素材集め、資料集めなどを事前に済ませておくこと。 また、授業内にて資料集めの進行具合の確認を行い、作成進行方針を協議することもある。
履修のポイント
講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。 授業態度及び、作品の完成度を重視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C372

講義コード	40270001
講義名	イラストレーション技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザイン、パッケージデザインの制作実績をもとに広告業界で求められるイラストレーションの実技指導を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

あらゆる日常生活の中にイラストレーションは多々存在し、役割に応じた効果を上げている。その中でも、広告分野で使用されるイラストレーションは、情報を消費者へ伝える目的に留まらず、感情へ訴える情緒を魅力としたブランド価値の向上が求められている。この授業では、広告分野で求められる様々なイラストレーション技法の中から、手描きアクリル絵具による表現、転写による素材を活かした表現を中心として学び、基礎力の幅を広げると共に独自の表現を試みる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、広告業界で求められるイラストレーションを描き、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を身につける。

到達目標

◯ アクリル絵具によるマチエール技法
◯ 転写技法による素材を活かした商品への展開
◯ 「カッコいい、可愛い、オシャレ」をイラストレーションによるデザインで具現化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業概要説明 ●課題１《食品パッケージデザインのイラスト制作》 水彩絵具を用いた技法研究		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	アイデアスケッチ		
			予習45分：次回実習

第3回	制作		内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	制作		
第5回	制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	制作		
第7回	制作		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第8回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第9回	●課題２《箔押しグリーティングカード制作》 アイデアスケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	原画作成		
第11回	原画作成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	原画作成		
第13回	スキャン、印刷、箔押し加工		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第15回	●課題３《マグカップ制作》 アイデアスケッチ		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第16回	原画作成		
第17回	原画作成		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容

			とポイント・配布資料の確認
第18回	原画作成		
第19回	スキャン、印刷		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第21回	●課題４《オリジナル作品制作》 広告に使用する事を目的としたイラストレーションを作成 これまでに学んだ技法を使用しオリジナル作品を作成する アイデアスケッチ		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第22回	アイデアスケッチ		
第23回	制作		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	制作		
第25回	制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	制作		
第27回	制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	制作		
第29回	制作		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第30回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、コンビニエンスストアやショッピングモールなど、身近な施設にある商品をデザイナー目線で観察し、感覚に訴えるデザインを情報収集する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35〜13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C232

講義コード	40280001
講義名	絵本制作
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	絵本挿絵などの経験を活かし、絵本における絵と言葉の関係性、制作手順や製本技術などを解説します。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大竹 紀美代	指定なし

授業の概要と教育目標

絵本の表現は多岐に渡ります。古今東西様々な絵本を紹介し、イラストレーション、ストーリー、デザイン、製本について広く学びながら、課題のテーマに基づいて一冊の絵本を製作します。主に画用紙を使用し、紙を切り貼りしたり構成したりと、パソコンや筆で絵を描くだけではない、もの作りの基本である「手作業」を通して表現方法を学びます。まず作品のラフ（ダミー）を製作し、本制作に入ります。最後は仕上がった作品をプレゼンテーションし、中間発表と同じく意見交換・講評を行います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業では手作業を通して絵本への理解を深めるだけでなく、発言する場も大切にします。
中間発表、最終の講評会では、自分の考えや作品内容を発表し、参加者は発表者との積極的な意見交換を行います。
アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、第三者とイメージを共有するための知識や技能を獲得し、また、他者の作品へ意見をすることで、見る目を養い、もの作りについての考察を深めることを目指します。

到達目標

一人で一冊の絵本を製作するには、多くの知識と工程が必要です。それらを学び実践することで、絵本だけでなく様々な作品作りへも活かせる考え方を身につけることができます。また、クリエイティブを通してコミニュケーション能力を高めることができます。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 古今東西の様々な絵本の紹介	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録し、翌週からの制作に役立てる	予習45分：最低10冊以上の絵本を読んでおくこと。
第2回	オリエンテーション ①「絵本」についての講義 ②課題説明 ③	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録し、翌週からの制作に役立てる	復習45分：講義内容について振り返る

	アンケート記入提出		
第3回	アイディア出し	アイデアチェックを受ける	予習45分：作品のアイデアを練る
第4回	アイディア出し・ラフ製作①	アイデアチェックを受ける/コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第5回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	予習45分：ラフ仕上げ
第6回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	予習45分：ラフ仕上げ
第7回	ラフチェック	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ	復習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第8回	ラフチェック	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ	復習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第9回	ラフ仕上げ・本制作	全員ラフを仕上げる ラフが完成していれば本制作へ	復習45分：本制作の準備
第10回	ラフ仕上げ・本制作	全員ラフを仕上げる ラフが完成していれば本制作へ	復習45分：本制作の準備
第11回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第12回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第13回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第14回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第15回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第16回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第17回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第18回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第19回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第20回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第21回	製本	本文（中身）の製本	予習45分：製本についてのプリントを見直す
第22回	製本	本文（中身）の製本	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する

第23回	製本	表紙と本文をつける	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第24回	製本	製本した作品に重石をしてプレスする。	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第25回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第26回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第27回	プレゼンテーション・講評	［アクティブラーニング］プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第28回	プレゼンテーション・講評	［アクティブラーニング］プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第29回	プレゼンテーション・講評	［アクティブラーニング］プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第30回	プレゼンテーション・講評	［アクティブラーニング］プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る

教科書

なし。制作に必要なプリント配布。

参考書

適宜紹介。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
授業への取り組み 20点 20%／中間講評・プレゼンテーション 30点 30%／提出作品 50点 50%
意見交換での発言を元に総合的に評価。授業最終日に提出された作品で評価を行う。後日提出は評価しません。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する
フィードバックの方法

個別対応や講評会での意見・感想をフィードバックとして各自授業内容の理解に役立てます。

履修のポイント

作業量の多い課題ですので、余裕を持って進めることが重要。取り組んだ時間と作業量が完成度に表れます。自分の手で一冊の絵本ができた時の感動を楽しみに頑張りましょう。

オフィス・アワー

火曜日 14:50-15:00 1号館103教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C251

講義コード	40290001
講義名	写真表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解する。基本的なカメラ操作やライティング、配置バランス等の知識や技術を学習する。写真という媒体への興味や関心を高め、表現の幅を広げることを教育目標とする。各自テーマを決めて積極的に作品制作に向き合い、最終授業にて講評会を行う。授業では写真作家やフォトコンテストの紹介等も行う。調整が可能な場合は、写真に携わるアーティストやフォトグラファーのレクチャー、学外での撮影会も組み込む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
※天候によりシラバスの内容が前後する可能性あり

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、写真撮影の基礎知識を作品制作に役立てると共に、ひらめきや即興性を養い、表現の幅を広げる。また、卒業制作やポートフォリオ制作に、学習した写真撮影の技術を効果的に役立てることを目指す。

到達目標

学生は、デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解し、撮りたいイメージを作るにはどうしたら良いのかを、自主的に考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。	質疑応答 グループワーク	予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリ

	子			サーチする
第2回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。	質疑応答 グループワーク	復習：45分 レクチャー内容の復習
第3回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。	質疑応答 グループワーク	予習：45分 レクチャー内容の予習
第4回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。	質疑応答 グループワーク	復習：45分 レクチャー内容の復習
第5回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第6回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第7回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第8回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第9回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第10回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第11回	大日向基子	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
	大日	ライトやレフ板を使用したライティン		復習：45分

第12回	向基子	グ効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		レクチャー内容の復習
第13回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第14回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第15回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第16回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第17回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	予習：45分 レクチャー内容の予習
第18回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	復習：45分 レクチャー内容の復習
第19回	大日向基子	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第20回	大日向基子	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第21回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第22回	大日向基	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表		復習：45分 レクチャー内容の復習

	子	現を模索する。		
第23回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第24回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第25回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー内容の予習
第26回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー内容の復習
第27回	大日向基子	自由制作 プレゼンテーション準備		予習：45分 レクチャー内容の予習
第28回	大日向基子	自由制作 プレゼンテーション準備		復習：45分 レクチャー内容の復習
第29回	大日向基子	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習：45分 レクチャー内容の予習
第30回	大日向基子	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習：45分 レクチャー内容の復習

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

現代写真論（シャーロット・コットン著）、写真のキーワード（ジル・モラ著）、深読み！日本写真の超名作100（飯沢耕太郎著）、世界写真史（美術出版社）、日本芸術写真史（西村智弘）、明るい部屋（ロラン・バルト著）、デジタル撮影の適正露出と色彩調整（谷口泉著）、未来ちゃん（川島小鳥）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 自由制作70％ 授業への参加度30％
課題等に対する フィードバックの方法
カメラの基本操作を学ぶ過程での個別対応全般と、最終講評会における意見や感想をフィードバックとして、授業内容の理解や作品のクオリティ向上に役立てる。
履修のポイント
撮影した写真をコンピュータ上で確認し、適切に保存すること。データ保存用に、各自SDカードやUSBメモリを用意すること。データ紛失を防ぐためにバックアップを心掛けること。積極的にフォトコンクール等に応募すること。
オフィス・アワー
金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C258

講義コード	40300001
講義名	クラフトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での製品づくりの実務経験から、ブランディングの重要性を演習の中で解説するとともに、素材への知識を深めていく授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

昨今、クラフトと呼ばれる分野は本来の「工芸」という意味から広がりをみせ、様々な素材や技法、道具が用いられ、それらの購買経路、ニーズやウォンツも多岐にわたっている。
本講座では手仕事による雑貨やアクセサリーなどもクラフトととらえ、雑貨のデザイナーとして市場調査を行いながらコンセプトやターゲットを設定し、それに沿って自身の造形的な表現を探ることを学びとする。また、自身の扱う素材に応じた道具や技法を習得し造形表現にいかすことで、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、市場調査を行いユーザーの視点に立ったデザインと自分の造形的な表現、コンセプトやターゲット、トレンドと造形の関わりについて学ぶ。

到達目標

学生が自身のブランドを設定し、アイテムを3点以上制作することができる。
また、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	実習内容についての説明、リサーチを行う		予習 25分 身の回りにどのような雑貨があるか調べる 復習 20分 授業をふまえ、身の回りにどのような雑貨があるか調べる
第2回	リサーチを行う		予習 25分 身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる 復習 20分

			授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる
第3回	リサーチを行う		予習 45分 身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習 45分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる
第4回	リサーチを行う		上記参照
第5回	リサーチを行い、まとめる		予習 45分 身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習 45分 授業をふまえ、市場にある雑貨と、自分の作りたいものについて確認する
第6回	リサーチを行い、まとめる		上記参照
第7回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		予習 45分 アイデアスケッチに備え、リサーチした内容を確認しておく 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチにオリジナル性があるか確認する
第8回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		上記参照
第9回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		予習 45分 アイデアスケッチに備え、リサーチした内容を確認しておく 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチにオリジナル性があるか確認する
第10回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		上記参照
第11回	制作準備、デザイン		予習 45分 デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習 45分 自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第12回	制作準備、デザイン		上記参照
第13回	制作準備、デザイン		予習 45分 デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習 45分 自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第14回	制作準備、デ		上記参照

	ザイン		
第15回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第16回	製品の制作		上記参照
第17回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第18回	製品の制作		上記参照
第19回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第20回	製品の制作		上記参照
第21回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第22回	製品の制作		上記参照
第23回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第24回	製品の制作		上記参照
第25回	製品の制作、パッケージの制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。身の回りにある雑貨のパッケージを調べておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第26回	製品の制作、パッケージの制作		上記参照
第27回	製品の制作、パッケージの制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第28回	製品の制作、パッケージの		上記参照

	制作		
第29回	作品の提出、講評、撮影	学生が自身の作品をプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う。	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	作品の提出、講評、撮影	同上	上記参照

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上／1.平常点（取組みの姿勢）３０％ 2.作品点／７０％ 上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C262

講義コード	40310001
講義名	工芸デザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大竹 夏紀	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、生活空間に深く関わりのある工芸素材として「布」を題材とし染色の伝統技法である蝋けつ染めを習得することで、素材に親しみながらその特性をふまえ、模様や色のもつ効果について考えながら2つの課題の作品制作を行う。また、蝋、染料、布を使い様々な表現を試行することによって、素材の特徴を捉える感覚を養い、豊かな表現力を育てる。
さらに、テーマについてリサーチや思考を重ねて、新しい視点で自分にしかできない作品を制作する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するため盤基盤となる学習として、蝋けつ染めの知識や技能を修得し、染色技術を活かした表現の可能性を探る。

到達目標

学生が、蝋けつ染めの技法を習得し、蝋、染料、布の特徴を使い新しい表現ができる。
また、テーマと技法を結びつけたオリジナリティーのある作品を制作することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	実習内容についての説明 蝋けつ染め技法の説明と実践		予習 45分 蝋けつ染めの概要を本やインターネットを使って調べる 復習 45分 授業をふまえ蝋けつ染めで出来る表現を確認する
	実習内容につ		

第2回	いての説明 蝋けつ染め技法の説明と実践		上記参照
第3回	課題①ハンカチを染める 課題説明 エスキース、資料集め		予習 45分 制作する作品のイメージを考えておく 復習 45分 エスキースを進める必要であれば資料を集め参考にする。
第4回	課題①ハンカチを染める 課題説明 エスキース、資料集め		上記参照
第5回	課題① エスキースチェック（個別に） 制作		予習 45分 エスキースチェックができる準備をする 復習 45分 チェックで指摘された点を練り直す
第6回	課題① エスキースチェック（個別に） 制作		上記参照
第7回	課題① 制作		予習 45分 蝋けつ染め制作に必要な道具を準備する 復習 45分 制作を進める
第8回	課題① 制作		上記参照
第9回	課題① 制作、仕上げ		予習 45分 制作を進める 復習 45分 作品にアイロンをかけて整える
第10回	課題① 制作、仕上げ		上記参照
第11回	課題① 講評会	作品について学生がプレゼンテーションを行い教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換をする	予習 45分 講評会に備え自分の作品に対する考えをまとめる 復習 25分 講評をふまえ評価点と反省点をまとめる
第12回	課題① 講評会	同上	上記参照
第13回	課題②「家紋」の巾着を制作する		予習 45分 制作する作品のイメージを考えておく

	課題説明 制作		復習　　分 作品にアイロンをかけて整える
第14回	課題②「家紋」の巾着を制作する 課題説明 制作		上記参照
第15回	課題③「模様」をテーマに作品を制作する 課題説明 エスキース、資料集め		予習 45分 制作する作品のイメージを考えておく 復習 45分 テーマについて資料を集めて調べてリサーチをする
第16回	課題③「模様」をテーマに作品を制作する 課題説明 エスキース、資料集め		上記参照
第17回	課題③ 制作プラン発表（全体）	調べたことやプランについて学生がプレゼンテーションを行い教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換をする	予習 45分 プラン発表に備え集めた資料をもとに考えをまとめる 復習 45分 プラン発表で指摘された点を練り直す
第18回	課題③ 制作プラン発表（全体）	同上	上記参照
第19回	課題③ 制作		予習 45分 蝋けつ染め制作に必要な道具を準備する 復習 45分 制作を進める
第20回	課題③ 制作		上記参照
第21回	課題③ 制作		予習 45分 制作を進める 復習 45分 制作を進める
第22回	課題③ 制作		上記参照
第23回	課題③ 制作		予習 45分 制作を進める 復習 45分 制作を進める
第24回	課題③ 制作		上記参照
第25回	課題③ 制作		予習 45分 制作を進める

			復習 45分 制作を進める
第26回	課題③ 制作		上記参照
第27回	課題③ 作品の仕立て方の説明 講評会準備		予習 45分 仕上げに必要な道具を準備する 復習 45分 作品を完成形まで仕上げる
第28回	課題③ 制作		上記参照
第29回	課題③ 講評会	作品について学生がプレゼンテーションを行い教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換をする	予習 45分 講評会に備え自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ評価点反省点をまとめる
第30回	課題③ 講評会	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／1.平常点（取組みの姿勢）３０％ 2.作品点／７０％
上記1および2の総合評価が50点（％）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。 ¥2,510程度材料費が発生します。

オフィス・アワー

水 9：20-12：20 501教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C234

講義コード	40320001
講義名	ファッションアート
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

自分自身を表現する手段として、コスプレやロリータファッションの衣装等が有ります。
そのような衣装や、自分の好みの作品の実物制作を行います
コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターや服装を形にして行く。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、コスプレやロリータファションなど好きな衣装の実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

服作りの知識や技術を身に付け、自分の 想像した物を着ることの出来る服にする力を付ける事を目標とする

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	講義・実習方法の説明他		予習：４５分作りたい服のリサーチ 復習：４５分デザインの確認
第2回	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む）		予習：４５分作りたい服のリサーチ 復習：４５分次回授業

	採寸		の準備
第3回	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む）		予習：４５分採寸の支度 復習：４５分次回授業の準備
第4回	同上		上記参照
第5回	製 図 →チェック		予習：４５分デザインの確認 復習：４５分次回授業の準備
第6回	同上		上記参照
第7回	製 図 → 材料の書き出し及び調達		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第8回	同上		上記参照
第9回	布の地直し		予習：４５分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習：４５分次回授業の準備
第10回	同上		上記参照
第11回	仮 縫 い → 試着補正 → 本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第12回	同上		上記参照
第13回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第14回	同上		上記参照
第15回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第16回	同上		上記参照
第17回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第18回	同上		上記参照
第19回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第20回	同上		上記参照
第21回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備

第22回	同上		上記参照
第23回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第24回	同上		上記参照
第25回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第26回	同上		上記参照
第27回	本 縫 い → 作品仕上		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第28回	同上		上記参照
第29回	仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 ４５分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 ４５分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書
使用しない
参考書
文化ファッション大学系 服飾造形講座①～⑤
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上／実技課題（取り組みの内容５０％、完成度３０％）・提出期限２０％ ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること
履修のポイント
実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい
オフィス・アワー
授業日の授業開始前後もしくは終了後に教室等で質問に応じます
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C263

講義コード	40330001
講義名	デジタルコミック
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての実務経験を活かしデジタル作画における知識や注意点など具体例を挙げながら授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 三木 綾菜	指定なし

授業の概要と教育目標

この講座ではillustrator、PhotoShop、Clip Studioの3アプリケーションについて学ぶ。基本的なオペレーションを確実に理解した後、実践的なCGイラストレーションの技術を修得する。illustratorでは、背景を含む「ちびキャラ」などのオリジナルイラストの制作、PhotoShopでは厚塗りの手法で、Clip Studioでは漫画制作又は、アニメ塗りなどの基本的な手法でキャラクターイラストを制作する。

本講座は、３アプリケーションの基本的な技術を習得し、オリジナリティーのあるCG作品を効率よく制作することができるスキルを身に付け、２年次の「CGイラストレーション」「アニメーション」「３D-CG」「キャラクターデザイン」などの授業で必要な基礎を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、卒業後、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、また多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

CGの基礎を確実に習得したうえで、さらに実践的な表現技術を身につける。専門的なグラフィックソフトの諸機能を理解し、コンピュータの周辺機器を含めて的確なオペレーションをおこない、より効率的に完成度の高いヴィジュアル作品を制作できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三木綾菜	授業の概要説明 illustrator基礎① 各種ツール・ウィンドウ解説 イラスト練習課題		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習

第2回	三木綾菜	〃		〃
第3回	三木綾菜	illustrator基礎② イラスト練習課題 オリジナルイラストの下書き準備		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	三木綾菜	〃		〃
第5回	三木綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 下書き完成、スキャン スキャナーの使い方、画像の配置の仕方など解説		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	三木綾菜	〃		〃
第7回	三木綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 ペンツールによるトレース illustratorの諸機能を使い、効率的なトレースを目指す。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	三木綾菜	〃		〃
第9回	三木綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	三木綾菜	〃	〃	〃
第11回	三木綾菜	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 CG作品の紹介、各種ツール・ウィンドウ解説、技法解説 液晶タブレットを使用して作品イメージの下書きを制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	三木綾菜	〃		〃
第13回	三木綾菜	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 下書き完成、講師による確認 キャラクター・背景の下地塗り等		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第14回	三木綾菜	〃		〃
第15回	三木綾菜	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	三木綾菜	〃		〃
第17回	三木綾菜	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	三木綾菜	〃		〃
第19回	三木綾菜	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 仕上げ、完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	三木綾菜	〃	〃	〃
第21回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 Clip Studio基礎／各種ツール・ウィンドウ解説 ・漫画→必要ツール解説 ・イラスト→液晶タブレットを使用して作品イメージの下書きを制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	三木綾菜	〃		〃
第23回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 ・漫画→下書き制作 ・イラスト→下書き完成、講師による確認 キャラクター、背景の下地塗り等		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	三木綾菜	〃		〃
	三	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 →		予習45分：レクチャー内容

第25回	木綾菜	・漫画　ペン入れ ・イラスト→１影、２影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	三木綾菜	〃		〃
第27回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 ・漫画→ベタ、トーンの仕上げ作業 ・イラスト→１影、２影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	三木綾菜	〃		〃
第29回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 仕上げ、完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	三木綾菜	〃	〃	〃

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に講評を実施するとともに、制作途中には講師が個々に技術的な指導を行う。
履修のポイント
作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時は、とくに欠席、遅刻等しないように注意してください。
オフィス・アワー
授業前もしくは授業後に教室にて質問を受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C231

講義コード	40340001
講義名	３Ｄ－ＣＧ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、３DーCGの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

設定した世界感をもとに、キャラクターデザインからゲームグラフィックス用のローポリゴンモデルの制作を行う。また、３ＤＣＧだけでなくAdobe Photoshop、Illustratorを使用し、制作プロセスを指定フォーマットにレイアウトすることで、ポートフォリオ制作の基礎を学ぶ。

教育目標としては、社会のニーズを考慮し、目的に合わせたデザインと必要に応じたソフトウエアの選択をする能力の育成。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、３D-CGの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

3DCGソフトのモデリングオペレーションの習得。
ワークフローの記録とそのレイアウト。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および作例の紹介		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	”		”
第3回	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”		”

第5回	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”		”
第7回	任意手法によるエスキース、デザイン画制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”		”
第9回	任意手法によるエスキース・デザイン画提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”		”
第11回	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”		”
第13回	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”		”
第15回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”		”
第17回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”		”
第19回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”		”
第21回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	”		”
第23回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”		”

第25回	プレゼンテーションボードの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”		”
第27回	プレゼンテーションボードの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”		”
第29回	作品講評・採点	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容についての復習
第30回	”	”	”

教科書

使用しない。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウエアマニュアルおよび解説書

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
３ＤＣＧデータとプレゼンテーションボードの完成度100%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

制作資料の収集、リサーチ等が必要です。
３DCGは少し難しいかもしれませんが、今後も需要が増えて行く分野です、とにかく体験してみることです。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、10:50〜11:00 1号館3F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C253

講義コード	40350001
講義名	アニメーションI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、映像作品（アニメーション）の専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

本演習では、従来手法（手描きや立体アニメーションなど）とデジタル手法、または、その併用による映像作品を制作する。
制作指導は、各々の個性・主体性を尊重しながらも、グループ単位での指導を行い、共同作業をすることで個々の感性や技術力の向上を目指す。
アニメーション表現の可能性を追求と作品制作を通して映像編集の流れと、グループワークを学ぶことを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、アニメーションの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

映像制作のためのアプリケーション（Adobe AfterEffects、Premiere）での基本的映像編集方法の習得。
完成作品をコンクール出品や動画サイトへの投稿することで社会と接点を持つ。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および作例の紹介		予習：シラバス内容の確認 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第2回	"		"

第3回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペーレーションチュートリアル		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第4回	"		"
第5回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペーレーションチュートリアル		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第6回	"		"
第7回	グループ分け、制作内容の検討		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第8回	"		"
第9回	グループミーティング、シナリオ、絵コンテの作成		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第10回	"		"
第11回	グループプレゼンテーション	グループごとに制作内容についてプレゼンテーションを行う。	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第12回	"	"	"
第13回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第14回	"		"
第15回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第16回	"		"
第17回	映像制作～グループ単位での		予習：レクチャー内容の予習 45分

	作画や撮影など		復習：レクチャー内容の復習 45分
第18回	"		"
第19回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第20回	"		"
第21回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第22回	"		"
第23回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第24回	"		"
第25回	グループごとに映像編集 ＭＡ（ナレーションやアフレコ、効果音）作業		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第26回	"		"
第27回	グループごとに映像編集 ＭＡ（ナレーションやアフレコ、効果音）作業		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第28回	"		"
第29回	講評・採点	上映会を行うとともに、グループごとにプレゼンテーションを行う。	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第30回	"	"	"

教科書

使用しない。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウエアマニュアルや映像編集の解説書など。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 １：課題評価70%　２：グループワークでの協調性30%。 1、２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。
履修のポイント
グループごとに楽しく、面白がって制作すれば、結果に表れます。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：金曜日、14:50〜15:00 1号館3F 104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C257

講義コード	40360001
講義名	アニメーションII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、個々のアイデアにユーモアや美的感覚を付加し、絵やものを動かす試みを通して、表現のオリジナリティーを追求することを、教育の目標とする。参考作品としてさまざまな映像作品を鑑賞した後、決定したアイデアに沿って、粘り強く制作を進めることが求められる。制作技法に合わせて、素材作り、撮影、デジタル編集、効果音作りや書き出しまでを、一通り行い完成とする。後期中程で中間発表、最終日にはアクティブ・ラーニングを取り入れた講評会を行う。
※本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得することを目指す。また、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を、映像制作を通して積極的に養う。

到達目標

動きのないものに表情や感情を持たせるには、どのような方法が効果的かを工夫できる。また、学生がさまざまな作品に触れる過程で、客観性や柔軟性を養い、幅広いアニメーション表現を理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	参考作品鑑賞、授業の流れや趣旨を確認、アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング	さまざまな参考作品の鑑賞を通して、学生の意見や感想を引き出す。その過程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	予習45分：興味のあるアニメーション作品をリサーチする
		参考作品鑑賞、授業の流	さまざまな参考作品の鑑賞を通し	復習45分：興

第2回		れや趣旨を確認、アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング	て、学生の意見や感想を引き出す。その過程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	味のあるアニメーション作品をリサーチする
第3回		アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテチェック後に制作開始		予習45分：レクチャー内容の予習
第4回		アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテチェック後に制作開始		予習45分：レクチャー内容の復習
第5回		アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテチェック後に制作開始		予習45分：レクチャー内容の予習
第6回		アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテチェック後に制作開始		予習45分：レクチャー内容の復習
第7回		素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiereその他編集ソフト)		予習45分：レクチャー内容の予習
第8回		素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiereその他編集ソフト)		予習45分：レクチャー内容の復習
第9回		素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiereその他編集ソフト)		予習45分：レクチャー内容の予習
第10回		素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiereその他編集ソフト)		予習45分：レクチャー内容の復習
第11回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第12回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第13回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第14回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
				予習45分：レ

第15回		手法に応じた制作 随時個別対応		クチャー内容の予習
第16回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第17回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第18回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第19回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第20回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第21回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第22回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第23回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第24回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第25回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第26回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第27回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第28回		手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第29回		作品鑑賞、講評会、作品提出	お互いの完成作品を鑑賞する。制作した作品の説明や、鑑賞した作品に対する意見を述べる過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習45分：レクチャー内容の予習
第30回		作品鑑賞、講評会、作品提出	お互いの完成作品を鑑賞する。制作した作品の説明や、鑑賞した作品に対する意見を述べる過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習45分：レクチャー内容の復習

教科書
使用しない（必要に応じて資料や練習素材を配布）
参考書
各ソフトウェアマニュアルや映像編集の解説書など (After Effects 演出テクニック100：ムラカミヨシユキ他)
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 課題提出80% プラン提出を含む授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義での作品鑑賞、講評会における意見交換や批評、感想、及び個別指導時の対応を、授業の理解に役立てる。
履修のポイント
データの紛失と素材のリンク切れに注意すること。個人でUSB等を用意して、データのバックアップを心掛けること。動画として書き出した作品データを提出すること。限られた授業時間を有効に使い最後まで完成させること。
オフィス・アワー
金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C373

講義コード	40370001
講義名	ＣＧイラストレーション
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 三木 綾菜	指定なし

授業の概要と教育目標

CGイラストレーションを描く為に必要な機能やオペレーションを基礎から学ぶ。目標到達に向けた情報収集を行う。実践的なイラストレーションの制作方法を習得し、オリジナル作品に挑戦する。
CG技術は、イラストレーション・絵画等の芸術を表現する手段として近年その重要度を増している。画材を扱うようにCGを一つの道具として使いこなすことが出来れば、様々な領域に応用することが出来る。高度なスキルを身につけ、デザインやゲーム・アニメ等の業界で活躍することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、CG技術による顕示性の高い描画力と視認性の高いデザイン力を習得する。

到達目標

○下記３種ソフトウェアの特徴を活かしたCG技術を習得する
「ClipStudio」 ＝ 線画作成
「Photoshop」 ＝ 色調補正とレイヤー効果
「Illustrator」 ＝ バリエーションと幾何学模様
○コンピュータ周辺機器の的確なオペレーションを行う
○各種ショートカットを覚える
○完成度の高いヴィジュアル作品を制作する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	三木	仕様書作成《表情差分		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと

第1回	綾菜	／三面図／小道具》 1		復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 2		
第3回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 4		
第5回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 6		
第7回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 8		
第9回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 10（作品提出） 講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 1（授業概要説明）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第12回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作2（キャラクター考察）		
第13回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 4		
第15回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 6		
第17回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 8		
第19回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作10（作品提出） 講評会		
第21回	三木綾菜	背景描画 1		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	三木綾菜	背景描画 2		

第23回	三木綾菜	背景描画 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	三木綾菜	背景描画 4		
第25回	三木綾菜	背景描画 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	三木綾菜	背景描画 6		
第27回	三木綾菜	背景描画 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	三木綾菜	背景描画 8		
第29回	三木綾菜	背景描画 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	三木綾菜	背景描画 10（作品提出） 講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業態度３０％、課題完成度７０％で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 （アクティブラーニング）
履修のポイント
作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時はとくに欠席、遅刻等しないように注意してください。
オフィス・アワー
授業前もしくは授業後に教室にて質問を受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C254

講義コード	40380001
講義名	キャラクターデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、デジタルによるキャラクターデザインの専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

与えられたテーマ・キーワードに沿って求められる条件に自分の創造性を近づけてゆくことにより、自らの作品が商品として取り扱われる可能性があることを、課題制作を通して探求してゆく。
制約条件の元で最大限にオリジナリティを発揮する能力は、社会に出る前のウォーミングアップと捉えても良い。自分の興味に合った公募情報を収集するリサーチ力も問われる。また授業では、現代アーティストが作るキャラクター、海外のキャラクター、町おこし的マスコット、販売促進のため企業が考えたキャラクター等も紹介する。

教育目標：企業、フェスティバル等で募集されるキャラクターデザインの需要を理解し、学生個人の創造性やスキルと世の中の商業的ニーズを近づけ、卒業後の制作活動の幅や可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、キャラクターデザインの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

○ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用したキャラクター作成技術の習得
○ゲーム／デザイン業界で求められる汎用性のあるキャラクター作成能力の習得
○キャラクターデザインを募集している企業や公募展等に参加することで作品送付までの一連の流れを経験する
○情報収集能力、客観性、表現力や完成度などを強化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習45分：シラバスを事前によく読み理

第1回	前提講義、キャラクター考察		解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	”		”
第3回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”		”
第5回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”		”
第7回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”		”
第9回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”		”
第11回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”		”
第13回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”		”
第15回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”		”
第17回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”		”
第19回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”		”
	デザイン画、アクション集、表情集、		予習45分：レク

第21回	プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第22回	”		”
第23回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第24回	”		”
第25回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第26回	”		”
第27回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第28回	”		”
第29回	作品講評、提出。	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容について復習
第30回	”	”	

教科書

使用しない。（必要に応じて資料を配布する。）

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
キャラクターデザインプレゼンテーションボードの評価 100%
総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

プレゼンテーションを実施するとともに、個々に作品についての指導、講評を行う。

履修のポイント

アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる
目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める
授業態度等も重要視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、14:50〜15:00 1号館3F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C374

講義コード	40390001
講義名	版画技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインやアート、芸術を学習する上で、版による表現方法を認識することは必要不可欠です。何故ならば、商業デザインにおいて印刷媒体との関係は切っても切れない関係であり、また純粋芸術の分野でも版画芸術は確固たる位置を占めています。この授業では、アルミ版によるリトグラフと銅版画（エッチング）の実習を行い、物質を通して間接的に表現し制作することを学びます。そして、版表現を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、版表現を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思います。そして作品を展示し、人々の講評を得ることも社会とのコミュニケーションだと考え目標とします。

到達目標

版画技法を身につけることで優れたデザイナーやアーティストの育成を目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、版画について） 平版による版画制作（金属版リトグラフ）	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換する。	予習４５分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
	平版による版画制作（金属版リト		予習４５分：リトグラフ

第3回	グラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		予習４５分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第16回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをす

	機を使って印刷する。		る。
第17回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	凹版による版画制作（銅版画） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	凹版による版画制作（銅版画） ・銅板の版面に液体グランドを塗布する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	凹版による版画制作 ・グランド膜ができた銅版に下描きをする。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取るように描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取るように描画する。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	凹版による版画制作 ・腐食液（塩化第二鉄液）に銅板を浸して腐食する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第27回	凹版による版画制作 ・グランドをリグロインで落とす。腐食したところにインクを詰め込み、拭き取り、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディス	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをす

		カッション、意見交換する。	る。

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上 課題８０%、授業への参加度２０%
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は展覧会などに出品し展示することを目指します。そして展示されることにより講評を得ることを目標とします。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み） １号館１１１研究室で行う。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C252

講義コード	40400001
講義名	絵画表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

現代では、絵を描く道具や材料は既製品として販売されており、簡単に購入することができます。しかし本来、画材とは作家自身が自らの表現に合わせて自作してきたものでした。本授業では、支持体や接着剤を作成することを学び、絵具などを手作りします。ルネサンス期までイタリア他で盛んに描かれていた古典技法のテンペラ画を学習し、マチエール研究を行います。そして、あえて古典技法を研究することで、忘れつつある「本来の絵画制作の原点」を感じてもらい、各自の制作活動の新たな表現領域につながることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、古典技法を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思います。そして将来的な展望としては、画材を研究し、自らの制作活動に新たな表現領域を追求する真の作家を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

１、キャンバスによるジェッソ（下地剤）を利用したマチエール研究
２、学生がテンペラ技法における支持体と絵具の作成、描画ができることを目標とする。
３、学生が膠と顔料による描画ができることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバス張り、木枠に麻布を張る。	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換をする。	予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	マチエール研究による絵画制作 ・クロッキー帳などにエス		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	キース、アイデアスケッチをする。		
第3回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバスに鉛筆で下描きをする。		予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体作り、板に膠を塗る。（前膠）	参考作品を鑑賞し、テンペラ画に対する理解を深める。	予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （ムードンとチタニウムホワイトの顔料、膠液で塗料を作り、支持体に塗り重ねる。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （塗り重ね、乾いた下地をサンドペーパーで擦る。）		予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。

第14回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体に鉛筆で下描きをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	テンペラ技法による絵画制作 ・メディウム作り。（卵、ダンマルワニス、サンシックンドリンシードオイルで卵メディウムを作る。）		予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第16回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第17回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	色紙に日本画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。	参考作品を鑑賞し、日本がに対する理解を深める。	予習４５分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	色紙に日本画制作 ・鉛筆で下描きをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

第27回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習４５分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題８０%、授業への参加度２０%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）
１号館１１１研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C230

講義コード	40410001
講義名	ワークショップ・芸術教育
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

子供達の表現はパワーとエネルギーに満ち溢れています。幼児期から始まる表現のプロセスを理解し実践的に学び、年齢に合わせたカリキュラム作りのアイデアを多分に検討し、自己表現や過程を見つめ直し、芸術分野における指導の思考と技術を習得します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、専門分野の知識や技能で、絵画／造形教室での指導を実践できる知識・技術を修得する。

到達目標

○子供の表現の特徴を知る
○楽しく自由に美術に触れてもらう為の思考力
○一人一人違う個性を持った子供達の心にあわせた柔軟な対応能力
○参考作品を作成する技術力

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐野広章	概要説明、計画、用具の説明 子供造形教室の内容と役割について学ぶ「アートカードゲーム」		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	佐野広	〃	絵画を素材としたゲームを考案し意見交換を行う（アクティブラーニング）	

	章			
第3回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理① 平面の視覚効果と構成を学ぶ		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク② 実技演習（小学校絵画・平面） 「百均造形（平面）」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第5回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理② 立体物を抽象で表現する		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク③ 実技演習（小学校絵画・立体） 「百均造形（立体）」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第7回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理③ 動きとは何？ を考察する		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習（小学校絵画・自由研究） 「動くオモチャ制作」 ※ 廃材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第9回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理④ 楽しむとは何？ を考察する		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習（小学校絵画・自由研究） 「ゲーム制作」 ※ 廃材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	佐野広章	造形教室のアイデア、見本作り 触感を素材で理解する		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配

				布資料の確認
第12回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク⑥ 実技演習「手漉き和紙」		
第13回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク⑦ 実技演習「手漉き和紙の絵手紙作成」	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	佐野広章	教室運営についての方法、注意すべき点（保護者とのかかわり、 事故、危険物について、ケア）		
第15回	佐野広章	夏期絵画・造形教室に向けて		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃	各自が企画したアイデアをプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第17回	佐野広章	絵画・造形教室の為のアイデア① 見本制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	佐野広章	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第19回	佐野広章	絵画・造形教室の為のアイデア② 見本制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第21回	佐野広章	絵画・造形教室の為のアイデア③ 見本制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第22回	佐野広章	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第23回	佐野広章	プログラムのディスカッション、シミュレーション①		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第25回	佐野広章	プログラムのディスカッション、シミュレーション②		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	佐野広章	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第27回	佐野広章	プログラムのディスカッション、シミュレーション③		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第29回	佐野広章	みどり市の小学生（１年生～４年生）を対象とした実践指導		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	佐野広章	〃	実践指導内容を意見交換し、こどもを対象とした造形教育について考察する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上

課題完成度５０％、授業への参加度５０％を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

既成概念に捕われず、新しい発想や個性的な表現を楽しむ。また表現を実践するにあたり、エプロンや白衣などを準備する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35〜13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C351

講義コード	40420001
講義名	フィールドワーク
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし
教 員	山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

産官学共同や地域連携プロジェクトなどの、大学と産業や行政が共に協力し社会に貢献していくような活動が、近年各所で実施され成果を上げている。研究と教育を生業とする「学」にとって、それらのプロジェクトは「学生が実践的に学べる」貴重な場となりえることは言うまでもない。
本講座では学外機関の協力のもと、与えられたプロジェクトの起点からフィールドワークをおこなって、求められる事柄を発見し取り組みのテーマを考え、プロジェクトとして企画実行する。各専門教育で学んだことが、社会のどのようなところで、どのように活かされるのか、その回答が実感できるような授業となる。なおプロジェクトの企画計画には経済な視点も求められ、すなわち商業的要素も多分に含むため、商業施設士補の認定教科となっている。
履修対象者はアート・デザイン学科2年生全員を想定しており、用意された複数のプロジェクトの一つに参加する。授業時間は協力機関の都合や企画内容等に左右されるため、プロジェクトごとに任意に設定され、休暇中や前後期にまたがることもありえる。また、内容に応じて交通費や画材購入費等の金銭的な負担、医療施設などに立ち入る場合は自費での予防接種等を必要とする場合もある。グループ行動が多くなるため欠席しないようにしてほしい。
本講座の教育目標は、専門分野を通した社会との接触により、専門の学びに対する必要性を体感し、更なる学びの方向性を発見することである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

フィールドワーク授業は、各分野で様々に学修したことを統合し、グループワークの中からコミュニケーション能力を高め、そこで得られた学習を社会で実践していく授業である。したがって下記、アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって身につけておくべき力）を身につける、最も重要な授業として位置付けている。

1）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
2）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
3）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

アート・デザインに関わる仕事は、依頼者をはじめ複数の専門家と協力し合いながら遂行される場合が多い。業務におけるフィールドワークは、与件の確認やプロジェクトのさまざまな可能性を発見するためにおこなわれる。
本講座の学習目標は、フィールドワークを通じて、社会や仕事の現場で何が求められているのかを知る能力を養うこと。また、フィールドワークでの結果を尊重し、第三者と協力し合いながら業務を進められるようになることである。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業概要説明、各プロジェクトについての詳細について説明。		予習20分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習25分：講義内容の確認
第2回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 ※業界や製品について（概念、機能、設備、組織） ※必要に応じてフィールドワークも行う。 ※前期は５限９０分で授業を行う予定。その後は夏季集中授業として実施する。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第3回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第4回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第5回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。

第6回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第7回	・デザイン提案作成。	各プロジェクトごとにリサーチ結果をまとめ、プレゼンテーションを行う。 内容についてディスカッションするとともに、今後のスケジュールについて決定する。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第8回	〃	〃	
第9回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第10回	〃		
第11回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第12回	〃		
第13回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第14回	〃		
第15回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第16回	〃		
第17回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施さ

			れた内容について復習内容を指示する。
第18回	〃		
第19回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第20回	〃		
第21回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第22回	〃		
第23回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第24回	〃		
第25回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第26回	〃		
第27回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第28回	〃		
第29回	プロジェクトごとのプレゼン資料完成	各プロジェクトごとに関係する協力機関等にて、プレゼンテーションする。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について検証する。
第30回	〃	〃	

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 各努力目標に対する達成度：70%、作品や活動の質：30% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各プロジェクトチームにおいて、プレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）講評を適宜実施する。
履修のポイント
各プロジェクトごとに必要な準備（材料、情報、資料収集等）は、担当教員の指示に従い事前に準備すること。 グループで行動することが多いので、出席や集合時間等、行動に責任を持つ事。
オフィス・アワー
授業に関する質問:月曜日 12:30〜13:20 小松原：124研究室 及川（山本）：131研究室 大日向：123研究室 佐野：121研究室 寺村：122研究室 柏木：125研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C352

講義コード	40430001
講義名	デザイン史
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の社会でﾞのﾃﾞｻﾞｲﾝ活動と大学でﾞの研究教育活動を背景とした授業.実務でﾞ役立つﾃﾞｻﾞｲﾝの歴史についてﾎﾟｲﾝﾄを伝える授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

「ﾃﾞｻﾞｲﾝ」とは,目的に対して機能性や経済性などﾞの付加価値を考慮しながﾞら造形(表現)することでﾞあるとすれはﾞ,ﾃﾞｻﾞｲﾝされた製品の造形(表現)は,社会の価値観や時代の風潮などﾞも包括する「環境」の影響をうけているといえる.このような観点から,過去にﾃﾞｻﾞｲﾝされた製品の造形(表現)を観察すると,それがﾞつくられた「環境」を推察することがﾞ可能でﾞあろう.そこでﾞ,本講座でﾞは,各時代の製品や造形(表現)に着目して,19世紀半はﾞ以降から現代までﾞの「ﾃﾞｻﾞｲﾝ」とそれに影響を与えた「芸術運動」ついて時間軸に沿って考察する.造形(表現)のそれぞﾞれの環境(各国各時代)における意味およびﾞ表現の理由などﾞについて解釈していく.
なお本講座は,ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得と,先人たちがﾞ歩んだﾞ軌跡から今後における新たなﾃﾞｻﾞｲﾝの役割について示唆を得ることから,ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエイションの現場でﾞ出現するさまざﾞまな新しいことに対して,相応しい判断をするための材料をもつことを目標とする.

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は,アート・ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科のﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ;「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解,対象の理解のために,ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得を目指す.また,ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ;実践的なﾃﾞｻﾞｲﾅｰやｱｰﾃｨｽﾄとして活躍でﾞきるように,多様な社会のﾆｰｽﾞ,変化に対応でﾞきる知識・技術の修得のために、本講座でﾞは,ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエイションの現場でﾞ出現するさまざﾞまな新しいことに対して,相応しい判断をするための材料をもつことを目指す.

到達目標

1.ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエーションに関わる歴史的な知識の習得
2.先人たちがﾞ歩んだﾞ軌跡から今後を想像する力の習得
3.ﾃﾞｻﾞｲﾝやクリエイションの現場でﾞ出現するさまざﾞまな新しいことに対して,相応しい判断をするための材料をもつ

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	及川澄人	ﾃﾞｻﾞｲﾝの概念およびﾞ美術史について		予習:90分 周辺にある製品を一つあげﾞ、それがﾞいつごﾞろつくられたものなのか調べﾞる 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第2回	及川澄人	イギﾞリス産業革命以降		予習:90分 周辺にある製品を一つあげﾞ、それがﾞいつごﾞろつくられたものなのか調べﾞる 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第3回	及川澄人	新しい素材と表現		予習:90分 周辺にある製品を一つあげﾞ、それがﾞいつごﾞろつくられたものなのか調べﾞる 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第4回	及川澄人	現在における「技術」をキーワードﾞとした製品や空間の考察	<アクティブﾞラーニングﾞ> 学生同士がﾞレポﾟート作品を制作しながﾞら意見交換する	予習:90分 復習:90分 出題された課題をまとめる
第5回	及川澄人	ウィリアム・モリスとアーツアントﾞクラフツ		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第6回	及川澄人	アール・ヌーホﾞーと世紀末		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第7回	及川澄人	現代における「装飾」をキーワードﾞとした製品や空間の考察	<アクティブﾞラーニングﾞ> 学生同士がﾞレポﾟート作品を制作しながﾞら意見交換する	予習:90分 復習:90分 出題された課題をまとめる
第8回	及川澄人	ﾄﾞイツ工作連盟とﾊﾞウハウスオランﾀﾞの近代運動1		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第9回	及川澄人	ﾄﾞイツ工作連盟とﾊﾞウハウスオランﾀﾞの近代運動2		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第10回	及川澄人	オランﾀﾞの近代運動		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセクションの復習をおこなう
第11回	及川澄	ロシア構成主義		予習:90分 授業でﾞ講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業でﾞ講義したセク

	人			ションの復習をおこなう
第12回	及川澄人	アメリカ		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう
第13回	及川澄人	ヨーロッパ゜		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう
第14回	及川澄人	コンテンホ゜ラリーデ゛ザ゛イン		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう
第15回	及川澄人	総括、授業内試験		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

「デザインの歴史、暮沢 剛巳/伊藤 潤/山本 政幸/天内 大樹/高橋 裕行 著」学芸出版社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上,事例研究課題の成果(30%程度)と授業内試験(70%程度)

課題等に対するフィードバックの方法

デ゛ィスカッション課題は授業内で゛フィート゛バ゛ックする.事例研究課題,レホ゜ートのフィート゛バ゛ックは授業内で゛おこなわず゛,授業外で゛希望者のみ個別におこなう.また,講義ノートを担当教員研究室前に公開するため,履修学生は自由に活用で゛きる.

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日,16:30-18:10,及川研究室(1号館131)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C213

講義コード	40440001
講義名	ユニバーサルデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営．教員の実務経験をもとに実務で役立つユニバーサルデザインのポイントを示す授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

近年までの大量生産，大量消費を前提としたデザインは，市場の最大公約数を対象とし，いわゆる健常者と括られている人のみを意識したものであったと言えよう．しかし，健常者といえども障がいを得る可能性や，加齢という観点からも永遠にそうあり続けるとは限らない．そのうえ，人には各々に身体能力や感覚，アイデンティティにも異なりがあることを忘れてはならない．すなわち，我々の生活する社会には「さまざまな人」が存在していると捉えるべきであり，今後における製品や空間のデザインにおいても，対象とする「人」とは，特定の「人」ではなく「さまざまな人」であると考えるべきであろう．本講座では，以上のような観点からデザイナーやクリエイターを目指す私たちが，これからの社会にとって相応しいデザインを創出していくためのユニバーサルデザイン（UD）の基礎知識と実践例を学び，今後の社会でのデザイナーの業務や姿勢などについて議論する．
なお本講座は，UDの原則を理解してUDを実践するための知識を習得し，UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目標とする．また本講座は，商業施設士補資格の指定教科となっている．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように，多様な社会のニーズ，変化に対応できる知識・技術の修得のために，本講座では，UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目指す

到達目標

本講座の到達目標は
1．UDの原則の理解
2．UDを実践するための知識の習得
3．UDの意識をもって社会に貢献できる能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
			予習：90分 周辺にある UD製品を一

第1回	UDの背景と概念		つあげて使用方法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	風土と慣習		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	経済と産業 企業の仕組みについて		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	ユニバーサルデザインの出現 ユニバーサルデザインの歴史について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第5回	デザインの対象となる人々 人間の加齢と幼齢について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	＜事例研究課題＞ 「観察」をテーマにレポート制作	授業内課題に取り組む	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第7回	障害と身体の動き、心理について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	製品や空間を企画・デザインする側の姿勢		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分

	「観察と実験」について		授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	＜事例研究課題＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験を実施する.	＜アクティブラーニング＞ 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する.	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	＜事例研究課題＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験を実施する.	＜アクティブラーニング＞ 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する.	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	＜事例研究課題＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験で得た記録に基づき レポートを作成する	授業内課題に取り組む	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第12回	「UDの7原則と3つの附則」 UDの7原則について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	「UDの7原則と3つの付則」 3つの附則について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	UDの実践		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	総括、授業内試験		予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内試験の復習をおこなう

教科書
特に使用しない
参考書
「ユニバーサルデザインの教科書，中川聰監修」，「ユニバーサルデザインの本，日刊工業新聞社」
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上，事例研究課題の成果（30%程度）と授業内試験（70%程度）
課題等に対する フィードバックの方法
ディスカッション課題は授業内でフィードバックする．事例研究課題，試験のフィードバックは授業内でおこなわず，授業外で希望者のみ個別におこなう．
履修のポイント
ノートを作成すること
オフィス・アワー
月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131）
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C260

講義コード	40450001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の社会でのデザイン活動と大学での研究教育活動を背景とした授業．実務経験を根拠としたデザイン領域でのコミュニケーションについて具体的に示す授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

日常会話では，「言葉」とともに「表情」や「身振り」などを使用して情報のやりとりをしている．また就職活動等にともなう面接試験などの場面では，髪型や服装などの表装まで意識されることもある．某アニメ制作会社内でのキャラクターデザインの発表時は,デザイナー自身が提案するキャラクターを演じながらプレゼンテーションを行い，リアリティをもって訴えかけることが有名である.このように，生活の重要な場面や自分が創造したデザイン(作品)のプレゼンテーション時などでは,場に応じた的確なコミュニケーション手段を講じることが求められる.本講座では,特に「非言語コミュニケーション」に着目し，デザイナー(クリエイター)にとってのプレゼンテーション，および商行為や職場での打合せなどの場面を念頭においたコミュニケーション手段の可能性と，その方法論を学ぶ.
なお本講座では，自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と面談等での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを教育目標としている。本講義は商業施設士補資格の指定教科となっている.

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解，対象の理解のために，本講座では，生活の観察を通してコミュニケーションの理解に取り組む．また，ディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，本講座では，特に専門職の面接試験時のコミュニケーション技術の習得に的を絞る．および，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるようになるために，本講座では，自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と，アート・デザインの現場での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを目指す.

到達目標

1. 生活の観察を通したコミュニケーションの理解
2. コミュニケーション技術の習得
3. 自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力の習得
4. 面談等での円滑なコミュニケーションができる能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	生活と商業的行為におけるコミュニーケーションの目的と実例	＜アクティブラーニング＞ ゲーム形式で非言語コミュニケーションを体感する 授業内課題に取り組む	予習：90分 特に商業におけるコミュニケーションのバリエーションについて調べる 復習：90分 自分のコミュニケーション能力について考える
第2回	絵の機能と時間軸		予習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をまとめる
第3回	文字の多様性と文化		予習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をまとめる
第4回	事例研究課題：メッセージの表現	授業内課題に取り組む	予習：90分 音によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 音によるコミュニケーションの事例をまとめる
第5回	ビジュアルにたよらない音の価値		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第6回	情報伝達と感情の操作		予習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第7回	デザイン領域のコミュニケーション		予習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第8回	アート領域のコミュニケーション		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第9回	コミュニケーションを成功させるための準備ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
			予習：90分

第10回	コミュニケーション中におけるリアリティほか		面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第11回	問題のある相手に対する対処法ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第12回	事例研究課題：コミュニケーションの実践	授業内課題に取り組む	予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第13回	集中を持続させる技術や質問の方法ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第14回	コミュニケーション後の整理ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第15回	総括、授業内試験		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

「ビジネスコミュニケーション講座、日経BP社」

成績評価の方法・基準

60点以上．事例研究課題の成果（30%程度）と授業内試問（70%程度）

課題等に対する
フィードバックの方法

事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう．授業内諮問のフィードバックは授業内ではおこなわず，授業外で希望者のみ個別におこなう．

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131）

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C233

講義コード	40460001
講義名	くらしのデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材のデザインや内装設計業務の経験に基づき、生活文化とデザイン活動のありかたや造形表現・商品開発等の手法と社会的意義を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

生活文化全般に関わる、衣（医）・食・住のデザイン。
人類の歴史の中でつくられた様々な造形・芸術・デザイン活動が、社会とどう関わり、
影響を与えてきたか、その表現形態に込められた思いや、メッセージを探り、
デザインの社会的な役割を探求していきます。
造形物の表現意図や社会へのメッセージ、メディアの選択や活用による情報伝達等、
過去の実例と未来における可能性を考察し、デザイン活動を行う上での、
情報分析力（デザインを見る知性と感性）と企画構成力（デザインを創り出す視点と着想）
の基礎を探求していくことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会の中で、アートやデザインの活動により、新たな生活文化の価値を創造し、社会環境の改善と、生活文化の発展に貢献できる情報探求、分析と活用、そして再構築のプロセス、企画構成力の基礎を修得すること。

到達目標

自らが取り組む研究課題や制作主題に対し、その歴史や発展、現代の「人間の生活空間」
における意義や役割を「環境」や「コミュニケーション」の視点から多面的に理解できていること。
アートやデザインの対象となる「もの」や「こと」の本質を探究し、表現に生かせる専門的な「知識」や「技能」を修得できていること。
社会に役立つアートやデザインの担い手として、「もの」や「こと」の新たなる方向性を思索し、提案していくことができるプロセスの習得を目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	峰岸康之	「生活文化とデザイン」 アート・デザインと生活文化（くらし）の関わりについての考察します。		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第2回	峰岸康之	「形の美」 古代文物、伝統文様、宗教美術、寺院建築、民族衣装等の写真資料から、造形表現に込められた意味を探ります。	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第3回	峰岸康之	「芸術と技術」 芸術表現と科学技術のかかわりを、様々な分野の造形物の表現から考察してみます。		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第4回	峰岸康之	「ものの形」 身近な生活用具の形を、その起源や社会環境や生活様式など多様な着眼点でとらえ探求する課題に取り組みます。	課題レポート１	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第5回	峰岸康之	「デザインのはじまり」 近代デザイン、特にアーツアンドクラフツ運動や、バウハウスの理念と、現代のデザイン教育やデザインビジネスへの関	課題のテーマ選定のための情報収集活動を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として

		連や共通課題について考察してみます。		関連事項の調査考察90分
第6回	峰岸康之	「アートデザインと知的財産権」 多様な情報環境の現代、次々と新たにつくられていくアートやデザイン。知的財産権と、創造する姿勢について、考察を進めていきます。		予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第7回	峰岸康之	「事例研究」 視覚表現とデザイン１	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第8回	峰岸康之	「事例研究」 視覚表現とデザイン２	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第9回	峰岸康之	「事例研究」 空間表現とデザイン	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
				予習として資料の

第10回	峰岸康之	「事例研究」 身体装飾とデザイン	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第11回	峰岸康之	「情報技術とデザイン」 ＩＴ技術の進歩発達による生活における様々なモノと情報の変化を考察し、メディアとアートデザインの新たな可能性を探っていきます。	課題レポート２	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第12回	峰岸康之	「デザイン開発のプロセス」 マーケッティング手法、様々なセグメンテーション	課題のテーマ探求のための情報収集と分析活動を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第13回	峰岸康之	「デザインレビュー」 商品の構想・企画・設計・試作・量産の過程	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第14回	峰岸康之	「デザインの可能性」 多様な着眼とデザインの可能性	課題レポート３	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考

				察90分
第15回	峰岸康之	「新たな生活文化の創造」 総論 ／まとめ	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分

教科書

独自の資料を作成・配布し、参考文献や情報を随時紹介していきます。

参考書

形の美とは何か ： 三井秀樹 （日本放送出版会）
デザインの生態学 ： 後藤武・佐々木正人・深澤直人 /（東京書籍）
デザインのデザイン ： 原 研哉 /（岩波書店）

成績評価の方法・基準

課題レポート１（３５%）課題レポート２（２０%）課題レポート３（４５%）により評価、
単位認定 ６０点以上 とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や展開に対する取り組みを、小論文型式のレポート作成提出という形で研鑽していきます。
課題の着眼において、手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、造形への展開方法などを提示し、理解を深め、研究や制作へ向かい、課題解決力を育んでいけるようフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

アート・デザインと生活文化（くらし）の関わりを様々な側面から考察していきます。
他授業の作品やレポート課題、卒業制作へ取り組む際のプロセスノウハウとしても役立てましょう。

オフィス・アワー

非常勤）
前期 ： 水曜日 午前 （１限は生活科学科授業）
＊個別に質問や相談事項がある場合は、講義の前又は後に申し出てください。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C261

講義コード	40470001
講義名	美術解剖学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

絵画やイラストレーション、漫画の熟達を目指す者にとって、人物や人体の理解は根本的な課題である。そこで美術解剖学を学ぶことにより、人体の構造を知り、表現の可能性を多面化する。この授業では、人体のプロポーションや各部位の構造などをテーマとし、課題制作を通して知識を表現力と結びつけることを教育の目的とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」ことを目指し、人物表現の基礎を学習する。

到達目標

学生は、感覚的に捉えがちな人体の構造やからだの特徴を、美術解剖学として理解することにより、それぞれの専門分野で制作するデザインや表現をより豊かにすることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向 基子	前提講義（全身についての理解） 頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	最初に何も見ずに人体を描き、癖や先入観を理解する。	予習：90分 必要な道具の準備 復習：90分 配布資料の確認
第2回	大日向 基子	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写準備 復習：90分 頭と首の模写制作
				予習：90分 頭と

第3回	日大向子 基	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第4回	日大向子 基	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第5回	日大向子 基	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第6回	日大向子 基	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第7回	日大向子 基	頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	模写提出、鑑賞	予習：90分 全身の構造の模写準備 復習：90分 全身の構造の模写制作
第8回	日大向子 基	プロポーションについての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第9回	日大向子 基	プロポーションについての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第10回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第11回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第12回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第13回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第14回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第15回	日大向子 基	全身の構造についての理解、模写提出	模写提出、鑑賞	予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作

教科書
やさしい美術解剖図 人物デッサンの基礎 J.シェパード著 マール社
参考書
アーティストのための美術解剖学（ヴァレリー・L・ウィンスロゥ著）、美術解剖図譜（東京芸術大学美術解剖学教室編）、やさしい人物画～人体構造から表現方法まで、手と足の描き方～骨格、筋肉、形状、動き、性別や年齢による違い（ジョヴァンニ・チヴァルディ著）、名画・名彫刻の美術解剖学（加藤公太著）、スケッチで学ぶ美術解剖学（加藤公太著）、Anatomy for the Artist（Sarah Simblet著）他
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 頭と首、顔の造作の構造(40%) プロポーション・全身の構造(60%)
課題等に対する フィードバックの方法
講義で得た情報を模写を通して整理する。個別指導や講評会でのコメントを授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
骨格や筋肉を意識した模写を試みる。正面だけではなく、側面や背面、斜めからの描写を追う。教科書、参考書、配布資料の熟読。
オフィス・アワー
月曜日 14:50-15:00 9号館902教室 その他講義前後
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C210

講義コード	40480001
講義名	美術史
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

歴史の中でも美術史は、少し特異な性格をもっています。過去の事実だけでなく、私たちの目の前にある芸術作品がその対象であり、現在と過去が作品を通して立体的に交差するところに美術史は成り立ちます。芸術作品を鑑賞しながら、過去の事実を検証することで、美術の歴史の流れを浮かび上がらせ、その時代の天才たちが、現代に生きる私たちに何を問いかけているのかを考えたいと思います。そして、美術の歴史を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、美術の歴史を学び、その知識を身につけることは最低限必要なことです。歴史を検証し、新しきを知るという姿勢は、作品制作、創作活動の基本となるところです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、芸術作品の鑑賞を通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

美術の歴史を検証し、芸術作品を鑑賞することで、各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になり感性豊かな作家を育てることを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション （授業の進め方、成績評価など） ［アクティブ・ラーニングの内容］ 美術史に登場する芸術家、芸術作品についてのディスカッション。	履修者に対して西洋美術史、日本美術史、アジアの美術史に登場する芸術家、芸術作品に関して問題提起し、意見交換する。	予習９０分：興味ある芸術家、芸術作品について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。

第2回	旧石器時代の美術、メソポタミア美術について検証し、講義する。		予習９０分：原始美術、メソポタミア美術について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第3回	エジプト美術について検証し、講義する。		予習９０分：エジプト美術について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第4回	クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について検証し、講義する。		予習９０分：クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第5回	エトルリア美術、ローマ美術について検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ 古代美術についてのディスカッション、意見交換。	エジプト美術、ギリシア美術、ローマ美術などの古代美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習９０分：エトルリア美術、ローマ美術について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第6回	ルネサンス美術の映像を鑑賞し、ルネサンスについて考える。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ ルネサンスについてのディスカッション、意見交換。	ルネサンスについて、どういう時代だったのかディスカッションし、意見交換する。	予習９０分：ルネサンスという時代について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第7回	初期ルネサンス美術について検証し、講義する。		予習９０分：初期ルネサンス美術について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第8回	盛期ルネサンス美術（レオナル・ド・ダヴィンチ）について検証し、講義する。		予習９０分：レオナル・ド・ダヴィンチについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第9回	盛期ルネサンス美術（ミケランジェロ）について検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ ルネサンス美術についてのディスカッション、意見交換。	ルネサンス美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習９０分：ミケランジェロについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第10回	印象主義（マネ、ドガ、モネ、ルノワール、ピサロ）について		予習９０分：印象派について調べる。 復習９０分：配布資

	検証し、講義する。		料を見直す。
第11回	後期印象主義（セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン、スーラ）について検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ 印象派についてのディスカッション、意見交換。	印象派についてディスカッションし、意見交換する。	予習９０分：後期印象派について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第12回	フォービスム、表現主義について検証し、講義する。		予習９０分：フォービスム、表現主義について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第13回	キュビスム、ダダイズム、シュールレアリスムについて検証し、講義する。		予習９０分：キュビスム、ダダイズム、シュールレアリスムについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第14回	抽象表現、構成主義について検証し、講義する。		予習９０分：抽象表現、構成主義について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第15回	抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ ２０世紀の美術についてのディスカッション、意見交換。	２０世紀の美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習９０分：抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。

教科書

使用しない。

参考書

西洋美術史（監修＝高階秀爾）

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
レポート・課題８０％、授業への参加度２０％

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回資料を配布する。
授業内でレポートや課題を課すことがあり、返却するするので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）

１号館１１１研究室で行う。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C211

講義コード	40490001
講義名	コミック・アニメ文化論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての雑誌掲載経験をもとに、マンガ・アニメの歴史や理論を、作品例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 三友 恒平	指定なし

授業の概要と教育目標

日本は、マンガやアニメーションの文化的レベルにおいて世界を圧倒的にリードし、特異な進化を遂げてきた。 日本以外のほとんどの国ではマンガやアニメの類は基本的に子供向けであり、大人のためのマンガが存在し、それを実際に大人が真剣に読んでいる国などと言うのは、我が国以外では他に余り例がない。
こうした状況がどのようにして生まれ、現在に至っているのかについて多角的に学んで行く。
また作品の理解を深めるため、歴史・作品の学習に並行して物語の組み上げ方の
基本学習を行う。
＊シラバスの内容についてはマンガ・アニメの最新情報、授業進行上の状況により変更する場合もある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アートデザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、国を代表する文化の一つとなり、世界的にも高い評価を受けているマンガやアニメーションについて学び、より広い知識を身につける事で理解を更に深めて行く。
また実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、コミュニケーション、伝達性の面から見て物語性の理解もまた有効な手段の一つである。その技術的な骨組みを理解することで深い考察能力を身につけ、物語性を各自の作品制作等にも取り入れることができ、多様な表現の幅を持ち社会のニーズや変化に対応できるアーティストを育成する事を目的とする。

到達目標

◯ 日本のマンガ・アニメが発達して行く過程と要因について理解できる。
◯ 手塚治虫に代表される作家達の作品への知識を深め、時代背景等を含む作家の意図を理解できる。
◯ 魅力的なキャラクターの制作意図、またストーリーの骨組み、それら必要な手順を理解できる。
◯ キャラクターやストーリー作りを、作品考察の補助とするとともに、自らも作り出すことができるようになる。

授業計画

	担			予習・復習と

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な時間
第1回	三友恒平	オリエンテーション 授業の概要について・評価方法について・その他留意点等	漫画体験実習。配布された四コマ漫画(ニコマ目まで記入済)の続きを考え、各自で記入し物語として完結させる。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第2回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か①		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第3回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か②	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第4回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か③	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第5回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ① ＋ 物語の文法 ①		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第6回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ② ＋ 物語の文法 ②		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第7回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ③ ＋ 物語論 プロップ31の機能 ①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
8	三友	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ	物語制作実習。配布されたプリント	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 90

第 回	恒平	④ ＋ 物語論 プロップ31の機能 ②	に書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	復習　 分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第9回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ⑤ ＋ 物語論 ヒーローズジャーニー ①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第10回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ⑥ ＋ 物語論 ヒーローズジャーニー ②	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第11回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑦ ＋ 物語論 ヒーローズジャーニー ③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第12回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑧ ＋ 物語論 ブレイク・スナイダー・ビート・シート ①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第13回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑨ ＋ 物語論 ブレイク・スナイダー・ビート・シート ②	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第14回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑩ ＋ 物語論 ブレイク・スナイダー・ビート・シート ③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第15回	三友恒平	まとめ 授業総括・レポート等について		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる

教科書
なし
参考書
著者・大塚英志 『ストーリーメーカー』 発行所・株式会社星海社
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 ※レポートの提出 100％ ※本授業はレポート提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また授業において資料を配布するので、漫画の歴史の再認識を行うとともに、キャラクターや物語の理解、制作に役立てること。
履修のポイント
授業内容をよく聞き、興味と表現の幅を広げること
オフィス・アワー
金曜日 16:30-16:40 9号館902教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C212

講義コード	40500001
講義名	現代アート論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

多様な素材、技法、概念を用いた現代アート作品が生まれる背景や、作品と社会の関係性に意識を向けることを念頭に、現代美術が担う役割や表現の可能性について考えることを、教育目標とする。授業では、スライド資料や映像を交えながら、時系列にこだわる事なく、国内外の著名なアーティストや話題の展覧会の事例を元に、現代のアートシーンを紹介してゆく。調整が可能な場合、アーティストの特別授業も予定している。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業はレポート提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代美術に関わるレポートの作成・提出を通し、対象の理解をもとにして表現するための知識、および選択した専門分野の知識、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識を修得することを目指す。

到達目標

学生は、授業を通して得た知識や刺激を、個々の制作活動にも幅広く役立てることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して	「アートとは何か」を自由に考え、意見を交換し、自分なりに定義する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
	大			予習：90分 興味のあるアーティスト

第2回	日向基子	国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して		をリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第3回	大日向基子	国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第4回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：身近なアーティスト）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第5回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：喪失、不在、記憶）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第6回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：人をつなぐ）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第7回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：身体）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第8回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：自然・環境）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第9回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：政治・社会・ジェンダー）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
				90

第10回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：マンガ、イラストレーション）		予習：　分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第11回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：アール・ブリュット）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第12回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：コンセプチュアル）		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第13回	大日向基子	教育、福祉、環境、地域との関わり、ギャラリー、オルタナティブスペースなどの紹介。		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第14回	大日向基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する。		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第15回	大日向基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する。	第1回目授業で各自が定義した「アートとは何か」を再考する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

アートとは何か（アーサー・C・ダントー著)、現代アートとは何か（小崎哲哉著）、ART since 1900(ハル・フォスター他）、人工地獄（クレア・ビショップ著）、視覚的無意識（ロザリンド・E・クラウス著)、アート・インダストリー～究極のコモデティを求めて（辛美沙著）、反美学～ポストモダンの諸相（ハル・フォスター編）、Art:Art in a New World（松井みどり著）、現代美術史（山本浩貴）、20世紀の美術（末永照和監修）、現代美術～ウォーホール以降（美術手帳編集部編）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を80%、授業への参加度20%として採点する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業の内容については随時質問を受け付けている。第１回目と第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。
履修のポイント
興味を持った作家や作品についてリサーチを行い、文献等の資料を収集すること。 日頃から美術に関する批評やコラムを読み、言語表現に関心を払うこと。
オフィス・アワー
火曜日 16:30-16:40 9号館902教室 その他授業前後
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C132

講義コード	40510001
講義名	映像論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

映像表現は、テクノロジーや制作環境の推移とともに、日々変化している。初期の映像玩具、映画黎明期及びアニメーション、メディア・アート、実験的な映像作品に触れつつ、近年の特徴ある映像作家や研究機関などについても言及する。さまざまなジャンルの映像作品を鑑賞することにより、楽しみつつ知識と理解を深めることを教育の目標とする。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業はレポートのデータ提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、映像に関するレポート作成・提出を通して、新たな角度から日常を取り巻く映像を見つめ直すきっかけを与えることを目指す。

到達目標

幅広い映像表現を知り視野を広げ、各自の作品制作に、新たな刺激として還元することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 写真が動画になるまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）	好みの写真、映像、映画等について話し合う。	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノー

				ト・資料で授業を振り返る
第2回	大日向基子	写真が動画になるまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第3回	大日向基子	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第4回	大日向基子	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第5回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第6回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第7回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授

				業を振り返る
第8回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第9回	大日向基子	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第10回	大日向基子	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第11回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第12回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第13回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

第14回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第15回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介	今まで紹介された作品の中から興味深いものについて、お互いの意見や感想を述べる。映像の歴史や今後の展望を考察しながらレポート作成に役立てる。	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

メディアアートの教科書（白井雅人、森公一、砥綿正之、泊博雅編）、芸術・メディアの視座〜映像と音楽を学ぶ人へのアート・スタディーズ（芸術メディア研究会編）、映像の修辞学（ロラン・バルト著）、映像論（港千尋著）、写真論（スーザン・ソンタグ著）、複製技術時代の芸術作品（ヴァルター・ベンヤミン著）メディアアートの世界〜実験映像1960-2007（伊奈新祐）、24フレームの映画学（北村匡平）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を80%、授業への参加度を20%として採点する。

課題等に対するフィードバックの方法

授業の内容については随時質問を受け付けている。第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

興味を持った映像作家や作品を各自リサーチすること、客観的視野を養うこと。

オフィス・アワー

月曜日 12:30-12:40 9号館902教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C250

講義コード	40520001
講義名	色彩学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所）に沿って授業を行う。本科目では、普段の生活にごく当たり前に溶け込んでいる色についての認識を新たにすると共に、その重要性や身近な活用例、配色テクニック、色の心理的側面、消費者が好む色等にも幅広く意識を向け、学生の色に対する興味関心を高めることを、教育の目標とする。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業は2回の中間テストの合計により成績評価を行い、定期試験は実施しない
※中間テストは授業で扱った範囲内から出題する

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、環境やコミュニケーションの側面から、人間の生活空間について多面的に理解することを目指し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得する。将来的な展望としては、色に関する興味・関心を引き出し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、積極的にカラーコーディネーションを活用する人材を育て、多様な社会のニーズ、変化に対応できる学修を目指すものとする。

到達目標

学生は、日々の生活をより豊かにするため、色の効果を楽しんで活用することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基	前提講義 Chap1 生活と色の効用 1)色の効用 2)色の違いで気分が変わる	パワーポイントスライドやカラーチャート、色画用紙等を用いて、色の性質についての意識を高める	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート

	子	3)色の基礎事項		等を見直す
第2回	大日向基子	Chap1 生活と色の効用 1)色の効用 2)色の違いで気分が変わる 3)色の基礎事項	パワーポイントスライドやカラーチャート、色画用紙等を用いて、色の性質についての意識を高める	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第3回	大日向基子	Chap2 色を自在に操る方法 1)色の分類 2)色の表示方法 3)色名と名前のつけ方 4)PCCS—色を操り、記録し、伝える手法(PCCS) 5)マンセル表色系ー色彩のプロが使う正確な色の伝え方		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第4回	大日向基子	Chap2 色を自在に操る方法 1)色の分類 2)色の表示方法 3)色名と名前のつけ方 4)PCCS—色を操り、記録し、伝える手法(PCCS) 5)マンセル表色系ー色彩のプロが使う正確な色の伝え方		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第5回	大日向基子	Chap3 きれいな配色をつくる 1)配色を知る 2)配色を使いこなす		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第6回	大日向基子	Chap3 きれいな配色をつくる 1)配色を知る 2)配色を使いこなす		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第7回	大日向基子	Chap4 色を美しく見せる光のマジック 1)光から色が生まれるしくみ 2)光から生まれる色の世界		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第8回	大日向基子	中間テスト1 Chap4 色を美しく見せる光のマジック 1)光から色が生まれるしくみ 2)光から生まれる色の世界		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第9回	大日向基子	Chap5 背景色を上手に使って色の見えを変えてみよう 1)色の見えを左右する基礎事項と色使いのポイント 2)色の効果を活用するために		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
				予習90分：

第10回	大日向基子	Chap5 背景色を上手に使って色の見えを変えてみよう 1)色の見えを左右する基礎事項と色使いのポイント 2)色の効果を活用するために		教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第11回	大日向基子	Chap6 色で売り上げをアップするために 1)消費者が選択する色とは 2)消費者に受け入れられる色を生み出すために		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第12回	大日向基子	Chap6 色で売り上げをアップするために 1)消費者が選択する色とは 2)消費者に受け入れられる色を生み出すために		予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第13回	大日向基子	対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第14回	大日向基子	対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第15回	大日向基子	中間テスト2 対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す

教科書

カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所編）

参考書

カラーコーディネータースタンダードクラステキスト&問題集（垣田玲子）、配色の教科書（城一夫・色彩文化研究会）、色の知識（城一夫）、カラーコーディネーター入門色彩（大井義雄・川崎秀昭）、色彩デザイン学（三井直樹・三井秀樹）、色彩学概論（千々岩英彰）、ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）、配色の計画（ジョセフ・アルバース・永原康史・和田美樹）ほか

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 第1回中間テスト50% 第2回中間テスト50%

課題等に対する
フィードバックの方法

教科書Chap1からChap6までの授業内容や対策問題、検定については、随時質問を受け付けている。中間テストは、採点して返却する。

履修のポイント

教科書を熟読すること。検定対策問題等で要点を理解し、問題形式や解答方法に慣れること。

オフィス・アワー
火曜日 14:50-15:00 16:30-16:40 9号館902教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C117

講義コード	40530001
講義名	インターンシップ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

企業・団体等で求められる下記項目を向上させることを、教育目標とする
・事前準備 ＝ 調査・書類構成能力
・現場研修 ＝ 技能・コミュニケーション能力
・報告会 ＝ プレゼンテーション能力
研修を通し、現場でなければ得られない知識と技術・コミュニケーション能力を習得する。また社会人に必須とされる書類におけるコミュニケーション能力を養う。

※定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、本科目では、学生が現場で求められるスキルや役割を臨機応変に把握し、主体的に対応することを目指す。

到達目標

社会で求められる能力を理解し、アート・デザインの活動に反映させることを到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	過去の研修例をもとに、実施計画と目標を設定する		予習：90分 興味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り
		アクティブ・ラー	キャリアデザイン： 自分のキャリアをデザインする上で、具体	予習：90分 興

第2回	柏木優希	ニング 企業・団体を選定、応募、提出書類作成	的にどのような行動が必要なのかディスカッションする。 自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。 最後にオリジナルメモを作成し提出する。 個別面談あり。	味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り
第3回	柏木優希	アクティブ・ラーニング 企業・団体を選定、応募、提出書類作成	企業研究： 研修希望分野の職種・業務内容ほか、企業での研修を遂行する上で具体的にどのような行動が必要かを分析する。 自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。 個別面談あり。	予習：90分 興味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り
第5回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第6回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第7回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第8回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第9回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第10回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第11回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第12回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第13回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第14回	柏木優希	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り

第15回	柏木優希	アクティブラーニング 報告書、レポート提出	実習成果報告会として研修内容をプレゼンテーションする。	予習：90分 実習成果報告会準備 復習：90分 実習成果報告会の振り返り

教科書
使用しない
参考書
使用しない（就職活動やマナーに関する資料を必要に応じて配布する）
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 各書類提出50%、企業からのフィードバック20%、授業への参加度30%
課題等に対する フィードバックの方法
アクティブ・ラーニングでの意見交換、書類作成や企業とのマッチングにおける個別指導、実習成果報告会でのプレゼンテーションに対する意見や感想、これらのフィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
提出書類が一定水準に達していない時は再提出とする。授業では積極性、主体性を重要視する。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C353

講義コード	40540001
講義名	学外研修
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインや芸術に関する分野は、時代と共に変化し続けている。こうした分野を学び志す者にとって、現状把握やリサーチ作業は非常に重要であり、社会の流れを読みとる力を養う必要性は高いと言える。本授業ではこうした点を踏まえ、美術館や作家のアトリエ、イベント等に出かけて、鑑賞及び分析作業を行っていく。実際に体験することにより、将来の自分のスキルアップや、これからのアート・デザインのあり方と可能性について模索し、考えるきっかけとすることが、本授業の教育目標である。
＊シラバスの内容については授業進行上の状況により変更する場合がある。（実施日程等の詳細については決定次第発表する）

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的に理解し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を深め、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を養う。事前のリサーチと、現場における実際の鑑賞を通して事後の記録にまとめる。こうした作業により、分析する力や客観的な評価能力を強化することを目的としている。また、そうした経験を今後の作品制作や研究活動に活かしていく。

到達目標

◯ 学生は、団体行動における個人の責任について意識を高めることができる
◯ 学生は、鑑賞力、分析力等を身につけられる
◯ 学生は、適確な事前リサーチと事後の資料作成能力を養うことができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義、事前指導、見学する施設・地域に関するリサーチ	質疑応答、意見交換	予習90分：美術関連施設リサーチ 復習90分：美術関連施設リサーチ

第2回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第3回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第4回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第5回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第6回	大日向基子	事前指導、見学する施設・地域に関するリサーチ	質疑応答、意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第7回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第8回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第9回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第10回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第11回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第12回	大日向基子	事後指導、レポートについての説明	質疑応答、意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第13回	大日向基子	レポート準備		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第14回	大日向基子	レポート準備		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
				予習90分：事前リ

第15回	大日向基子	レポート提出		サーチ 復習90分：事後リサーチ

教科書
使用しない
参考書
使用しない（必要に応じて関連資料を配布）
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 レポート60％ 授業への参加度40％ ※本授業は、現地での施設見学やワークショップ等への参加とレポート提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
事前事後指導、施設見学や展示の鑑賞等を通して得た体験や感想、美術館等で受けたレクチャーなどを、授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
交通費、入場料等は各自で負担。現地集合・現地解散が基本。見学、移動中の飲食は出来かねるため、食事は事前に済ませること。記録やメモを取ること。積極的な姿勢が望ましい。
オフィス・アワー
金曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C255

講義コード	40550001
講義名	卒業制作（松村/小松原/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	小松原 洋生	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
◯ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
◯ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第2回	〃	〃
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃	〃
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃	〃
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃	〃
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃	〃
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃	〃
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃	〃
第15回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃	〃
第17回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃	〃
		予習45分：制作の準備

第19回	制作	復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃	〃
第21回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃	〃
第23回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃	〃
第25回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃	〃
第27回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃	〃
第29回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃	〃
第31回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃	〃
第33回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃	〃
第35回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃	〃
第37回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃	〃
第39回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃	〃
第41回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃	〃
第43回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイ

		スをもとに内容を検証する。
第44回	〃	〃
第45回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	〃	〃
第47回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃	〃
第49回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃	〃
第51回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃	〃
第53回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃	〃
第55回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃	〃
第57回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃	〃
第59回	制作	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃	〃
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃	〃
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃	〃
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃	〃
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第68回	〃	〃
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃	〃
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃	〃
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃	〃
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃	〃
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃	〃
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃	〃
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃	〃
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃	〃
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃	〃
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	〃	〃
第89回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 最終確認	予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	〃	〃

教科書

使用しない

参考書

使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 完成度や取り組みを総合的に評価する。 ※卒制展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。
履修のポイント
卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 ２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。
オフィス・アワー
専任教員については基本的に開いている時間は、いつでも可。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R375

講義コード	40550002
講義名	卒業制作（大日向/吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教 員	吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
◯ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
◯ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	〃		
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		
			予習45分：制作の準備

第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		
第33回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		
			予習45分：制作の準備

第35回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	〃		
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		
第53回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		
			予習45分：制作の準備

第55回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		
	各専門分野の教員と展示内容、方		予習45分：制作の準備

第75回	法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％
※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象

とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

月曜日 12:30〜13:20 各コース担当の専任教員の研究室
松村：111研究室／佐野：121研究室（イラストレーション・絵画）
大日向：123研究室（マンガ・コミックイラスト）
小松原：124研究室（グラフィックデザイン）
山本：131研究室（インテリア・空間デザイン）
寺村：122研究室（ファッション・造形）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40550003
講義名	卒業制作（小松原/三関/柏木）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし
教 員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
◯ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
◯ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	〃		
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		
			予習45分：制作の準備

第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		
第33回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		
			予習45分：制作の準備

第35回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	〃		
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		
第53回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		
			予習45分：制作の準備

第55回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		
	各専門分野の教員と展示内容、方		予習45分：制作の準備

第75回	法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％
※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象

とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

月曜日 12:30〜13:20 各コース担当の専任教員の研究室
松村：111研究室／佐野：121研究室（イラストレーション・絵画）
大日向：123研究室（マンガ・コミックイラスト）
小松原：124研究室（グラフィックデザイン）
山本：131研究室（インテリア・空間デザイン）
寺村：122研究室（ファッション・造形）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40550004
講義名	卒業制作（石井智/村松）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 石井 智子	指定なし
教 員	村松 恵	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。 卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業 全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。 2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力し て卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。 1）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解 している。 2）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能 を修得している。 3）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に 対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

◯ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめることができる
◯発表に充分耐え得るレベルの作品の内容・完成度である
◯卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等 ついても検討することができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	オリエン テーショ ン (卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。卒業制作計画表の提出)	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：授業内でのアド バイスをもとに内容を検証する
第2回	同上	上記参照
第3回	アイデア決定期間 （卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する)	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	同上	上記参照
第5回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	同上	上記参照
第7回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回		上記参照
第9回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回		上記参照
第11回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	同上	上記参照
第13回	制作期間 （ 作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	同上	上記参照
第15回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。。
第16回	同上	上記参照
第17回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのア

		ドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	同上	上記参照
第19回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	同上	上記参照
第21回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	同上	上記参照
第23回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	同上	上記参照
第25回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	同上	上記参照
第27回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	同上	上記参照
第29回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	同上	上記参照
第31回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	同上	上記参照
第33回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	同上	上記参照

第35回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	同上	上記参照
第37回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	同上	上記参照
第39回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	同上	上記参照
第41回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	同上	上記参照
第43回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	同上	上記参照
第45回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	同上	上記参照
第47回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	同上	上記参照
第49回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	同上	上記参照
第51回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を

		検証する。
第52回	同上	上記参照
第53回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	同上	上記参照
第55回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	同上	上記参照
第57回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	同上	上記参照
第59回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	同上	上記参照
第61回	全体中間チェック （展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	同上	上記参照
第63回	制作期間 （各専門分野の教員と展示内容方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	同上	上記参照
第65回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	同上	上記参照
第67回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	同上	上記参照
		予習45分：自身の作品ア

第69回	同上	イデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	同上	上記参照
第71回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	同上	上記参照
第73回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。。
第74回	同上	上記参照
第75回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	同上	上記参照
第77回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	同上	上記参照
第79回	卒業制作展準備 （各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	同上	上記参照
第81回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	同上	上記参照
第83回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	同上	上記参照
第85回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第86回	同上	上記参照
第87回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	同上	上記参照
第89回	卒業制作展準備 最終確認 （各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品評価80%、取り組みの姿勢20% 定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

履修のポイント 卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨 む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 16：30-18：00（122研究室）
石井：木 9：20-16：30、（105教室）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40550005
講義名	卒業制作（及川/峰岸/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 及川 澄人	指定なし
教 員	峰岸 康之	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
◯ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
◯ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	〃		〃
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		〃
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		〃
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		〃
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		〃
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		〃
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		〃
			予習45分：制作の準備

第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		〃
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		〃
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		〃
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		〃
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		〃
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		〃
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		〃
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		〃
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		〃
第33回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		〃
			予習45分：制作の準備

第35回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		〃
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		〃
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		〃
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		〃
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		〃
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	〃		〃
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		〃
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		〃
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		〃
第53回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		〃
			予習45分：制作の準備

第55回	制作		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		〃
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		〃
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		〃
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		〃
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		〃
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		〃
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		〃
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		〃
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		〃
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		〃
	各専門分野の教員と展示内容、方		予習45分：制作の準備

第75回	法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習　分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		〃
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		〃
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		〃
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		〃
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		〃
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		〃
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		〃
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		〃

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％
※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象

とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

月曜日 12:30〜13:20 各コース担当の専任教員の研究室
松村：111研究室／佐野：121研究室（イラストレーション・絵画）
大日向：123研究室（マンガ・コミックイラスト）
小松原：124研究室（グラフィックデザイン）
及川：131研究室（インテリア・空間デザイン）
寺村：122研究室（ファッション・テキスタイル）
柏木：125研究室（グラフィックデザイン）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40560001
講義名	教師論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容（研修、服務及び身分保障を含む）について理解するとともにこれからの教師に求められる役割とそれに応えるために必要な資質・能力の具体を述べたり、主要な教育法規の規定に基づいて教員としての職務遂行上に生じる諸問題への対応を述べたり、教職を目指すための進路の具体を説明したりすることができるようになる。「教育は人なり」という言葉が示すように、教育の成否は教師にかかっているといっても過言ではない。教職は児童生徒の人格形成に深く関わる仕事であるから、その責務をしっかり果たす必要がある。

本授業の教育目標は、
１．教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べるられるようになる。
２．教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
３．進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会環境と教育の現状、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考える教師、社会人としての資質・能力を養う。

到達目標

本授業の到達目標は、
１．教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べることができる。
２．教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
３．進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	教職に就くとい	教師という職業について各自の考え	予習90分：教師という職業について各自が考えてくる。

第1回	うこと	を発表する。	復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第2回	学校教育の意義	学校で行われている教育について各自の経験を元に考えを発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第3回	教師の魅力	教師の魅力とは何か各自が今まで出会った教師から考えて発表をする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第4回	教師をめぐる現状と課題	教師という仕事はブラックだと言われたりすることもあることから教師の現状について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第5回	教師の地位と育成システム	教師は他の職業と違い子ども達に与える影響も大きくその立場の保証、育成について考えを発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第6回	保護者・地域との連携と教師の役割	学校は地域や保護者との連携が何故必要なのかを考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第7回	教員の身分と服務及び倫理と校務分掌	教師には研修の義務が課されている事の意義と含む上の倫理について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第8回	子どもの権利条約と教師の使命・人権教育	教育において子どもの毛管理はどのように扱われているのか、保証すべきかについて各自の意見を発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
			予習90分：この回のテーマについてあらかじ

第9回	教師のライフワークバランスとメンタルバランス	教師の働き方改革が進められようとしていることと教師の生活について考える。	め調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第10回	カリキュラムを創る、授業をデザインする	教師が行う授業とその根拠となるカリキュラムについて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	放課後における子どもの教育活動との連携	放課後の児童クラブ、寺子屋といわれる放課後の子どもの育成活動との連携について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	生徒理解とチーム学校について	生徒を理解するとはどういうことかこ各自の今までの学校生活を踏まえて意見を発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	新しい時代における教師の役割と責務	Society5.0という時代を迎えるに当たって教育の変化と教師の役割の変化について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	教師としての発達とその支援	子どもの発達を促す教師も日々成長していかなければならないのはどうしてか考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第15回	授業の振り返り	授業で学んだことは何か、教師とは何かについて各自の考えを発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、授業内容の理解を深め、まとめる。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書

高橋陽一『チーム学校の教師論』武蔵野美術大学出版局、2021年
中嶋みさき・中井 睦美編著『やさしく学ぶ教職課程 教師論 （第二版）』学文社、2022年

髙妻紳次郎ほか『新版 教職概論 先生になるということとその学び』協同出版、2023年

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業への取り組み姿勢（リアクション・ペーパー、口頭発表等）50% レポート50%

課題等に対する
フィードバックの方法

講義中に適宜行う。

履修のポイント

教職の意義、教員の役割とその職務内容、チーム学校等にポイントをおく。
受講生の興味・関心により順序等入れ替わることがある。

オフィス・アワー

授業終了後に、教室等にて質問をお受けするか、都合の良い日時を相談し後日対応いたします。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C430

講義コード	40570002
講義名	教育原論・教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、教育課程・カリキュラムの意義と類型を理解した上で、基準となる学習指導要領の改訂の流れとその位置づけ、学習指導要領の構成、特徴と現代的課題について考察するとともに①わが国の教育を成り立たせている思想や制度について、歴史的な展開も踏まえて学ぶことで、教育について学問的知識に裏打ちされた議論を行う基礎を築くと共に、②学生同士の意見交換や議論を行うことによって、教育に関する各人の考えを深めていくことを目指す。教育に関しては、自らの被教育経験などを通じて、ある一定の考えをすでに持っている人も多いと考えられるが、教育学の知見や他者の意見に学ぶことで、そうした考え方を批判的に問いつつ、教育を論ずる上での土台を構築することを目指す。授業では毎回のテーマに関わる様々な問いについて考えながら、教育の理念や歴史・思想についての理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会環境と教育の現状、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考える教師、社会人としての資質・能力を養う。

到達目標

1)教育の基本的な概念や教育を成り立たせる諸要素とそれらの相互関係を理解する
2)教育の歴史や思想に関する基本的な知識を身につける
3)自らの教育観（教育とはどのようなもので、どうあるべきかについての考え）を述べることができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育観を考える～自身の受けてきた教育について振り返りを通して～	今までの学校での教育について各自の体験を元に発表する	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

第2回	日本の教育の歴史 ① ～大正自由教育～	明治から大正へと時代の変化とともに大正時代での教育の特徴について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第3回	日本の教育の歴史 ② ～国家主義教育と戦後教育改革～	戦争前及び戦争中の教育と戦後の教育の変化について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第4回	日本の教育の歴史 ③ ～産業化社会とポスト産業化社会～	１９６０年代、７０年代の教育とそれ以降の９０年代の教育違いについて発表ができる。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第5回	学校を考える ① 近代公教育制度の成立とその理念	公教育制度の成立とその理念について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第6回	学校を考える ② 学校化社会	「学校化社会」とは何を表しているのか自らの生活を元に考え発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第7回	学校を考える ③ 現代の公教育を考える	現代における公教育の役割について自ら受けてきた教育を振り返りながら考えたことを発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第8回	教育課程をどう編成するか ～ 教育課程編成の構成要件～	教育課程とは何か、どうして編成しなければならないのかを考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第9回	教育課程をどう評価するか	教育課程を作成と実践とは切っても切り離せないこととその評価について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を

			深める。
第10回	教育課程をめぐる問題 ① 教科横断的な教育課題「言語活動の充実」	「言語活動の充実」とは何か、教科横断的とは何かをグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	教育課程をめぐる問題 ② 教科横断的な教育課題「活用を図る学習活動」	「活用を図る学習活動」と教科横断的とのつながりについてグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	教育課程をめぐる問題 ③ 教科横断的な教育課題「学習スキルの育成」	身に付けなければならない「学習スキル」について教科横断的との関係つについてグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	小学校と中学校の教育課程の違いと接続	小学校、中学校のつながりと中１ギャップを防ぐ方法について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	ICTとカリキュラム	学校教育においてＩＣＴ活用による教育効果について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第15回	まとめ ～改めて教育観を考える ～	授業を受けて最初に持っていた「教育観」がどのように変化したのか発表する	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

教科書

プリントや資料を配布する。

参考書

児玉祥一・佐藤光友・奥野浩之編著『考えを深めるための教育課程』ミネルヴァ書房、2023年
『中学校学習指導要領』
講義中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業への取り組み姿勢（リアクション・ペーパー、口頭発表など）50% レポート50%

課題等に対する フィードバックの方法
講義中にフィードバックを行う。
履修のポイント
教職科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べることだけでなく、自分以外の他の学生たちの意見、考えを理解する姿勢で授業に臨むことが大切である。 受講生の興味・関心により順序等入れ替わることがある。
オフィス・アワー
授業終了後に、教室等にて質問をお受けするか、都合の良い日時を相談し後日対応いたします。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C410

講義コード	40580001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動やスクールカウンセラーの経験を基にして、より具体的な児童生徒理解に関する授業を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれてるのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から、教職実践の基盤となる学修を目指すものとする。

到達目標

１．教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解できる。
２．青年期までの人の発達過程とその特徴について理解できる。
３．学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解できる。
４．「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシュミレーションする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習90分：教科

第1回	オリエンテーション 教育心理学の概要／研究法	教育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。よい授業とは何かについて、心理学における教育心理学の位置づけについて考える。	書pp.14-23を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	発達のしくみと道筋 人間の心と体はどのように変化していくのか。 さらに発達を促進する「遺伝」と「環境」の要因について考究する。	発達を促進する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.24-42 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	認知の発達 論理的な思考が可能になる道筋	抽象的な思考ができるようになるための学校教育の役割は何かについて意見交換する。	予習90分：教科書pp.43-58を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	人間関係と社会性 子どもは人間関係の中でどのように成長するのかについて取り上げる。	愛着が発達に及ぼす意義について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書60-78を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	さまざまな学習理論① 刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングについて理解する（12・13・14回目で行う模擬授業の展開の仕方について理解する）。	予習90分：教科書pp.80-94を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	さまざまな学習理論② 記憶、思考を取り上げる。	記憶のメカニズムを理解することで、どのように教授するのがよいのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.95-110を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第7回	動機づけ 学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上	やる気を高めたり維持するためには何が必要なのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり	予習90分：教科書pp.112-127を読む。 復習90分：

	に必要な事項について取り上げる。	深めたりする。	小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	学習指導と教育評価 学習方法や評価の種類について取り上げる。	学習指導方法や教育評価の目的方法について理解する。	予習90分：教科書pp.129-154を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す
第9回	学級集団 集団形成や教師のリーダーシップやバイアス等について取り上げる。発達を促す集団の力は教師の働きかけによるところが大きいことを理解する。	望ましい学級集団を形成するために教師が気を付けるべきことについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.156-172を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	自己とパーソナリティ 自分という認識がどう発達するのか。 パーソナリティの基本的な考え方。 自己理解のための心理検査。	自己に関する理解について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.174-188を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	学校不適応および障がいの理解 学校における適応と不適応、さらに発達障がいの種類や特徴の理解について取り上げる。	児童生徒のつまずきやすさについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.189-206を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	模擬授業①	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第13回	模擬授業②	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
		授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシュミレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当	予習90分：模擬講義資料作り。

第14回	模擬授業③	者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	授業のまとめ 確認テスト	まとめ及び学校で活かす臨床心理学	予習90分：これまでの小テストを見返す。 復習90分：模擬授業の振り返りを生かした授業案を作成してみる。

教科書

櫻井茂男監修 『実践につながる教育心理』 北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40%、
レポート・課題30%、
模擬授業・授業への参加度30% を総合して評価します。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

レポートは返却するので学習の参考にすること。
小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、主に配布資料・ノートのまとめを勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C412

講義コード	40590001
講義名	美術科教育法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校、高等学校 美術科の講師経験を活かし、現場での実践に役立つ授業展開を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 奥西 麻由子	指定なし

授業の概要と教育目標

中学校美術科の意義、目的、内容を概観する。その際歴史的背景、学習指導要領の展開を踏まえ、今日の美術科で必要な要素を検討していく。授業の後半では、学習指導案の書き方を学び、実際に指導の計画を立て、それにともなった授業が展開できるようにする。
教育目標
①美術科の意義と目的の理解
②教育内容の理解
③授業構想の実践

卒業認定・学位授与の方針との関連

教育現場で美術教諭として活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。

到達目標

中学校美術科の意義と目的を理解すると共に、教育内容・方法について学ぶことを通して、美術科の授業を自分なりに構想し、実践することが出来るようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	奥西麻由子	ガイダンス（授業の概要）		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第2回	奥西麻	美術科の意義と目的（なぜ学校教育で美術を学ぶのか、その意義と目的につ		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作

	由子	いて考える）		成
第3回	奥西麻由子	学習指導要領の変遷と概説（目標と内容の把握、その変遷を概観する		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第4回	奥西麻由子	美術科の内容と指導①（絵画（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第5回	奥西麻由子	美術科の内容と指導②（立体（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第6回	奥西麻由子	美術科の内容と指導③（デザイン（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第7回	奥西麻由子	美術科の内容と指導④（工芸（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第8回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑤（映像メディア表現（ワークシートをもとに検討）およびICTの活用について）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第9回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑥（鑑賞（ワークシートをもとに検討、演習含む）		予習90分：教科書（鑑賞領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第10回	奥西麻由子	美術科における教師の役割、評価の観点と方法（教師の支援の在り方について、評価方法とその観点）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：ワークシート作成
第11回	奥西麻由子	学習指導案の作成①（題材設定、ねらい、導入、展開、まとめまで）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：指導案作成
第12回	奥西麻由子	学習指導案の作成②（①の修正及び効果的な授業のための改善検討）		予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
	奥			

第13回	西麻由子	模擬授業①	模擬授業演習	予習　分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
第14回	奥西麻由子	模擬授業②	模擬授業演習	予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
第15回	奥西麻由子	模擬授業③ 授業のまとめ	模擬授業演習	予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成

教科書

「中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月―平成29年告示」文科省 日本文教出版、2018

参考書

福田隆眞 ・茂木一司・福本謹一『美術科教育の基礎知識』建帛社、2010

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
提出物（ワークシート 50%、指導案 25%）、模擬授業25%。再試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

ワークシートを毎回だしますので、復習として行ってもらいます。また、提出されたワークシートは個別に添削等を行い、内容理解をはかります。

履修のポイント

主体的に学ぶ姿勢を望みます。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C431

講義コード	40600002
講義名	道徳理論・指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校の教員として数年間にわたり勤務し、クラス担任を担当した経験がある。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

道徳教育の歴史、その意義と役割を理解しつつ、学習指導案作りを実践する。他の教科との連携を踏まえ、教育実習の場でしっかりと道徳の授業ができる教育力を養うものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

道徳、総合的な学習の時間等の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目で、アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」していることを踏まえつつ、小・中学校において、自分から進んで多面的な授業テーマを探り、それを実際に道徳の授業のなかで生かせるようにする。

到達目標

小・中学校において実施される道徳教育の位置づけや意義、教育目標、内容について理解し、説明することができる。指導方法や評価方法について理解し、説明できる。これら２点を教育目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	道徳教育の定義と、人格の完成に欠かせない道徳教育の意義を理解する。		復習９０分。最近の道徳についての記事を調べる。
第2回	橋爪博幸	道徳教育の歴史を知る。	今日の日本や国際社会での道徳教育の課題について考える。	予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第3回	橋爪	成長の各段階における人間の道徳性の発達と開花（学年に適した教材に関		予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。学習

	博幸	する考察を含む）のプロセスをたどる。		指導要領を事前に読んでおく。
第4回	橋爪博幸	学習指導要領に記された道徳教育の内容と教育目標（多様な指導方法の理解を含む）を知る。		予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第5回	橋爪博幸	学習指導計画と、教育活動全体のなかでの道徳教育の位置づけを理解する。		予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表の大筋を決める。
第6回	橋爪博幸	道徳の授業の指導案を作成する。	道徳の授業目標の設定し、授業プログラム案（学習指導案）の作成と発表を行う。	予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表資料づくりを行う。
第7回	橋爪博幸	個々の児童・生徒における道徳教科の評価方法を知る。		予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。最近の道徳についての記事を調べ記事と概要と感想を書いてレポートにまとめ提出する。
第8回	橋爪博幸	学生による模擬授業の実施と、そのふり返り（学生による自己評価を含む）を行う。		復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。作成した各自の指導案、発表資料等を提出する。

教科書

授業時にプリントを配布する。

参考書

小寺正一・藤永芳純『三訂道徳教育を学ぶ人のために』世界思想社、2009年
「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示 文部科学省）
「小学校学習指導要領解説」「中学校学習指導要領解説」にある「特別の教科道徳」（平成29年6・7月告示 文部科学省）

成績評価の方法・基準

１００点満点中、６０点以上で単位を認定する。道徳教育に関するレポート（６０％）、各時間のふり返りシート（２０％）、模擬授業の発表（２０％）で評価する。

課題等に対するフィードバックの方法

課題のレポートに、コメントを入れて後日、返却する。補足説明があるときは、授業内で提示し、または印刷して配布してフィードバックとする。

履修のポイント

授業回数が８回のみであるから、休まず出席すること。なお授業時間以外に、補講を実施することがある。そのときには模擬授業のアクティブラーニングを実施する。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーの時間とする。質問等を受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C432

講義コード	40610002
講義名	教育方法・特別活動の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校での教員経験を活かし、理論と実践について幅広く知識を深めていく授業を展開する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

限られた時間内に教育が行われる学校では、指導上の効果を高めるため、教育方法について理解し研究することがとりわけ肝要である。被教育者の知識・技術の習得をより効果的なものにし、さらに生徒の自主的・創造的な学習を発展させるうえで、教員を目指す者にとって教育方法の学習は、以前にも増して重要性が高まっている。この授業では、教授ないし学習指導と呼ばれている事柄を中心に取り扱う。また、教育に対するICTの利用法や教育評価についても、教育方法にとって不可欠な分野として、一部、取り上げる。
一方で、特別活動は、構成の異なる集団での活動を通して学校生活を捉え、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動である。
そこで、この授業では、学校教育の中で行われる、指導の効果を高めるための方法について理解し研究することを目標とし、学習指導要領に則しながら、特別活動の各活動の内容や指導方法など事例を通して検討していく。
また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のDP「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。」と、教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「教育方法及び技術」と「特別活動の指導法」に該当している。

到達目標

・教育方法の基礎理論、方法、技術について理解する
・各種メディアの教育における利用方法を理解し、活用できる
・教育評価の理論と応用について理解する
・学習指導要領における特別活動の意義を理解する
・特別活動の指導の在り方を理解する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習90分：教科書

第1回	求められる学力とは何かを検討し、学校教育と学習指導要領の基本理念について考える 課題：指導案（細案）の作成とその意図の発表		第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の作成
第2回	教育方法の基礎理論について		予習90分：教科書第2～4章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の相互評価
第3回	具体的な指導技術の問題点を確認し、代表的な方法と留意点をみる 学習者が意欲的に学ぶにはどのような工夫が必要か考える		予習90分：教科書第5～9章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第4回	学習における評価の意味について考える		予習90分：教科書第12章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第5回	各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう （受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります）	指導案の発表・検討	予習90分：指導案の発表資料作成 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第6回	学習指導要領における特別活動の意義と内容について検討する		予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第7回	学級活動・生徒会活動・学校行事の目標とその内容について事例を通して考える（小学校・高等学校との違いを踏まえながら）	グループワーク：特別活動の指導案	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第8回	特別活動における指導方法および評価について検討する	グループ発表：特別活動の指導案の発表	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載

教科書

『新しい教職教育講座 教職教育編 教育の方法と技術』（篠原正典・荒木寿友 編著）ミネルヴァ書房
中学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編（平成29年7月）文部科学省

参考書

「教育の方法と技術 Ver.2 IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び」稲垣忠（北大路書房）「インストラクショナルデザインの道具箱101」鈴木克明監修（北大路書房）「特別活動」中村豊・原清治編著（ミネルヴァ書房）など適宜紹介する

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。毎回の課題とその取組（40%）、指導案発表（30%）、課題レポート（30%）を総合的に評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業では課題を課します。それらは相互に評価することがあり、その結果をMoodleを通して、個別もしくは全体にコメントしますので、参考にしてください。
履修のポイント
授業日程についてはしっかり確認し、遅刻・欠席がないように注意してください。 また、受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります。 授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。 欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。 課題は必ず提出すること。
オフィス・アワー
金曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C451

講義コード	40611001
講義名	教育とICT活用
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

Society5.0時代の教育において、教員がICT機器を効果的に使いこなし、生徒一人一人の個性や能力に応じた授業を実践するために必要な事柄を中心的に取り上げる。まず学校教育を取り巻く現状とこれからの教育について考え、次にICTを活用した授業の解説や事例紹介などをもとにその効果と意義を理解し、効果的な学習指導そして生徒の情報活用能力の育成について考える。また教育データを活用した学習評価や校務における活用なども説明する。
そこで、学生自身がICTを活用して体験的に学ぶことで、自分の授業計画にどのようにICTを活かしていけばよいか考える機会となることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のDP「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。」と、教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に該当。情報通信技術（ICT）を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方、生徒の情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法について考える

到達目標

・教育現場でICTを活用する意義・理論を理解する
・ICTを活用した学習指導や校務について理解する
・生徒の情報活用能力育成のための指導法を理解し、身につける

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Society5.0時代の教育とICT活用 学習指導要領などをもとにICT活用の意義を考える	グループでICT活用指導について討議	予習90分：教科書第1～5章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
	個別最適な学びとICT	デジタル教科書のメリッ	予習90分：教科書第8～13章を熟読するこ

第2回	学習者や学習場面に応じた教材の作成や利用法について考える	ト・デメリットの検討	と 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第3回	学習指導のためのシステム 学習場面等に応じたシステムの利用について理解する	学習支援システムによる教材作成演習	予習90分：教科書第8～13章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第4回	ICTを活用した指導法 ICTを活用した授業計画について検討する	グループで、ICTを活用した授業計画を検討する	予習90分：教科書第8～13章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第5回	生徒によるICT活用 各教科等における生徒の情報活用能力の育成と情報モラルについて	グループで、ICTを活用した授業計画を検討する	予習90分：教科書第16～21章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第6回	ICTを活用した指導の実践 グループでICTを活用した授業を実践する	グループで、ICTを活用した授業を実践	予習90分：教科書第16～21章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第7回	校務の情報化と教育データの活用 スタディ・ログの活用と評価、校務の情報化を考える		予習90分：教科書第4・8・13・14章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第8回	特別支援におけるICT 特別な支援を必要とする生徒に対するICT活用の意義を考える	特別支援におけるICTの活用方法について調べ、発表	予習90分：教科書第6章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載

教科書

ICT活用の理論と実践 DX時代の教師をめざして（稲垣忠、佐藤和紀 編著、北大路書房）

参考書

授業中に適宜資料を配布する

成績評価の方法・基準

レポート（60%）、毎回の授業についての振返り小レポート（40%）

課題等に対するフィードバックの方法

授業では課題を課します。それらは相互に評価することがあり、その結果をMoodleを通して、個別もしくは全体にコメントしますので、参考にしてください。

履修のポイント

遅刻・欠席がないように注意してください。
授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。
欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。
課題は必ず提出すること。

オフィス・アワー

火曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。

科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C433

講義コード	40611002
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験を活かして実践力を育成する授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。
１．特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
２．特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
３．さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
４．障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
５．特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもについて学ぶことで「人間の生活空間」についての多面的な理解を目ざす。
また、特別支援教育の理解を通して、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術の修得を目ざす。

到達目標

１．履修学生が特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状について説明できる。
２．履修学生が障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画を作成し、評価することができる。
３．履修学生がさまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	小	「特別支援教育の考え方、制度と仕組み」障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復

第1回	林徹	援教育の基礎概念、特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。		習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第2回	小林徹	「障がいとの出合いと子育て、保護者支援」保護者と障がいとの出合いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	小林徹	「障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい」映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	小林徹	「障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい」肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	小林徹	「障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ」病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	小林徹	「他機関との連携、幼保小中高の接続」障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	小林徹	「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用」子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	特別な教育的ニーズを有する児童の個別の指導計画を作成し、発表する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	小林徹	「特別支援教育のこれまでとこれから」特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 試験（35%）、毎回提出する小レポート（50%）、最終レポート（15%）
課題等に対する フィードバックの方法
レポートについては内容をチェックして授業内でフィードバックする。
履修のポイント
障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C450

講義コード	40620002
講義名	生徒指導・進路指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもたちを取り巻く情況は、社会の変化に呼応するかのように多様な問題を内包している。不登校・いじめ（いじめ自殺）・ネットトラブル・引きこもり、将来の不透明さなどがあげられる。これらに対応することを前提として、①生徒指導とはなにか、②生徒指導が担うべき役割はなにか、③生徒指導において教師が備え持つべき資質はなにか、について考える。そして、具体的問題を取り上げながら、これらへの対応について共同で考える。
進路指導は、キャリア教育の観点に立ち、①進路指導の意義と指導の方法は何か、②生徒が抱える個別の課題に即しながら「自分を生かす進路選択」とは何かについて共同で考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な生活空間そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高めることを目指し、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。
進路指導は、児童及び生徒が、将来の進路を選択し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸張するように、組織的・継続的に指導・支援する教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。この進路指導・キャリア教育に必要な知識や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育課程における生徒指導の位置付		予習90分：教育に関する事象について調べる。復

	けについて理解する。		習90分：配付資料を見直す。
第2回	生徒指導について集団指導と個別指導の実態を踏まえ、その方法原理を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	基礎的な生活習慣の必要性と規範意識が培われる指導について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	校則の実態を学びながら、なぜ校則が存在し、なぜ必要であるかについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	体罰の実態を学びながら、体罰禁止の根拠と懲戒について学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	いじめ（いじめ自殺）についての視聴覚教材を用いて、いじめについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けについて学ぶ。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	進路指導の歴史及びキャリア教育の概念を学び、その発展の方向性を確認する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
			予習90分：教育に

第12回	職業についての体験活動を中心に、進路指導・キャリア教育の意義を学ぶ。		関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	中学校段階における進路指導・キャリア教育の考え方とポートフォリオ作成。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第１３回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	第１３回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	高校時代までに経験してきた生徒指導・進路指導と本授業を通して学んだ内容を比較検討し、改めて生徒指導・進路指導のあり方について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『生徒指導提要』（令和４年）『小学校学習指導要領』（平成29年）
『中学校学習指導要領』（平成29年）
岩城孝次・森嶋昭伸『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房
適宜、資料を配付する。

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C434

講義コード	40621001
講義名	総合的な学習の時間の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 歓	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と目標：「総合的な学習の時間」の概要や指導方法について扱う。探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けることを到達目標とする。「学習指導要領」や具体的な教育実践例の研究などを通じて、今日的な教育課題を踏まえた創造的な教育実践を可能とする指導法の基礎を養う。
授業の方法：担当教員による講義と、アクティブ・ラーニングとしての小グループによる意見交換、指導計画のグループ発表などを有機的に組み合わせ、効果的に授業を行う。授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
準備学習の内容：本科目では、授業への参加は言うまでもなく、授業外での準備学習が重要となる。各回の授業の復習のほか、配布プリントの予習、さらにレポート作成の課題などについては、受講者各自による授業外での主体的な取り組みが求められる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

以下に掲げる本学アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーのもと培われるアート・デザイン分野の専門性と、教職課程で培われる教職の専門性をあわせ持って、学生の個性・適性に応じて社会で活躍することのできる専門家・市民の育成を目指す。
【アート･デザイン学科】
1. 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
2. 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
3. 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

上記「授業の概要と教育目標」欄に記載した内容のうち、次のことが到達目標となる。「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動

の評価に関する知識・技能を身に付けること」。このことを学生視点の到達目標として簡潔に表現すれば以下の通りである。
(1)「総合的な学習の時間」の意義・目標・内容について説明することができる。
(2)「総合的な学習の時間」の指導・評価に関するレポートを作成し、効果的なグループ発表とそのふり返りができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	櫻井歓	授業内容：開講にあたって（ガイダンス、受講者の「総合的な学習の時間」体験のふり返り） 方法：講義とアクティブラーニング 課題：本科目の授業について見通しをもつとともに、学生自身の「総合的な学習の時間」体験についてふり返る	小グループによる「総合的な学習の時間」体験のふり返り、小レポートの作成	復習：授業プリント・ノートの読み直し、時事的な教育問題の情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用）（予習・復習を含めて180分程度）
第2回	櫻井歓	授業内容：教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の意義と役割について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用） 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第3回	櫻井歓	授業内容：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間 方法：講義とアクティブラーニング 課題：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間に関する記述について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第4回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（１）主体的・対話的で深い学び 方法：講義とアクティブラーニング 課題：近年の教育改革のキーワードとされている「主体的・対話的で深い学び」について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成・提出準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
	櫻	授業内容：総合的な学習の時間の指導（２）各教科などとの発展的な関連性 方法：講義とアクティ	小グループによる意	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集

第5回	井歓	ブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間と各教科などとの関連性について知識を得る、(b)中間レポートを提出する	見交換、小レポートの作成とフィードバック	復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第6回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（３）年間指導計画と単元計画 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の年間指導計画と単元計画について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第7回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（４）教育実践例の研究 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の教育実践例について知る、(b)中間レポートに基づく指導計画をグループで発表する	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック、グループワークによる指導計画の発表	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、指導計画の発表準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第8回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の評価、授業のまとめと筆記試験 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の評価について知識を得る、(b)最終回の授業時間の一部で筆記試験を受験する	小レポートのフィードバック、小グループでの感想交流	予習・復習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、これまでの授業内容を復習して筆記試験への準備を行う（予習・復習を含めて180分程度）

教科書

池田考司・杉浦真理・教育科学研究会[編著]『みんなでつくろう！ SDGs授業プラン』（旬報社、2022年）

参考書

「中学校学習指導要領」（文部科学省、平成29年3月）
「高等学校学習指導要領」（文部科学省、平成30年3月）
「中学校学習指導要領解説」特別活動編、総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省）
「高等学校学習指導要領解説」特別活動編、総合的な探究の時間編（平成30年7月 文部科学省）
関川悦雄・今泉朝雄[編]『特別活動・総合的学習の理論と指導法』（弘文堂、2019年）
高橋陽一[編]『総合学習とアート』（武蔵野美術大学出版局、2019年）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業への出席を前提条件として、中間レポート（40％）と筆記試験（60％）により評価する。なお、授業への積極的な取り組み（指導計画の発表など）を加味する場合がある。

課題等に対する

フィードバックの方法
(a) 授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。 (b) 各自で作成した中間レポートをもとにグループで総合的な学習の時間の指導計画を作成し、発表会を行う。担当教員より指導計画のグループ発表について講評を行う。
履修のポイント
専門職としての教職の資格取得のための科目であるため、単位認定は厳格に行う。学生諸君には教員免許状取得に向けての意欲と覚悟を持って受講していただきたい。
オフィス・アワー
授業終了後に教室にて質問・相談などを受け付ける。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C470

講義コード	40630001
講義名	教育相談
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育センター教育相談部やスクールカウンセラーの経験を活かし、教育相談に臨むにあたって必要な姿勢や在り方を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

児童・生徒の発達の状況等一般的理解の意義と手法を学びながら、個々の心理的特質や教育的課題を捉える個別的理解について学習する。その際、教育相談の技術として、カウンセリングに関する基礎的事柄についても、体験的な学びを交えながら理解を深めていく。また、教育相談の組織的な取組や連携についても、職種や分掌を意識した校内体制の在り方を理解するとともに、保護者に対する教育相談や、必要に応じた地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義を理解していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学校教育やそれを囲む社会との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、ディプロマポリシーで重視する実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

１）学校における教育相談の意義と理論を理解する。
２）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
３）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大澤靖彦	オリエンテーション 日本における教育相談の歴史を踏まえ、教育相談とは何か（目的、開発的・予防的・治療的側面）について理解する。	教育相談がどのように行われているのかについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書を準備し、授業に備える。 復習90分：小テストに解答する。教科書p2～12と配布資料を熟読し、教育相談の意義と役割についてノートに整理する。
				予習90分：教科

第2回	大澤靖彦	教育相談の実際（教育相談と近接概念、教師の強みと限界） 教師の行う相談活動について、学校現場の様子を理解しながら、教師だからこそできる相談について考究する。	教師の強みとは何かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	書pp.176～185を読み、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。カウンセラーではなく、教師だからこそできる相談の長所・短所をノートに整理するとともにレポートに着手する。
第3回	大澤靖彦	アセスメント（情報収集の方法、援助シート、心理検査） 子どもの援助のためにはアセスメントは重要である。アセスメントの一部である心理テストについても理解する。	児童生徒の支援にはどのような情報が必要なのかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p90～100を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。さまざまなテストの特徴について覚え、過去問を解く。
第4回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢１（来談者中心療法） 教育相談における受容と共感がなぜ大切なのか、叱ることの意味について考究し、カウンセリングマインドとは何かについて理解する。	児童生徒が相談しやすくするために教師はどのような配慮が必要かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.13～21を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。学校カウンセリングのベースとなるロジャーズの考え方をおさえたうえで、カウンセリングマインドについて理解する
第5回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢２（精神分析、行動療法） 学習理論に基づく人間の行動の理解と行動変容の考え方を理解する。	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：1年時の「心理学」で学んだ「学習」についてポイントを整理しておく。 復習90分：小テストに解答する。日常生活の中にある学習した困ったことについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第6回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢３（認知行動療法、家族へのアプローチ、日本で生まれた心理療法）	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。 復習90分：小テストに解答する。教科書pp.38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。
第7回	大澤靖彦	面接技法（受容、繰り返し、明確化、支持、沈黙、質問） 面接における基本的な技法を習得することを目指すが、日常の会話や授業でも使えるようにする。	児童生徒が安心して話ができるように教師が配慮すべきことについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：自分にとって、安心して話ができる場面とはどのような場面か考え、ノートにまとめてくる。 復習90分：小テストに解答する。面接の基本的技法を日常生活で使用して、改善点や感想を書き出す。
				予習90分：前回の授業のプリントを参考に面接のロー

第8回	大澤靖彦	ロールプレイ 基本的な応答を使ったロールプレイを行い、面接の基本を習得する。	ロールプレイを通して、面接の基本的技法を習得する。	ルプレイができるように準備してくる。 復習90分：小テストに解答する。日常生活で学んだことを試してみて、自分の応答のクセや改善点について考える。
第9回	大澤靖彦	発達段階の理解（発達段階、発達課題、愛着との関連） 発達段階とその段階に特徴的にみられる問題について理解する。	発達加速現象により、子ども時代が短くなることによって、子ども発達にどのような影響があるのかについて意見交換する。	予習90分：教科書p57～68を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。1年時の「心理学」で学んだ「発達」についてポイントを押さえておく。 復習90分：小テストに解答する。発達にかかわるさまざまな問題についてノートにまとめる。
第10回	大澤靖彦	障害の理解（発達障害、不安障害等） 勉強についていけない子、友だちとうまくやれない子の背景について考えるとともに、その顕著な例としての発達障害について理解を深める。	学習障害の疑似体験を通して、児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p69～78を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。発達障害の特徴について整理してノートにまとめる。
第11回	大澤靖彦	不登校の理解と対応 学校へ行けない子の背景について考えるとともに、不登校への対応について考える。	不登校という現象を通して児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p112～124を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。不登校を予防するために教師はどのような配慮をすればよいのかについてノートにまとめる。
第12回	大澤靖彦	非行の理解と対応 非行にはしる子の背景について理解を深め、学校としてどのようなことができるかについて考える。さらに学級崩壊の背景を知ることで子ども理解を深める	なぜ非行に走るのかについてグループで話し合い児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p126～148を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。新聞等で少年犯罪についてのトピックスを拾い出し、考究し、ノートにまとめる。
第13回	大澤靖彦	いじめの理解と対応 ／ 教育相談における保護者への支援 いじめのメカニズムを理解することで現代の子どもの理解を深めるとともにその対応について考究する。	いじめがおこる背景についてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.149～162を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。いじめを予防するためには教師はどのような配慮すればよいのかについてノートにまとめる。
	大澤	被虐待児の理解と対応 ／ チーム支援 被虐待児の特徴を理解し、	なぜ虐待が起こるのかについてグループ	予習90分：なぜ虐待が起こるのか自分なりに仮説を立ててみる。

第14回	靖彦	点（一人の教師）ではなく面（チーム）で支えることについて考究する。	で話し合い自分の考えを深める。	復習90分：攻撃性のコントロールができない被虐待児への対応について整理する。
第15回	大澤靖彦	まとめ ／ 教師のメンタルヘルス		予習90分：14回までの小テストに目を通して確認テストの準備をする。 復習90分：教師のメンタルヘルスを維持し向上させるためには何が必要なのかについてノートに整理する。

教科書

石川正一郎・藤井泰 編 『エッセンス学校教育相談心理学』北大路書房 2010年

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
授業への積極的参加30%、レポート課題30%、確認テスト40%の割合で総合評価

課題等に対するフィードバックの方法

レポートは返却するので学習の参考にすること。
小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C453

講義コード	40640001
講義名	教職実践演習（中）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場で教育実習生の指導を担当した教員経験を活かし、教育実習で学んだことを将来「教師」になった時に活かせるような授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小川 智瑞恵	指定なし
教員	田口 和人	指定なし
教員	小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

・これまで学習してきた「教職に関する科目」「教科に関する科目」の知識や理論に加えて、応用・実践としての「教育実習」を中心にして、より具体的な課題、テーマを取り上げ、講義、事例研究、グループ討議、現場教師等からの助言や指導例を学ぶ。そして中学校の美術の教師としての資格を目指す教職課程教育の総仕上げとし、①デザイン作品づくり、②自己表現の表現方法の学び、③教員としての資質向上に関する議論などを行う。
・「履修カルテ」から自らの教職に関する学びと教育実習等による経験を振り返り、グループディスカッションを通して課題を整理することにより、グループで演習テーマを設定し、調査研究や探究活動を通して課題の解決を図り、授業の中でその成果を発表して研究協議を行う。また、学校教育の現場ですぐに役立つ諸能力を確実に身に付ける上で、授業づくり・学習評価・授業研究、カリキュラム・マネジメント、校内研究の企画・運営、学級経営、生徒理解・生徒相談、校務分掌の遂行、教員研修の心得と取組、服務・健康管理等の教職ライフデザインのそれぞれのテーマについて、グループディスカッション等や講義によって理解を深め、実践的指導力の養成を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この演習では教師という専門性の高い仕事について理解を深めるとともに中学校教諭（美術）として求められる実践的な指導能力を養う。教職科目のひとつであるが、子どもの発達理解にもとづいた実践を行え、活躍できる人材を育成する」点にもかかわる。自ら進んで、課題解決に努力したか、他の学生と協調して作品づくりに取り組み、グループ内でアイデアを出し合い、それを発表できるまでの形にする協働性を養う。

到達目標

①中学校の美術の教師として、修得すべき実践的な資質能力（「教員としての使命感や責任感等をもって、教科指導・生徒指導・学級経営等に臨める基本的な能力）を身に付ける。
② 学校の社会的役割と教師の資質を理解し、問題解決することができる。
③ 生徒の発達・学習をめぐる現代の教育問題に対して適切な理解を示すことができる。

④ 学級・学校経営に必要な関係者との連携・協力の重要性を理解し、関係者との連携を活かした問題解決を示すことができる。
⑤ 具体的な課題に対するグループ討論、協働作業、模擬的な実践・分析検討を通して、生徒を主体とした現代的な教育問題や発達段階を踏まえた授業内容・方法を具体的に提示し考察することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	教職実践演習のガイダンスを行う。演習内容を理解し、中学校での教育理念について理解する。	授業の目的、内容、進め方等のガイダンス及びこれまでの学修に関する振り返り	各自が本学の教職課程で学んだ中で得たことをまとめてみる。 予習に90分、復習に90分
第2回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	授業づくりのに関する実践演習① 「履修カルテ」に基づく振り返り	教育実習という学校教育の現場での実践を振り返りをする。 実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。 履修カルテを見直し、反省点等を補足する。	「履修カルテ」や履修した教職科目について見直し、課題を整理する。 予習に90分、復習に90分
第3回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	授業づくりのに関する実践演習② 「履修カルテ」に基づく振り返り	教育実習という学校教育の現場での実践を振り返りをする。 実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。 履修カルテを見直し、反省点等を補足する。	「履修カルテ」や履修した教職科目について見直し、課題を整理する。 予習に90分、復習に90分
	小川智瑞	美術教育の意義と実践		学習指導の重

第4回	恵 小松原洋 生田口和人	方法について 教材づくり・授業構想① （絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞の各分野の教材づくり）（その１）	１回目は、各グループに分かれてどのような教材（絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞の各分野の教材づくり）が生徒の関心を持たせることが出来るのか検討する。	点を考察し、生活科学科との連携もむ考え具体的な活動案を作成する。 予習に90分、復習に90分
第5回	小川智瑞 恵 小松原洋 生田口和人	美術教育の意義と実践方法について 教材づくり・授業構想② （絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞の各分野の教材づくり）（その２）	２回目は、各グループに分かれて教材の試作品を考案する。	学習指導の重点を考察し、生活科学科との連携もむ考え具体的な活動案を作成する。 予習に90分、復習に90分
第6回	小川智瑞 恵 小松原洋 生田口和人	美術教育の意義と実践方法について 教材づくり・授業構想③ （絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞の各分野の教材づくり）（その３）	３回目は、各グループに分かれて試作した教材について考察する。	学習指導の重点を考察し、生活科学科との連携もむ考え具体的な活動案を作成する。 予習に90分、復習に90分
第7回	小川智瑞 恵 小松原洋 生田口和人	美術教育の意義と実践方法について 教材づくり・授業構想④ （絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞の各分野の教材づくり）（その４）	４回目は、各グループに分かれて考案した教材の使い方をグループごとに発表する。	学習指導の重点を考察し、生活科学科との連携もむ考え具体的な活動案を作成する。 予習に90分、復習に90分
	小川智			

第8回	瑞恵小松原洋生田口和人	講義「授業研究の方法」 授業に関する研究に関する実践演習	実習で実践した「授業事例」について口頭で発表し、他の学生と意見交換する。 「教育実習日誌」を見直し、反省点等を補足する。	「教育実習日誌」や実践した学習指導案を見直し、課題を整理する。 予習に90分、復習に90分
第9回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	講義「カリキュラム・マネジメントについての理論と実践」 校内研修・研究会の企画・運営に関する 実践演習	教育課程の編成について各自が実習した学校の教育課程について口頭で発表し、他の学生と意見交換する。	グループ討論での共通の課題や改善方向を整理する。 予習に90分、復習に90分。
第10回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	生徒理解・生徒指導・教育相談に関する 実践演習	生徒指導と教育相談について てSC・SSWとの連携を踏まえて教育実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。	本時を考察し、特に今後必要とされるSC・SSWとの連携の在り方をまとめる。 予習に90分、復習に90分
第11回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	講義「教師のキャリア形成ー心身の健康とストレス解消ー」	ワークライフバランスの視野で教職を捉え、各ステージに応じた教師の在り方について考えを発表する。	教師を長い視野で捉え、健康の維持・ストレスとの付き合い方を考える。 予習に90分、復習に90分
	小川智			

第12回	瑞恵小松原洋生田口和人	講義「学級経営」 学級経営に関する実践演習	教師と生徒のコミュニケーション、教師のリスニングスキルの向上について各自の意見を発表する。	教師になった場合の自己の学級活動に活かせることをまとめる。 予習に90分、復習に90分
第13回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	講義「学校の危機管理ー学校事故・自然災害への適正な対応ー」 学校づくりのに関する実践演習	学校の危機管理ー学校事故・自然災害への適正な対応ーについて各自の考えを発表する。	学校における危機管理の必要な幾つかの事例を基に対応を考える。 予習に90分、復習に90分
第14回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	学習指導〔中学の美術について（事例研究Ⅳ）〕 （デッサン、絵画のあり方について）	いつの時代であっても教師に求められる資質・能力等を考え、まとめてくる。	学習指導の重点を考察し、模擬授業を想定して活動の概略を作成する。 予習に90分、復習に90分
第15回	小川智瑞恵小松原洋生田口和人	「求められる教師像と学校づくりの視点の整理」 授業の振り返り	実践演習で学んだことや、２年間の教職課程を振り返って反省点や改善点等についてまとめ発表する。	教職課程全科目を通して学んだことをレポートとしてまとめ提出する。 予習に90分、復習に90分

教科書

「中学校学習指導要領」「生徒指導提要」
必要に応じてプリントを配布する。

参考書

授業内で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業への積極的な取り組み状況（20%）、口頭発表（40%）、レポート（40%）として総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

提出されたリフレクションペーパー、レポートは確認後、補足説明やコメントを付して返却する。口頭発表やグループ討議の結果発表を行い、演習の中で随時、教員からコメント等を伝える。

履修のポイント

演習科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べること、他の学生たちと協力する姿勢で授業に臨むことが大切である。

オフィス・アワー

授業終了後に、教室等にて質問をお受けするか、都合の良い日時を相談し後日対応いたします。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C472

講義コード	40650001
講義名	事前・事後指導（R4入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに実習に向けての準備と実習後のまとめを身に付けられる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小川智瑞恵	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようになっているかについて学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
	小川	学校の教育活動の1年間（3年間も		予習90分：教育に関する事

第2回	智瑞恵	含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動について学習する。		象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	小川智瑞恵	中学校学習指導要領及び「解説」について学ぶ		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	田口和人	指導案とは、なにかについて学習する。 指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	田口和人	指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	田口和人	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	小川智瑞恵田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	小川智瑞恵田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言、参加態度、意欲 50%、レポート50%。
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第７研究室 ※授業終了後も、適宜受け付けます。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C413

講義コード	40650003
講義名	事前・事後指導（R5入学生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに実習に向けての準備と実習後のまとめを身に付けられる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小川智瑞恵	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようになっているかについて学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
	小川	学校の教育活動の1年間（3年間も		予習90分：教育に関する事

第2回	智瑞恵	含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動について学習する。		象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	小川智瑞恵	中学校学習指導要領及び「解説」について学ぶ		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	田口和人	指導案とは、なにかについて学習する。 指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	田口和人	指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	田口和人	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	小川智瑞恵田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	小川智瑞恵田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言、参加態度、意欲 50%、レポート50%。
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第７研究室 ※授業終了後も、適宜受け付けます。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C413

講義コード	40660001
講義名	教育実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに教育実習で何を大切にすべきかを理解させることができる授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前事後指導を踏まえ、15日間の教育実習に取り組む。学校現場での教育活動全般の実際について学ぶ。そして美術教諭としての役割について、研究授業や子どもたちとの関わりを通じて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を対象とする教師の役割を念頭に置いて、日常的な「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

中学校美術教諭を目指していることを自覚した上で、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を身に付けようとしている、②幅広い視野と高い専門性を身に付けようとしている、③社会人になるにあたって優れた識見を身に付けようとしている、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	実習校での指導の下、「主体的、対話的で深い学び」を目指す。 実習そのものが＜アクティブ・ラーニング＞であることを理解する。 【期間】教育実習は3週間（15日間）行う。	「実習ノート」の記載を進めるなかで、毎日の実習に向けて、予習・復習をしっかり行なうこと。

教科書
なし
参考書
なし
成績評価の方法・基準
実習校での評価に基づいて評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
実習ノートを返却しますので、振り返りをしっかり行なうこと。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C436

講義コード	40670001
講義名	介護等体験実習R4入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での特別支援学級担任などの教員経験を活かし、 障がい者，高齢者、支援を必要とする児童生徒との交流等から学ぶ姿勢を身に付け、深められる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	田口和人 小川智瑞恵	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、	体験実習に向けて、予習・

第3回		交流等」に積極的に取り組む。	復習をしっかりと行なう。
第4回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第5回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第7回	田口和人 小川智瑞恵	5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第8回	田口和人 小川智瑞恵	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第9回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第11回	田口和人 小川智瑞恵	2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験実習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第７研究室

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C435

講義コード	40670002
講義名	介護等体験実習R5入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での特別支援学級担任などの教員経験を活かし、 障がい者，高齢者、支援を必要とする児童生徒との交流等から学ぶ姿勢を身に付け、深められる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	田口和人 小川智瑞恵	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、	体験実習に向けて、予習・

第3回		交流等」に積極的に取り組む。	復習をしっかりと行なう。
第4回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第5回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第7回	田口和人 小川智瑞恵	5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第8回	田口和人 小川智瑞恵	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第9回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第11回	田口和人 小川智瑞恵	2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験実習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第７研究室

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C435